

2021年度

高校生の消費生活と 生活設計に関する アンケート調査報告書



公益財団法人 消費者教育支援センター
公益財団法人 生命保険文化センター

はじめに

本書は、高校生の普段の生活行動から、消費者としての側面、生活設計に対する考え方などについてアンケート調査をした結果の報告書である。本調査は2012年と2016年に実施しており、従来であれば2020年に実施予定であったが、今回は新型コロナウイルス感染症の影響により調査を1年延期しての実施となった。調査結果の概要では、主な前回比較の結果も掲載した。

調査は、公益財団法人消費者教育支援センターと公益財団法人生命保険文化センターが共同で実施し、無作為抽出された高校の中から86校に協力をいただいた。ご多忙の中、調査にご協力いただいた先生方、高校生にお礼を申し上げたい。

今後、本調査結果が消費者教育の指導、教材開発等に役立つことになれば幸いである。

2022年3月

公益財団法人消費者教育支援センター
理事長 中名生 隆

公益財団法人生命保険文化センター
代表理事 浅野 僚也

目 次

【調査概要】	4
【調査結果の概要】	9
1. アンケート調査の概要.....	9
2. ヒアリング調査の概要.....	18
【調査結果】	22
I 日常生活について	23
1. 興味があること.....	23
2. 授業以外の時間の過ごし方	25
3. 考え方や傾向.....	27
II お小遣い、アルバイト等のお金について	32
1. お小遣いについて	
1－1 お小遣いの有無.....	32
1－2 1ヵ月にもらっている金額.....	32
1－3 お小遣いをもらっていない場合の対処法.....	33
2. アルバイトについて	
2－1 アルバイト経験.....	34
2－2 1ヵ月の収入金額	35
3. 貯金について.....	35
4. お金について	
4－1 お金の使い道.....	36
4－2 お金の管理（お小遣い帳の記録）	40
III 「消費・契約」について	41
1. 成年年齢引き下げについて.....	41
2. 買い物について	
2－1 欲しいものがあるとき、参考にする情報.....	43
2－2 店頭で購入時の支払い方法.....	45
2－3 契約の知識	47
IV 携帯電話・スマートフォン・パソコン利用について	49
1. 携帯電話・スマートフォンについて	
1－1 携帯電話・スマートフォンの所持.....	49

1-2 携帯電話・スマートフォンの利用目的	50
2. インターネットでの購入について	
2-1 インターネットでの購入経験	52
2-2 インターネットでの1カ月の使用金額	53
2-3 インターネットで購入したもの	54
2-4 インターネットで購入時の支払い方法	56
V 将来について	59
1. 将来の夢・職業・進路について	
1-1 将来就きたい職業を決めているか	59
1-2 将来就きたい職業	60
1-3 卒業後の進路	65
2. 結婚・子どもについて	
2-1 結婚	66
2-2 結婚したい理由	67
2-3 結婚したくない理由	68
2-4 親になりたいか	69
2-5 親になりたい理由	70
2-6 将来子どもが生まれた時の働き方	71
2-7 親になりたくない理由	72
3. 将来の生活について	
3-1 将来が思い描ける年齢	73
3-2 将来不安なこと	74
4. 家族との会話について	77
VI 高等学校での学習状況について	81
1. 「消費生活や生活設計（ライフプラン）」の学習について	
1-1 「消費生活や生活設計（ライフプラン）」の学習経験	81
1-2 学習項目	83
【調査票・単純集計結果】	85

【調査概要】

1. 調査目的

全国の高校生の消費生活と生活設計に関する実態を明らかにし、学習指導要領を踏まえた学習指導、教材開発等の一助となることを目的とする。

2. 調査項目

調査項目のうち、主なものは次の通り。

(1) 高校生自身のこと

- ①現在、興味があること
- ②学校の授業以外の時間の過ごし方
- ③考え方や傾向

(2) お金や買い物に関すること

- ①お小遣いについて
- ②アルバイトについて
- ③お金を貯めているか
- ④自由に使えるお金の使途
- ⑤お小遣い帳の記帳の有無

(3) 「消費・契約」に関すること

- ①成年年齢引き下げに対する意識
- ②欲しいものがあるとき、参考にする情報
- ③店頭での買い物の支払い方法
- ④契約の知識

(4) 携帯電話・スマートフォン・パソコンの利用

- ①携帯電話・スマートフォンの所持、利用の目的
- ②インターネットでの買い物、使用金額、支払い方法

(5) 生活設計（将来）について

- ①職業選択について
- ②卒業後の進路
- ③結婚と子ども
- ④思い描くことができる将来
- ⑤将来の不安
- ⑥家族との会話

(6) 消費生活や生活設計（ライフプラン）に関する学習状況について

- ①これまでの学習経験とその内容

3. 調査設計

- | | |
|-----------|---|
| (1) 実施主体 | 公益財団法人消費者教育支援センター

公益財団法人生命保険文化センター |
| (2) 調査地域 | 全国 |
| (3) 調査対象 | 高等学校1年生、2年生
調査は高等学校1年生と2年生に依頼したが、3年生の回答も含まれていた。このため、「調査結果の概要」の全体及び「調査票・単純集計結果」の値は1年生と2年生のみのサンプルで集計し、回答があった3年生については、単独で集計し参考値として掲載している。 |
| (4) 抽出方法 | 二段無作為抽出法
「全国学校総覧 2012 年版」掲載の国公私立の高等学校（分校、定時制等も含む）から等間隔に無作為抽出した 651 校に対し、郵送で各校約 40 人に対し調査を依頼。そのうち、86 校から承諾があり、担当教諭に対して調査票を一括送付した。 |
| (5) 調査方法 | 質問票によるアンケート調査（郵送調査法） |
| (6) 調査時期 | 2021 年 7 月 |
| (7) サンプル数 | 3,125（3年生の回収の 183 票は含まれない） |

4. 回収サンプルの属性 (N=3, 125)

(1) 地域分布

地域	割合 (%)	学校数	生徒数	3 年生 生徒数 (参考)
全国	100.0	86	3125	183
北海道	5.4	5	170	—
東北	7.0	5	219	—
関東	21.9	19	685	42
北陸	9.8	7	305	—
中部	7.9	7	247	11
関西	19.2	18	600	76
中国	12.2	10	381	—
四国	1.2	1	39	—
九州	15.3	14	479	54

* 地域は、以下のように分類。

北海道	……	北海道
東北	……	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東	……	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
北陸	……	新潟、富山、石川、福井
中部	……	山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
関西	……	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	……	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	……	徳島、香川、愛媛、高知
九州	……	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

(2) 学年

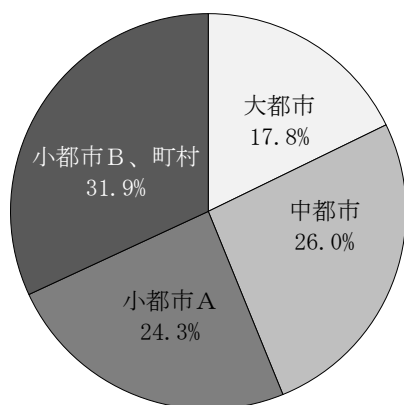
1年生, 54.3%	2年生, 45.7%
------------	------------

(3) 性別

男子, 45.8%	女子, 53.9%
-----------	-----------

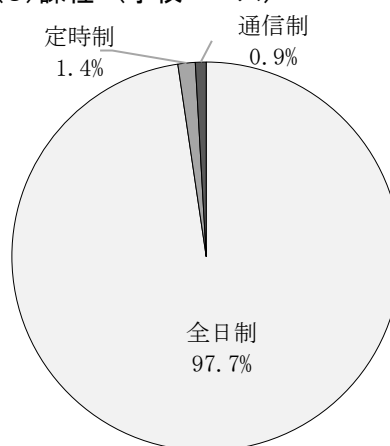
無回答, 0.3%

(4) 学校所在地

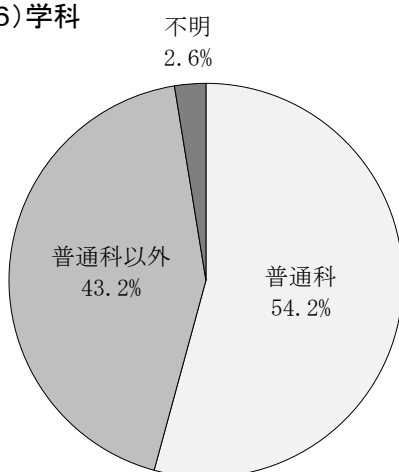


大都市 ……政令指定都市及び東京都区部
 中都市 ……大都市を除く人口15万以上の市
 小都市A ……人口5万以上15万未満の市
 小都市B、町村 ……人口5万未満の市

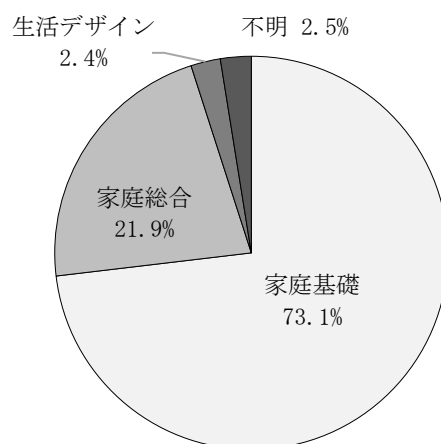
(5) 課程 (学校ベース)



(6) 学科



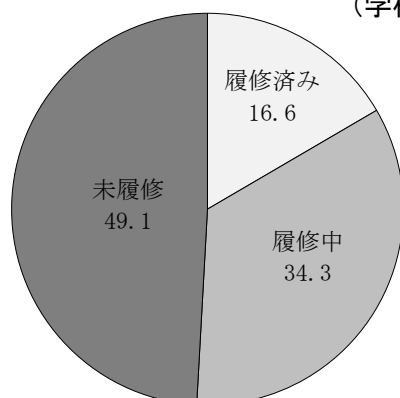
(7) 家庭科の履修状況 (学校ベース)



(注) 普通科以外…職業学科、総合学科、その他専門学科を指す。

(8) 家庭科における「消費生活」領域の学習状況

(学校ベース)



5. 報告書の見方

(1) 回答率について

- ・算出の分母（回答者総数）は図中で「N」と表記している。
- ・原則として％（パーセンテージ・百分率）で表記しており、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。回答率を合算する場合、実数から改めて割合を算出するため、本文中に表記された数値の合計に一致しないものもある。

(2) 単数回答について

- ・1人の回答者が1つだけ回答する設問（単数回答）であっても、四捨五入を行っていることにより、回答率の合計が100.0%とならない設問がある。

(3) 複数回答について

- ・1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい設問（複数回答）の場合は、通常その回答率の合計は100.0%を超える。

(4) 質問文や選択肢、統計図表、分析文の表記について

- ・結果数値の「－」は回答者がいないものを示している。
- ・本文、グラフ中の設問文及び選択肢の表現は一部省略されているものがある。
- ・回答率のポイント差は小数点以下第1位を四捨五入し、整数で表記している。
- ・該当数が50人未満は分析の対象から外している。
- ・複数回答質問の項目の掲載順は、その他・無回答を除き全体（1年生・2年生の合計）の値の降順である。
- ・調査結果の概要(P8-16)に掲載している2016年度の調査結果について、前回調査報告書では3年生を含めた数値であったが、今回調査との比較のため、1, 2年生を全体値として再集計して掲載した。

(5) 誤差について

- ・無回答誤差や回答者の誤解などによる計算不能な非標本誤差がある。

(6) ヒアリング調査について

- ・エリアと学科のバランスを考慮のうえ学校を選定し、事前に質問項目を提示する半構造化インタビュー形式で行った。
- ・ヒアリング調査の概要についてはP18参照。

【調査結果の概要】

1. アンケート調査の概要

《調査結果の主なポイント》

「消費生活」に関する項目

1. 全体で9割台後半の生徒が携帯電話・スマートフォンを所持。約7割が小・中学生の頃から所持しており、低年齢化が進んでいる。携帯電話・スマートフォンの利用目的で最も多かったのは、「SNS・動画投稿サイト（LINE・Instagram・TikTok・YouTube等）」であり、男子の8割台半ば、女子の9割台半ばが回答した。
2. 授業以外の時間の過ごし方は、「SNS・動画投稿サイト（LINE・Twitter・Instagram・TikTok・YouTube等）をする」が男子の6割、女子の8割と男女とも最も多く、「ゲームをする」と答えた男子も6割を超えた。「部活動をする」は男女ともに減少しており、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響がうかがえた。
3. 成年年齢引き下げについて、男子は「特に何も思わない」が最も多く約4割。女子では「消費者被害にあうかもしれないと不安に感じる」が最も多く3割強。全体の半数強が「18歳になったら選挙に行きたいと思う」と回答した。
4. 「契約の知識」に関する正誤問題において、インターネットに関する項目は前回調査と比較して正答率は高くなり、学校での消費者教育の一定の成果がうかがえた。しかし、契約の基本に関する項目の正答率は2～3割弱と低く、成年年齢の引き下げに伴い消費者トラブルの深刻化が懸念される。
5. 欲しいものがあるとき参考にする情報の上位3項目は、「インターネット・SNS」「友達からの話」「家族からの話」。前回調査と比較すると「インターネット・SNS」が増加し、前回3位の「テレビ」は4位に後退した。

「生活設計」に関する項目

1. 将来就きたい職業を決めている高校生は6割台半ば。男子は「プログラマ・システムエンジニア」（前回3位）、女子は「看護師・歯科衛生士」（前回2位）が今回初めて最多となった。特に男子については、スマートフォンの所持率ならびに動画配信サイトの普及などにより、IT関連に関する職業への興味が上昇したことが結果の一因だったと思われる。
2. 「結婚したい」と思う高校生は前回調査と比較して減少。結婚希望年齢は平均25歳で、結婚したくない理由は「自由な時間がなくなるから」が最も多かった。また、将来「親になりたい」と思う高校生も、前回調査と比較して減少（前回調査の選択肢は「子どもを持ちたい」）。子どもの希望人数は平均2.3人で、親になりたい理由は「面倒だから」が最も多かった。結婚したい、親になりたいと思う高校生は、前回調査と比較して減少しているが、

肯定的・否定的な理由の傾向は変わらず、高校生の結婚観などについては変化がなかったと思われる。

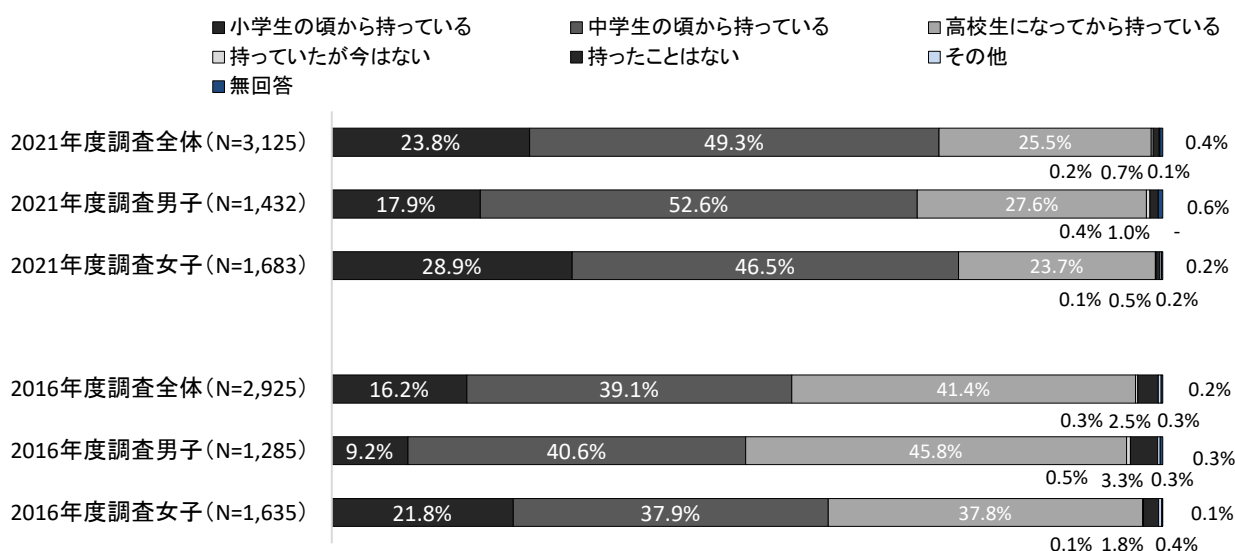
3. 子どもが生まれた場合の働き方について、「育児休暇を取り、職場に復帰する」が前回調査と比較して、男女とも顕著に増加。昨今の特に男性の育児休暇取得率の増加といった社会環境の変化が高校生の仕事に対する意識に影響を及ぼしていると思われる。
4. 20歳より先の将来を思い描いている生徒は全体の3割弱にとどまった。「全く想像できない」という回答も約2割となり、生涯の生活設計に関する学習の難しさを裏付けた結果となった。

「消費生活」に関する項目

1. 全体で9割台後半の生徒が携帯電話・スマートフォンを所持。約7割が小・中学生の頃から所持しており、低年齢化が進んでいる。

前回調査では、全体で「高校生になってから持っている」が4割強と最も高かったが、今回調査では全体で「中学生の頃から持っている」が5割弱と最も高く、「高校生になってから持っている」が2割台半ば、「小学生の頃から持っている」が僅差で続いた。性別で見ると、女子の小学生からの所持率が高かった。

携帯電話・スマートフォンの所持＜全体・性別＞



携帯電話・スマートフォンの利用目的は、男子8割台半ば、女子9割台半ばが、「SNS・動画投稿サイト」。

「SNS・動画投稿サイト（LINE・Instagram・TikTok・YouTube等）」が、男子は8割台半ば、女子は9割台半ばとなった。前回調査と選択肢の記載内容は若干異なるが（前回調査の選択肢は「SNS（Facebook・LINE・Twitter等）」）、前回調査よりさらに回答数が増加した。また、前回調査と同様、男子は「ゲーム」の割合が高く、女子は「写真（撮影・加工）」の割合が高かった。

携帯電話・スマートフォンの利用目的（複数回答）＜性別＞

	男子		女子	
	2021 年	2016 年	2021 年	2016 年
1 位	SNS・動画投稿サイト (LINE・Instagram・TikTok・YouTube等) (85.2%)	SNS (Facebook・LINE・Twitter等) (81.0%)	SNS・動画投稿サイト (LINE・Instagram・TikTok・YouTube等) (94.8%)	SNS (Facebook・LINE・Twitter等) (91.6%)
2 位	ゲーム(85.0%)	音楽を聴く (78.4%)	写真（撮影・加工） (86.1%)	写真を撮る・加工する (81.8%)
3 位	通話(77.6%)	ゲームをする (76.7%)	音楽(85.5%)	音楽を聴く (80.6%)

2. 授業以外の時間の過ごし方は、「SNS・動画投稿サイトをする」「ゲームをする」「家族と話をする」で男女に差があり。

授業以外の時間の過ごし方は、「SNS・動画投稿サイト（LINE・Twitter・Instagram・TikTok・YouTube等）をする」が男女とも最も多い回答であった。前回調査と比べ「部活動をする」が減少しており、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が伺えた。男女で 15 ポイント以上の差がみられた項目は、「SNS・動画投稿サイトをする」「ゲームをする」「家族と話をする」であった（P.25 参照）。

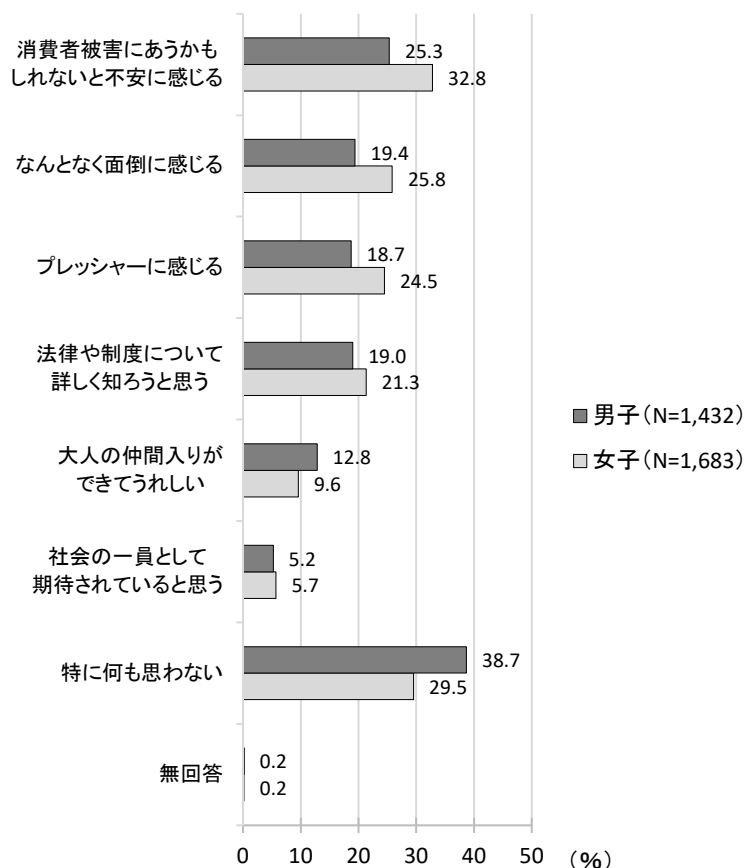
授業以外の時間の過ごし方（複数回答上位3つまで）＜性別・一部抜粋＞

	男子		女子	
	2021 年	2016 年	2021 年	2016 年
SNS・動画投稿サイトをする	62.9%		81.2%	
ゲームをする（※）	62.5% (+18.8)	43.7%	19.5% (+7.6)	11.9%
部活動をする	41.6% (▲10.5)	52.1%	33.9% (▲5.7)	39.6%
友人と話をする	22.1% (+4.7)	17.4%	32.9% (+1.9)	31.0%
家族と話をする	8.4% (+0.5)	7.9%	23.9% (+2.9)	21.0%

※「ゲームをする」は前回調査では「ゲームで遊ぶ」と表記

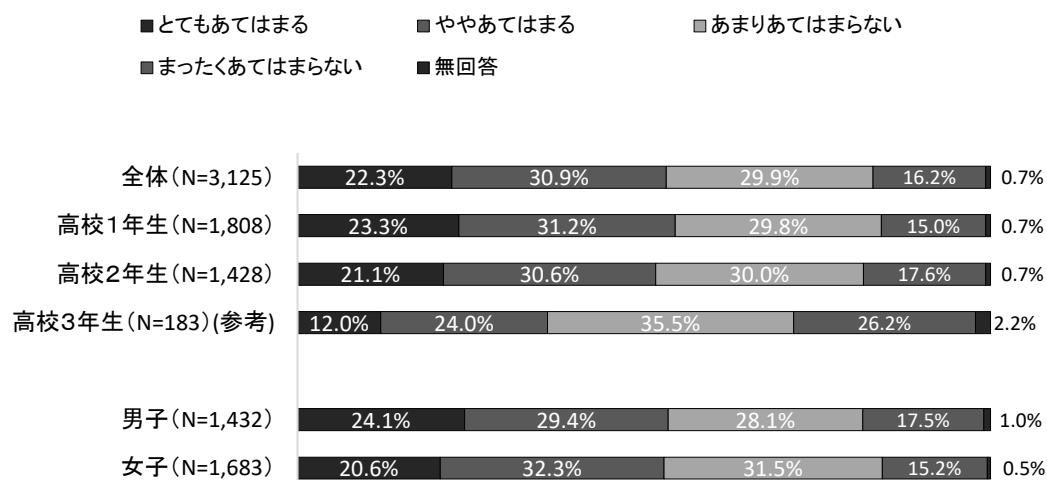
3.【新規項目】成年年齢引き下げについて、「特に何も思わない」が男子で約4割、女子で3割。

成年年齢引き下げについて、男子は「特に何も思わない」が最も多く、約4割となった。女子では「消費者被害にあうかもしれないと不安に感じる」が最も多く、3割強となった。



【新規項目】全体の半数強が「18歳になったら選挙に行きたいと思う」と回答し、残りの半数弱が選挙に行くことに対して消極的な回答であった。学年別、性別で大きな差は見られなかった。

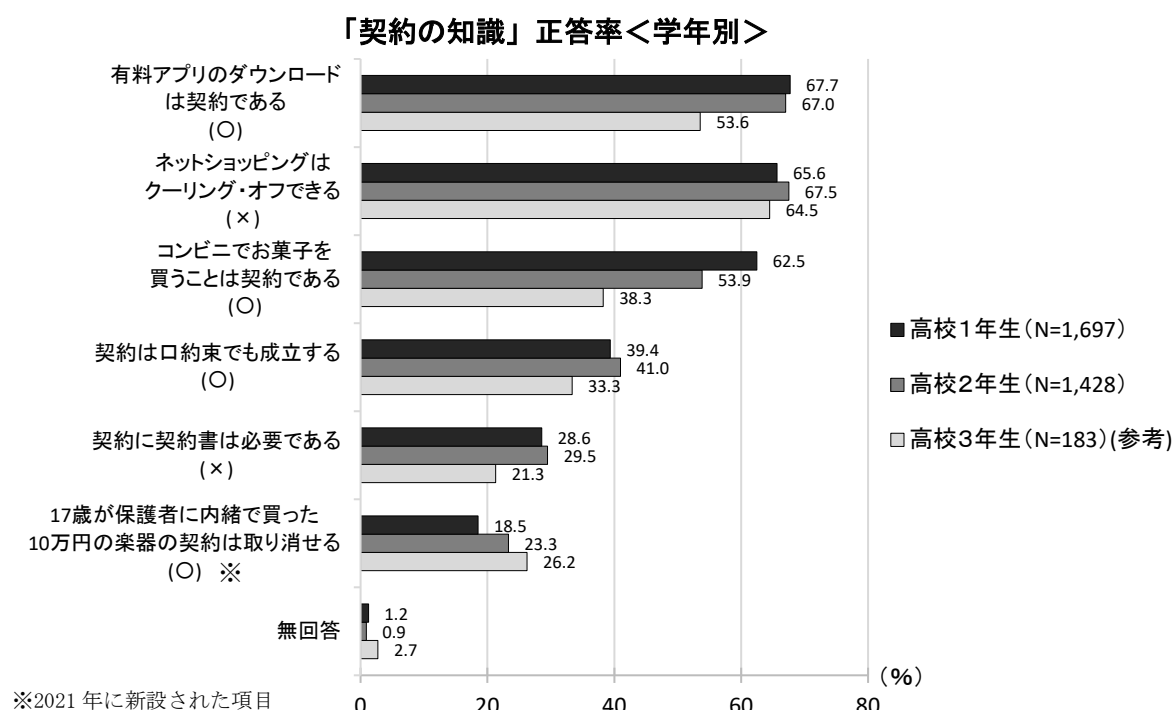
18歳になったら選挙に行きたいと思う〈全体・学年別・性別〉



4. 「契約の知識」に関する正誤問題において、契約の基本に関する項目の正答率は2割弱～3割弱にとどまった。

「有料アプリのダウンロードは契約である」「ネットショッピングはクーリング・オフできる」といったインターネットに関する項目は、男女ともに6割台半ば～約7割の正答率となり、前回調査と比較してすべての正誤問題で正答率は増加した。

しかし、「契約に契約書は必要である」「17歳が保護者に内緒で買った10万円の楽器の契約は取り消せる」といった契約の基本に関する項目の正答率は2割弱～3割弱と低かった。

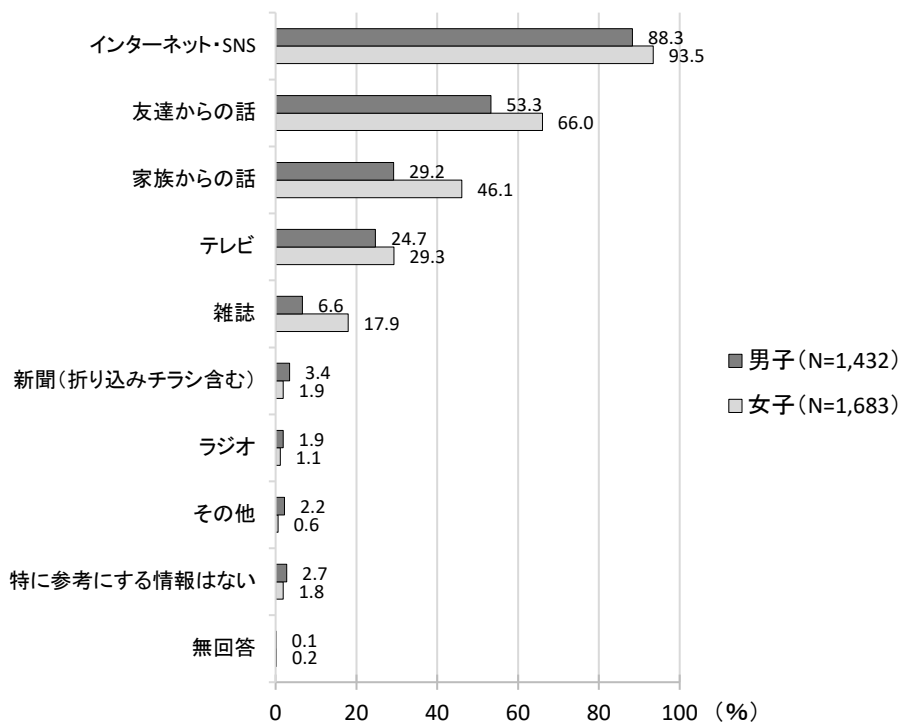


	1 年生		2 年生	
	2021 年	2016 年	2021 年	2016 年
有料アプリのダウンロードは契約である (○)	67.7%	60.5%	67.0%	58.7%
ネットショッピングはクーリング・オフできる (×)	65.6%	56.3%	67.5%	54.6%
コンビニでお菓子を買うことは契約である (○)	62.5%	41.3%	53.9%	33.0%
契約は口約束でも成立する (○)	39.4%	30.3%	41.0%	33.3%
契約に契約書は必要である (×)	28.6%	27.8%	29.5%	27.2%

5. 欲しいものがあるとき参考にする情報の上位3項目は、「インターネット・SNS」「友達からの話」「家族からの話」。前回3位の「テレビ」は4位に後退した。

欲しいものがあるとき参考にする情報の上位3項目は、男女ともに「インターネット・SNS」「友達からの話」「家族からの話」だった。上位項目で男女差が見られた項目は、「友達からの話」「家族からの話」であり、それぞれ女子が上回った。前回3位の「テレビ」は4位に後退した。

欲しいものがあるとき、参考にする情報(複数回答)＜性別＞



	男子		女子	
	2021 年	2016 年	2021 年	2016 年
1 位	インターネット・SNS (88.3%)	インターネット・SNS (78.5%)	インターネット・SNS (93.5%)	インターネット・SNS (82.2%)
2 位	友達からの話 (53.3%)	友達からの話 (54.4%)	友達からの話 (66.0%)	友達からの話 (63.6%)
3 位	家族からの話 (29.2%)	テレビ (42.3%)	家族からの話 (46.1%)	テレビ (45.5%)

「生活設計」に関する項目

1. 将来就きたい職業は、男子は「プログラマ・システムエンジニア」、女子は「看護師・歯科衛生士」が最多。

将来就きたい職業は、男子で「プログラマ・システムエンジニア」が最も多く、前回調査で最も回答が多かった「公務員（警察官を除く）」を抜いた。女子は前回調査で最も回答が多かった「保育士・幼稚園教諭」を抜いて、「看護師・歯科衛生士」が最も多かった。

将来就きたい職業＜性別＞

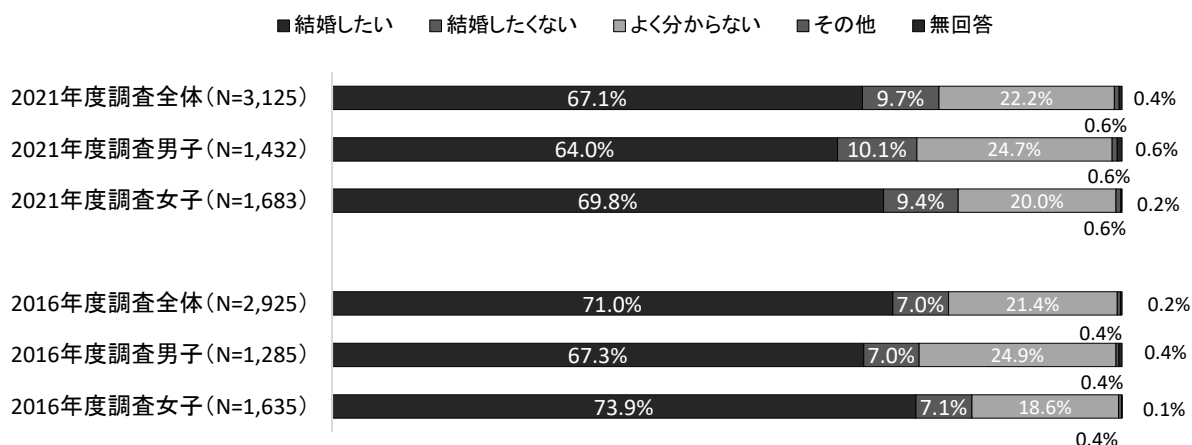
※その他を除く

	男子		女子	
	2021 年	2016 年	2021 年	2016 年
1 位	プログラマ・システムエンジニア (13.9%)	公務員(警察官等を除く) (15.3%)	看護師・歯科衛生士 (25.6%)	保育士・幼稚園教諭 (20.0%)
2 位	公務員(警察官等を除く) (13.4%)	技術者・整備士 (14.6%)	保育士・幼稚園教諭 (15.3%)	看護師・歯科衛生士 (15.8%)
3 位	建築士・測量士・大工・左官・電気工事士 (11.1%)	プログラマ・システムエンジニア (12.9%)	調理師・栄養士 (11.2%)	接客業・営業・販売 (10.8%)

2.「結婚したい」と思う高校生は前回調査と比較して減少。結婚希望年齢は前回調査同様、平均 25 歳。

前回同様、全体の 7 割弱が「結婚したい」と回答したが、「結婚したい」という回答そのものの割合は男子・女子ともに減少した。また、「結婚したくない」という回答は約 1 割と前回調査より増加した。前回調査と同様、男子に比べ女子の結婚願望が高い結果となった。

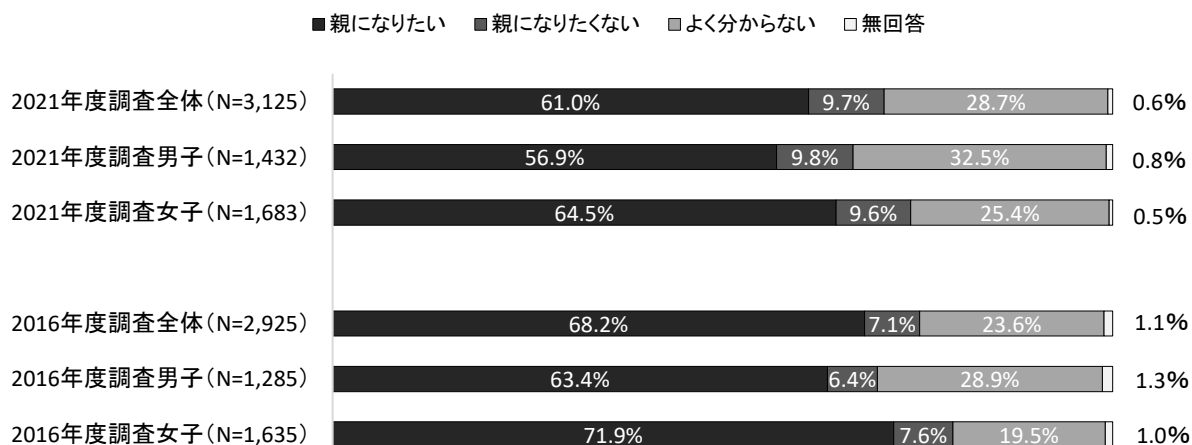
結婚願望＜全体・性別＞



将来「親になりたい」と思う高校生は、前回調査と比較して減少。子どもの希望人数は前回調査同様平均 2.3 人。

全体の 6 割強が将来「親になりたい」と回答したが、前回調査と比較して減少した（前回調査の選択肢は「子どもを持ちたい」）。「親になりたくない」という回答は約 1 割と増加した。性別では、男子に比べ女子が「親になりたい」傾向にあり、結婚願望と比例する結果となった。

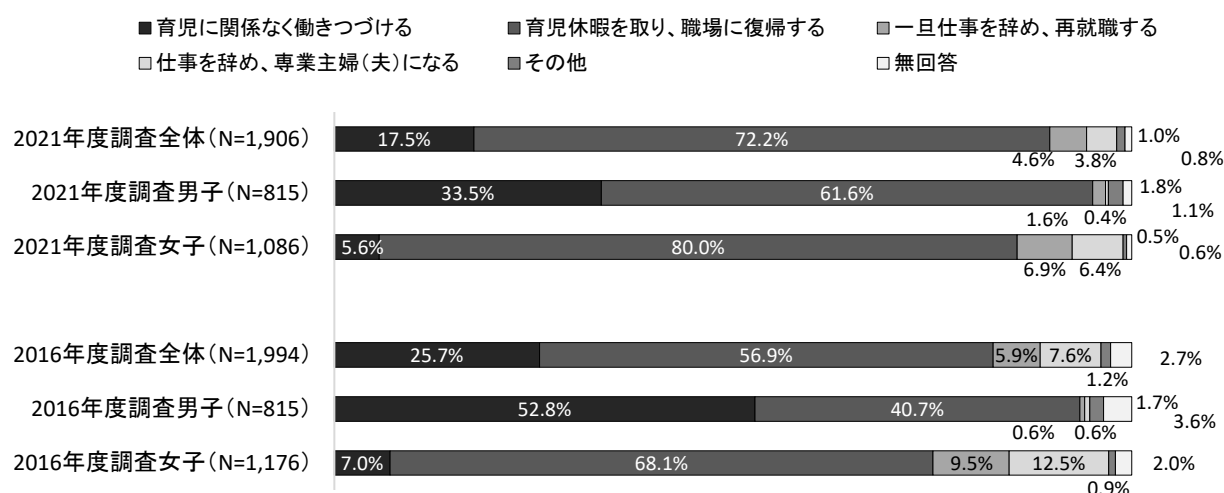
親になりたいか＜全体・性別＞



3. 子どもが生まれた場合の働き方について、「育児休暇を取り、職場に復帰する」が前回調査と比較して増加。

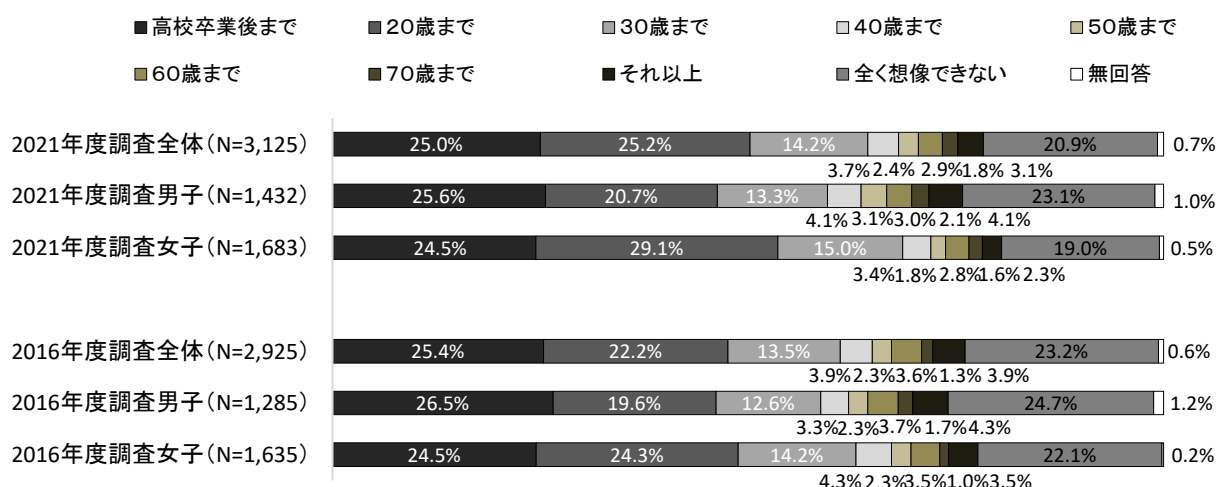
将来子どもが生まれた場合の働き方について、全体では「育児休暇を取り、職場に復帰する」が7割強と最も多く、「一旦仕事を辞め、専業主婦（主夫）になる」は、1割に満たなかった。性別でみると、「育児休暇を取り、職場に復帰する」が男子6割強、女子8割を占め男女とも最も多かった。また、前回調査と比較して男子は約21ポイント、女子も約12ポイントと増加した。

将来子どもが生まれた場合の働き方＜全体・性別＞



4. 20歳より先の将来を思い描いている生徒は前回調査同様全体の3割弱。

今からどのくらい先の生活まで思い描けるかについて、「高校卒業後まで」「20歳まで」といった近い将来について回答した生徒が約5割を占めた。また、「全く想像できない」という回答は約2割となった。前回調査と同様、10年後、20年後それ以上先の将来を思い描いている生徒は全体の3割弱にとどまった。



2. ヒアリング調査の概要

＜調査の概要＞

調査時期：2021年11月～12月

調査対象：アンケート調査協力校10校の教諭

調査方法：電話、メール、Zoomによるオンライン

学校所在地：北海道、東京、山梨、福井、京都、山口、香川、福岡、沖縄

調査内容：高校生の様子、家庭科の実施状況等

（注）普通科以外…職業学科、総合学科、その他専門学科を指す。

＜主な調査内容＞

高校生の様子

- ・新型コロナの影響により、生徒同士のコミュニケーションが希薄になっている。オンラインゲームの中でコミュニケーションを取っている生徒が増えたように感じる。（福岡県・公立・普通科）
- ・緊急事態宣言解除に伴い学校行事が再スタートしているが、生徒たちはそういった行事をととても楽しみに、大事にしている。コロナ禍で人とのつながりが希薄になっていたことで抑え込んでいた気持ちがあったようで、これから行われる行事や人とのコミュニケーションを大事にしているようだ。（京都府・私立・普通科）
- ・以前より幼くなってきたように感じる。かつては指示を待たずして自ら行動していたが、最近は1つ1つ言わないと行動できず、気が利かない。手厚く接してもらってきたのか、かつてより主体性が減っているようだ。（香川県・公立・普通科）
- ・以前と比べて大人しくなっている。2020年度は新型コロナの影響により休校があったため、登校できるようになってからは学校を楽しみに生活していたようだ。（山口県・公立・普通科以外）
- ・普段の生活や言動等には大きな変化はない。もともと学力差などからくる「学校差」はあるものの、数年前と変わった印象は特にない。（沖縄県・公立・普通科以外）
- ・自分に自信がなく、自己肯定感がないように感じる。（北海道・公立・普通科）
- ・数年前と比べて大きな変化はない。部活や余暇の時間が生徒の一日の多くを占めている。1対1で話をすると場をわきまえた発言をする生徒が多い。（東京都・私立・普通科）
- ・10年前と比べて子供の質は同じで変わらない。ICT、スマホ等の普及により買い物が変化し、他者（友達）とのつながりが薄くなった。その反面、SNSなどで他国の人とつながる生徒もいる。（山梨県・私立・普通科）
- ・精神的に幼く、精神年齢が低いように感じる。（東京都・私立・普通科）
- ・調べるのは上手だが、伝えるのが苦手。情報を得ることができても発表ができない。集める情報の多くがSNSからで、買い物もSNSの情報で購入している。（福井県・公立・普通科以外）
- ・目の前のことでいっぱい、何かあった時の応用力が生徒に身についていないように思う。（東京都・私立・普通科）

○お小遣い・アルバイト・お金の使い方について

- ・新型コロナの影響でアルバイトのシフトに入れないことが多くなったことが影響しているためか、お金の使い方については堅実になっている気がする。(福岡県・公立・普通科)
- ・家庭環境にもよるが、以前に比べ堅実であるように感じる。(京都府・私立・普通科)
- ・学校でお金を使う機会があまりないので変化があったかどうかは特に目で見ても感じられない。(香川県・公立・普通科)
- ・学校周辺に買い物をしたり遊んだりする施設がないためか、出かけている様子はないように感じるし、持ち物も華美ではなく買い物もあまりしない印象。その代わり、スマートフォンは良いものを持っていて、スマホゲームの課金もしているような雰囲気を感じる。(山口県・公立・普通科以外)
- ・アルバイトをするのが当たり前で、自分で働いて得た収入を好きなことに使っているため、堅実なイメージはない。携帯代も自分で支払うのが当たり前なほど、ある意味経済的に自立している。(沖縄県・公立・普通科以外)
- ・アルバイトは特定の職種を許可制にしている。長期休みは、自分の小遣いや進学にむけた貯蓄のためにアルバイトをしているようだ。(北海道・公立・普通科)
- ・アルバイトは原則禁止だが、一部で許可制としている。(山梨県・私立・普通科)
- ・アルバイトは禁止しているが、長期休暇中のみ許可している。(福井県・公立・普通科以外)

○消費・契約と「成年年齢引き下げ」について

- ・家庭科の授業や生徒指導の際に成年年齢引き下げについて取り上げて、社会人としてのマナーについても教えている。成年になると契約はできるが、お酒やタバコはダメだという話もしている。生徒に消費生活センターが作成した DVD を見せている。生徒は成年になることによってちゃんとしないとけないという趣旨の話はしている。(福岡県・公立・普通科)
- ・もともと大学進学希望者が多い学校のため、成年年齢引き下げに関してそんなに意識の変化はないように感じる。(京都府・私立・普通科)
- ・学校全体での取り組みは特になく、各教科に任せられている。卒業後、県外で一人暮らしをする予定の生徒も多いため、家庭科の授業で成年年齢引き下げについてとりあげた際に、悪質商法等の消費者トラブルの例に興味があるようだった。(香川県・公立・普通科)
- ・学校全体としては特に行っておらず、各教科（主に家庭科）の授業で取り上げている。高校1年生の1学期で説明したため、授業で初めて知ったという反応も多く、特に意識に変化があるようには見えない。(山口県・公立・普通科以外)
- ・家庭科の授業で取り扱い、なるべく早い時期（高校1年生の4月）に取り扱うよう学校から指示があった。生徒の意識としては、お酒やギャンブル、成人式のことには興味があっても、契約や権利義務、トラブルについてはあまり興味がなさそうな印象。(沖縄県・公立・普通科以外)
- ・中学校で学んでいるので、高校1年生の消費・契約に関する知識はある。保護者の理解が進んでいないことが気になる。(北海道・公立・普通科)
- ・教科書にある内容の範囲で学習している。(山梨県・私立・普通科)
- ・生徒本人が成年年齢を強く意識している様子はない。教科書の内容は指導しているが、担当者同士の情報交換や確認は今の時点でない。(東京都・私立・普通科)

- ・契約に関する授業もやらないといけませんが手が回らない。主権者教育は選挙があったため実施した。
(東京都・私立・普通科)
- ・社会科担当教諭と相談し、3学期に社会科と重なる部分を学習する消費者の責任を学ばせる予定である。選挙については月例集会で指導した学年もある。(福井県・公立・普通科以外)

家庭科の実施状況

○授業内容について

- ・家族について触れる際は、家庭環境が複雑な生徒もいるので配慮が必要だと思っている。年度初めに、調理実習の際に必要なアレルギーの確認とあわせて、家族との関係についてもヒアリングを行い、授業の中で家族について触れる際の参考にしている。(福岡県・公立・普通科)
- ・消費者トラブルの事例を説明する際は、実際の企業名などは出さないように配慮している。その仕事をしている家族がいる生徒もいるかもしれないし、一消費者としてまっさらな感覚を持っている生徒に対して、間違った先入観を与えないよう努めている。(香川県・公立・普通科)
- ・ただ授業をして終わりにならないように、いかに自分の人生や生活に直結している話なのか、自分のこととして考えてもらえるように、教えることを意識している。(山口県・公立・普通科以外)
- ・来年度からは家庭総合を1・2年で履修する。SDGsについても考えさせ始めた。町の中の取り組みに関わり、理解させていきたい。(北海道・公立・普通科)
- ・結婚観や子育て観については、多様化を意識して指導している。結婚や子育てを考えていない生徒もいる。(山梨県・私立・普通科)
- ・家庭科担当や社会科担当との連絡調整は実施できていない。(東京都・私立・普通科)
- ・思考実験的な学習は、今後実践しながら授業内容について検討していく。大きくカリキュラムを変更していくだろう。(東京都・私立・普通科)
- ・生徒はそれぞれ家庭の問題を抱えていて、家庭の状況が「つらい」ということを伝えに来る。消費環境については、指導者として専門的知識が少ない。少ない指導時間でどれを重点的に伝えていったらよいか悩む。社会科の指導内容との重なりも気にしている。(福井県・公立・普通科以外)

○外部講師の利用状況について

- ・新型コロナの感染拡大により、最近是利用していない。県では高校卒業前に消費生活センターから契約関連について学ぶよう決められているが、今年から成年年齢引き下げを踏まえ2年生を対象とすようになった。ただ、今年度は新型コロナの感染拡大により、対面ではなく、DVDによる視聴となった。
(福岡県・公立・普通科)
- ・新型コロナの感染拡大により、2020年度は利用しなかったが、2021年度は、大学の先生やOB・OGに対面で実施してもらうなど、オンラインのみならず対面でも活用するようになった。(京都府・私立・普通科)
- ・外部講師は利用していない。各クラスの時間割の調整などが困難であるため、実施しにくい状況である。(香川県・公立・普通科)
- ・新型コロナの感染拡大により、最近是利用していない。(山口県・公立・普通科以外)
- ・卒業講話で1団体のみ毎年活用している。他は、クラス単位で実施したくても時間割に合わせて実施し

てもらうことが難しく、時間がなかなかとれない。(沖縄県・公立・普通科以外)

- ・町役場の職員による「高齢者や認知症の理解」、福祉施設の特別養護老人ホームの職員や企業などと連携した授業を実施している。(北海道・公立・普通科)
- ・クラス全部に1時間ずつ入って指導をしてもらえるといいが、1回の講座に学年全員が参加するのは日程の調整が難しい。教育課程の変更が課題。(山梨県・私立・普通科)
- ・授業の中では招聘していない。夏休みの数日、大学の模擬授業や模擬裁判など外部講師による学習日を実施している。プログラムは学校内で相談し、連絡調整している。(東京都・私立・普通科)
- ・地域包括支援センターや介護施設と連携して高齢者について学ばせている。(福井県・公立・普通科以外)

○新学習指導要領について

- ・成年年齢引き下げにより、契約関係については早いうちから教えるようにしている。(福岡県・公立・普通科)
- ・特にお金や契約に関する部分については長めに時間をとる予定。(香川県・公立・普通科)
- ・ひとつの単元で学ぶというより、成年年齢引き下げの話も含めて、様々な単元で消費生活の話に触れることになると思うため、結果的に授業内で消費生活に関する内容を取扱う時間は増えると思う。(山口県・公立・普通科以外)
- ・評価が変わるので、その対応が難しい。今まで学科で点数がとれなくても実技でカバーできていた生徒を、新制度でうまく評価で拾ってあげられるか悩ましい。成年年齢引き下げを意識して、年度の冒頭で実施し、ウエイトは少し重く置く予定。(沖縄県・公立・普通科以外)
- ・来年4月から「家庭総合」を採択するので、シラバス変更となる。(北海道・公立・普通科)
- ・来年度に向けてシラバスの大きな変更はない。社会科担当との連携の予定も今のところない。(山梨県・私立・普通科)
- ・1年生から順次新学習指導要領の指導に移行していく。他教科教員との情報交換は、総合的な学習や大学入試の小論文の指導に向けて実施している。(東京都・私立・普通科)
- ・「家庭総合」になるが、今のところ忙しく考える余裕がない。(福井県・公立・普通科以外)

「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート」

【調査結果】

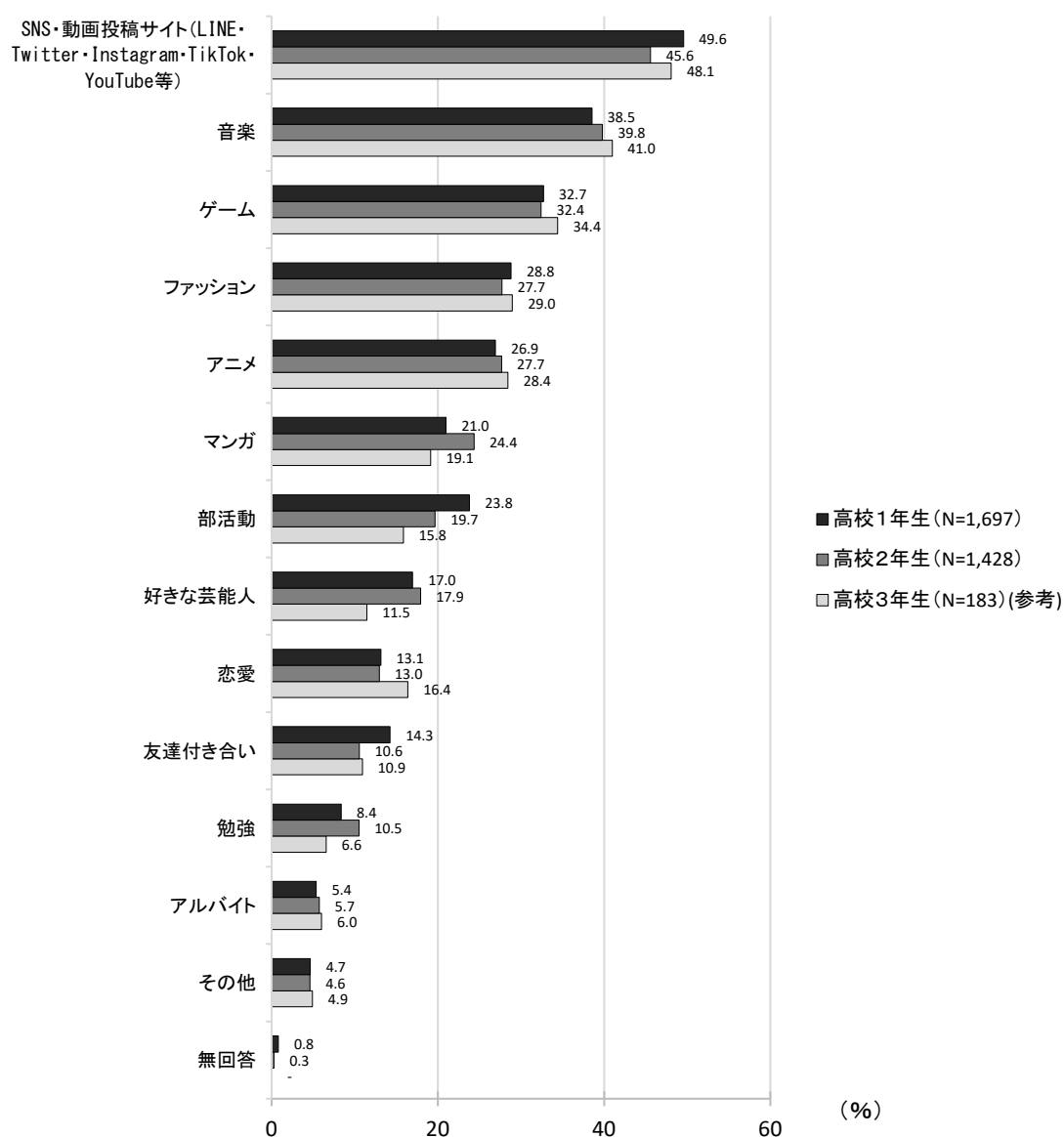
I 日常生活について

1. 興味があること

1年生、2年生ともに「SNS・動画投稿サイト（LINE・Twitter・Instagram・TikTok・YouTube等）」が最も多く、次いで「音楽」と「ゲーム」が続き、学年別でも順位は変わらなかった。

【図表 I-1-1】興味があること（複数回答3つまで）＜学年別＞

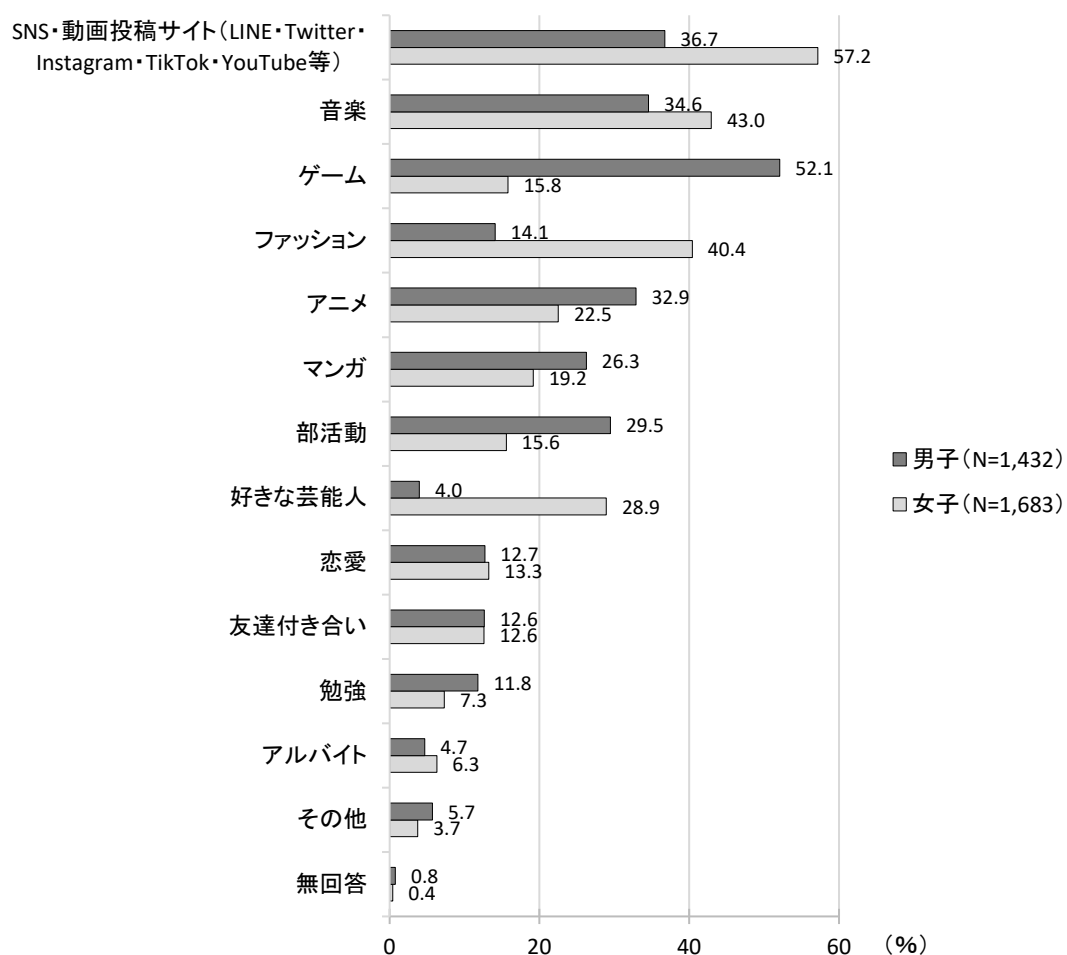
	1 位	2 位	3 位
1 年生 (N=1, 697)	SNS・動画投稿サイト (49.6%)	音楽 (38.5%)	ゲーム (32.7%)
2 年生 (N=1, 428)	SNS・動画投稿サイト (45.6%)	音楽 (39.8%)	ゲーム (32.4%)
【参考】 3 年生 (N=183)	SNS・動画投稿サイト (48.1%)	音楽 (41.0%)	ゲーム (34.4%)



性別でみると、男子は「ゲーム」が過半数を超えて1位（女子では7位）となり、「SNS・動画投稿サイト（LINE・Twitter・Instagram・TikTok・YouTube等）」「音楽」が3割台半ばであった。女子は「SNS・動画投稿サイト」が過半数を超えて1位となり、「音楽」が4割強で2位、「ファッション」が3位（男子では7位）と、性別によって異なる結果となった。

【図表 I-1-2】興味があること（複数回答3つまで）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子 (N=1,432)	ゲーム (52.1%)	SNS・動画投稿サイト (36.7%)	音楽 (34.6%)
女子 (N=1,683)	SNS・動画投稿サイト (57.2%)	音楽 (43.0%)	ファッション (40.4%)

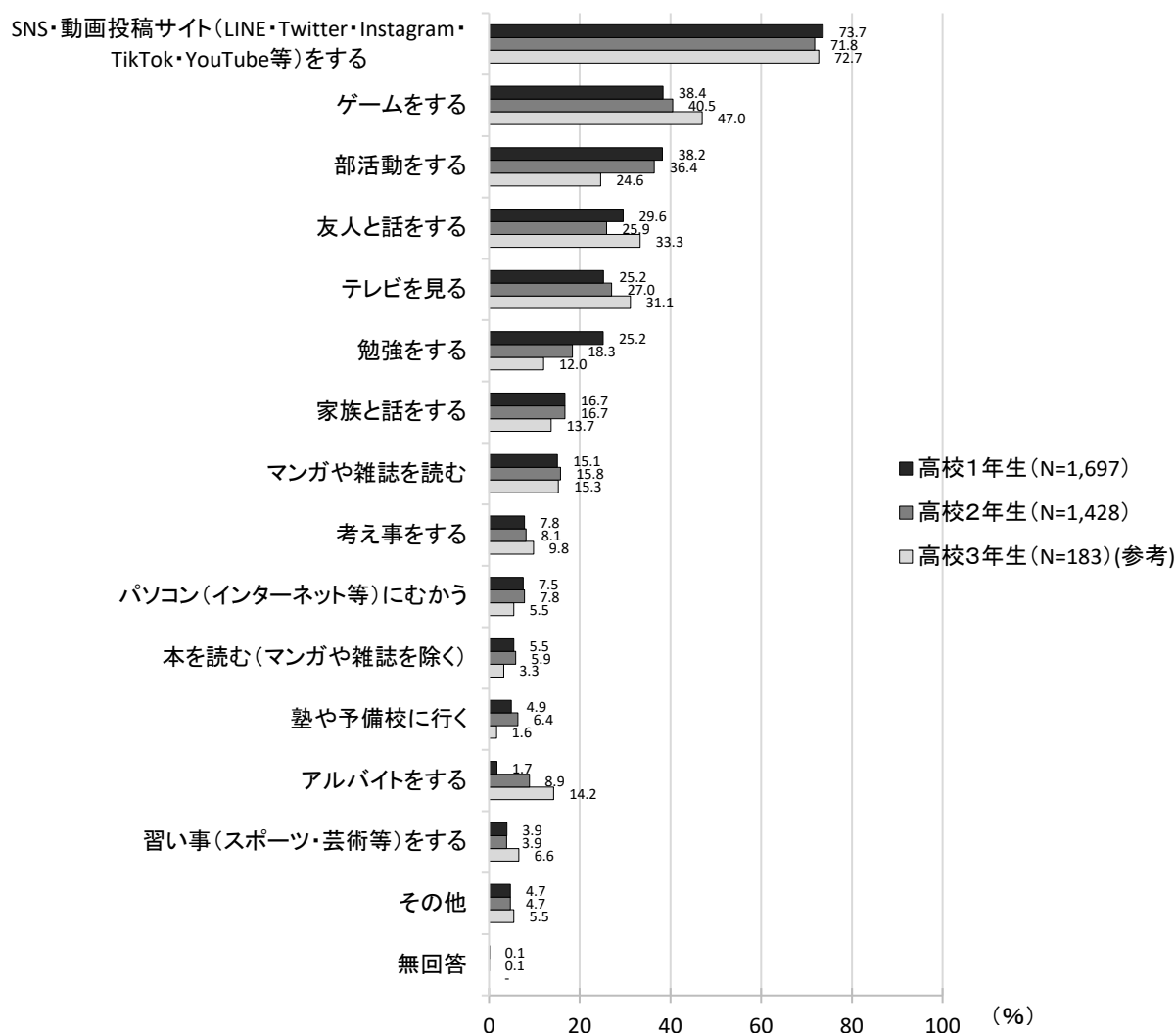


2. 授業以外の時間の過ごし方

1年生、2年生ともに「SNS・動画投稿サイト（LINE・Twitter・Instagram・TikTok・YouTube等）をする」が7割台半ばと最も多く、次いで「ゲームをする」と「部活動をする」が続いた。その他の回答として、「音楽を聴くこと」「絵を描く」が多く挙げた。

【図 I-2-1】授業以外の時間の過ごし方（複数回答上位3つまで）＜学年別＞

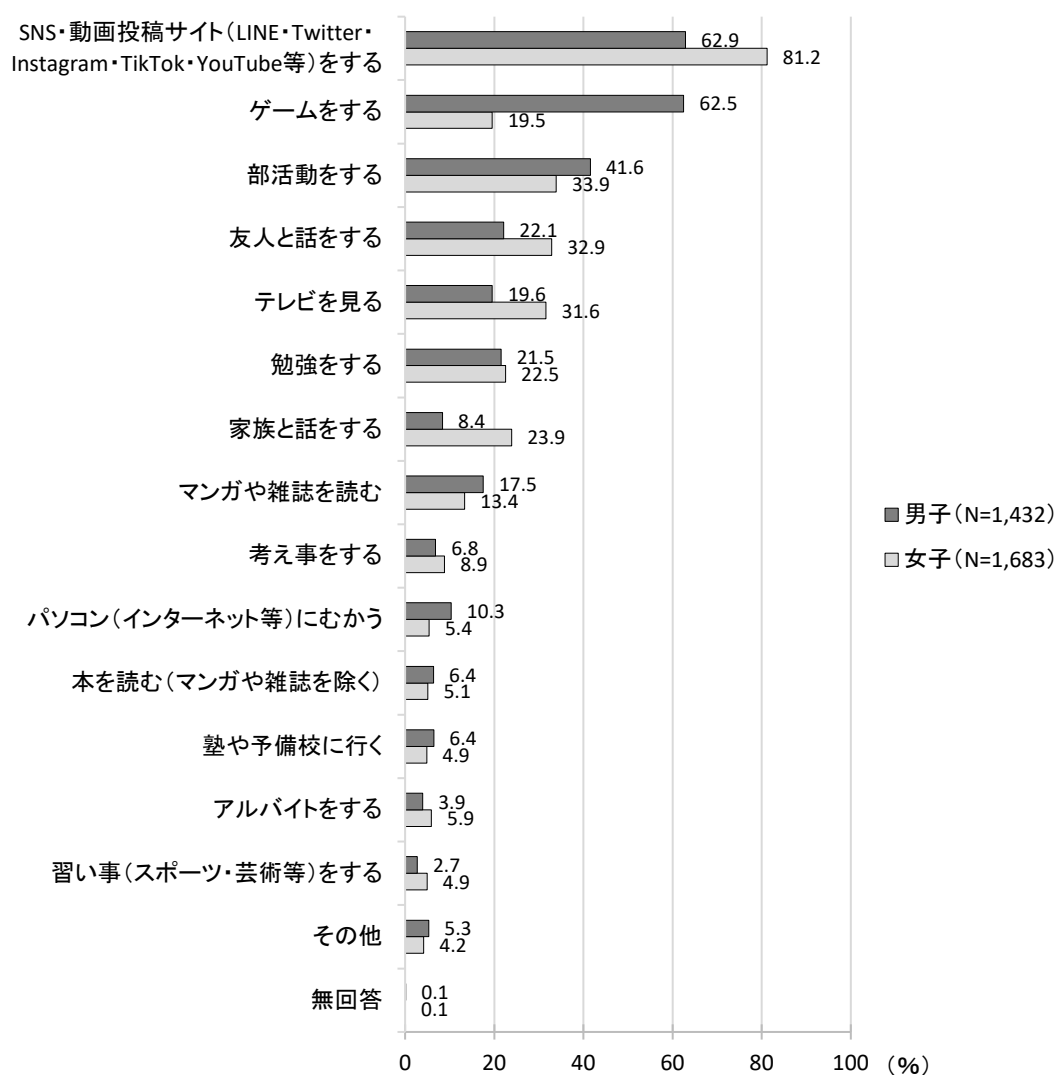
	1 位	2 位	3 位
1 年生 (N=1,697)	SNS・動画投稿サイトをする (73.7%)	ゲームをする (38.4%)	部活動をする (38.2%)
2 年生 (N=1,428)	SNS・動画投稿サイトをする (71.8%)	ゲームをする (40.5%)	部活動をする (36.4%)
【参考】 3 年生 (N=183)	SNS・動画投稿サイトをする (72.7%)	ゲームをする (47.0%)	友人と話を (33.3%)



性別でも「SNS・動画投稿サイト（LINE・Twitter・Instagram・TikTok・YouTube等）をする」が男女とも最も多かった。男女で15ポイント以上の差がみられた項目は、「SNS・動画投稿サイト」「ゲームをする」「家族と話をする」であった。

【図 I-2-2】授業以外の時間の過ごし方（複数回答上位3つまで）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子 (N=1,432)	SNS・動画投稿サイトをする (62.9%)	ゲームをする (62.5%)	部活動をする (41.6%)
女子 (N=1,683)	SNS・動画投稿サイトをする (81.2%)	部活動をする (33.9%)	友人と話をする (32.9%)

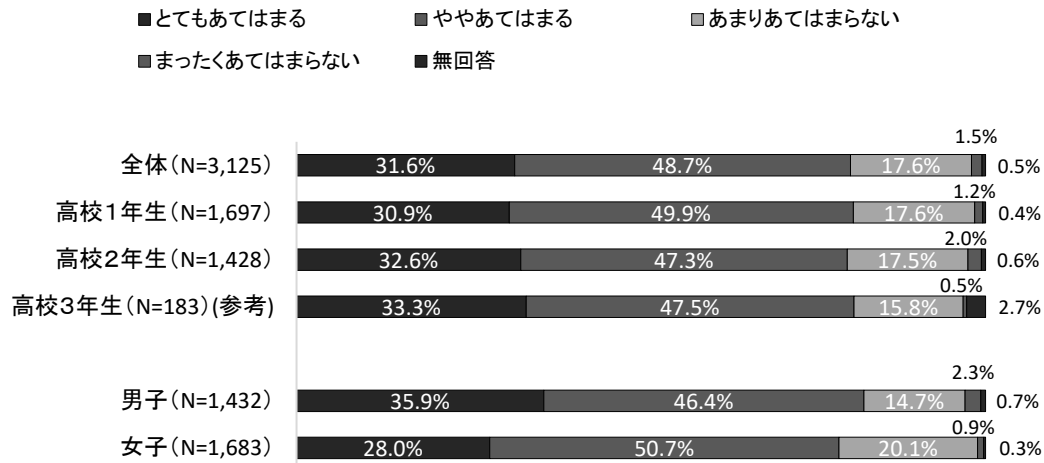


3.【新規項目】考え方や傾向

(1) 欲しいものはすぐ手に入れたい方だ

全体の8割が「欲しいものはすぐ手に入れたい方だ」と回答した。学年別、性別による大きな差はみられなかった。

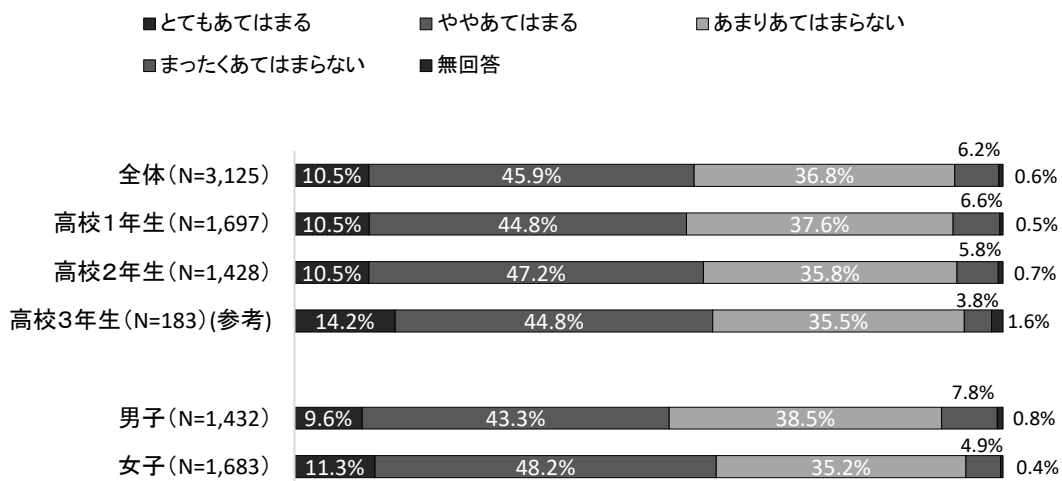
【図表 I-3-1】欲しいものはすぐ手に入れたい方だ＜全体・学年別・性別＞



(2) 影響力のある人（メディアやSNSで情報発信する人）の話を信じる方だ

全体の過半数が「影響力のある人の話を信じる方だ」と回答した。性別では、女子が影響力のある人の話を信じる傾向が高かった。

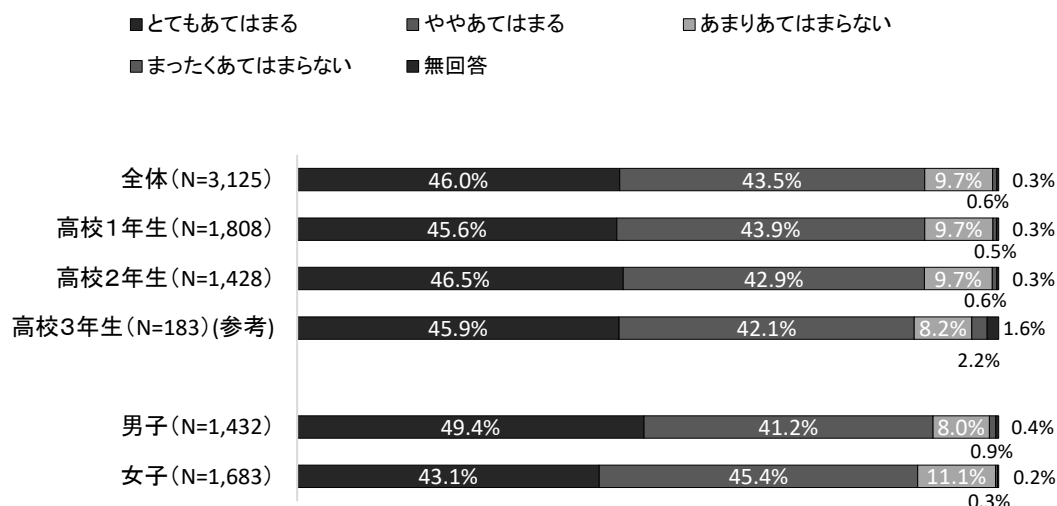
【図表 I-3-2】影響力のある人の話を信じる方だ＜全体・学年別・性別＞



（３）買ったものはできるだけ長く使う方だ

全体の約９割が「買ったものはできるだけ長く使う方だ」と回答し、学年別でも大きな差はみられなかった。性別では、「とてもあてはまる」は男子の割合が高いが、あてはまる（「とてもあてはまる」、「ややあてはまる」）では、大きな差はみられなかった。

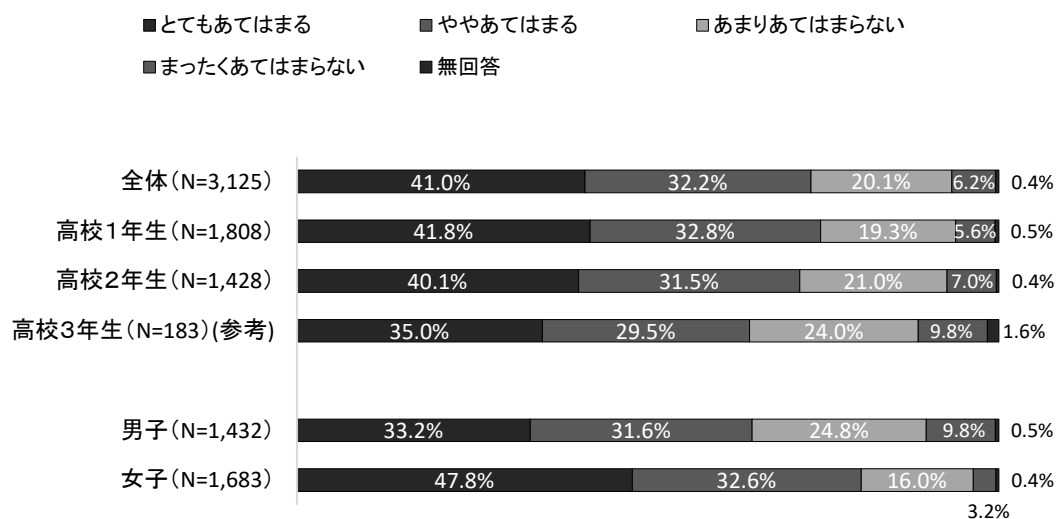
【図表 I-3-3】買ったものはできるだけ長く使う方だ＜全体・学年別・性別＞



（４）レジ袋はもらわないようにしている

全体の７割強は「レジ袋はもらわないようにしている」と回答し、学年では大きな差はみられなかった。性別では、女子がレジ袋をもらわないようにしている傾向が高かった。

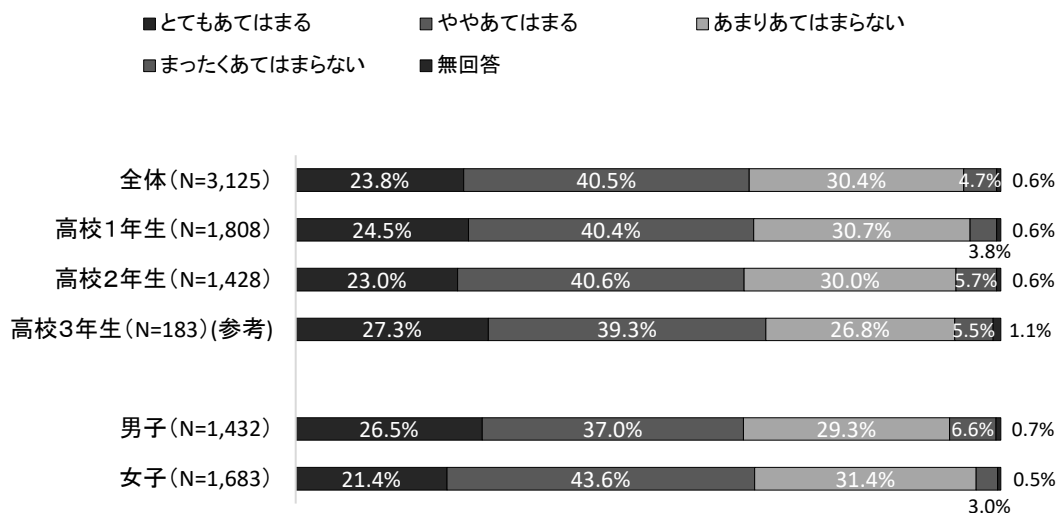
【図表 I-3-4】レジ袋はもらわないようにしている＜全体・学年別・性別＞



（５）買い物は値段が安いのが一番だと思う

全体の６割台半ばが「買い物は値段が安いのが一番だと思う」と回答した。学年別、性別による大きな差はみられなかった。

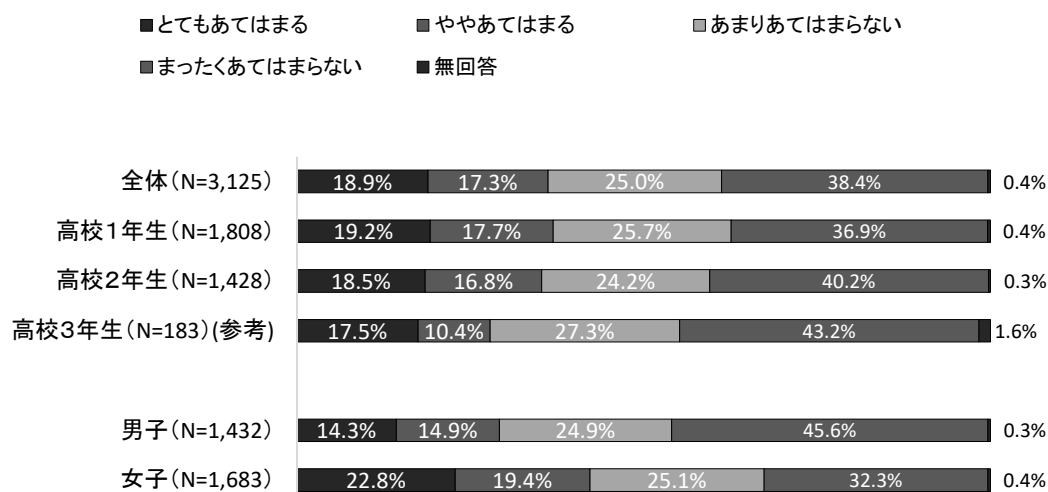
【図表Ⅰ-3-5】買い物は値段が安いのが一番だと思う＜全体・学年別・性別＞



（６）コンビニでおにぎりを買う時、棚の奥から取る方だ

全体の３割台半ばが「コンビニでおにぎりを買う時、棚の奥から取る方だ」と回答した。学年では大きな差はみられなかったが、性別では女子が棚の奥から取る傾向が高かった。

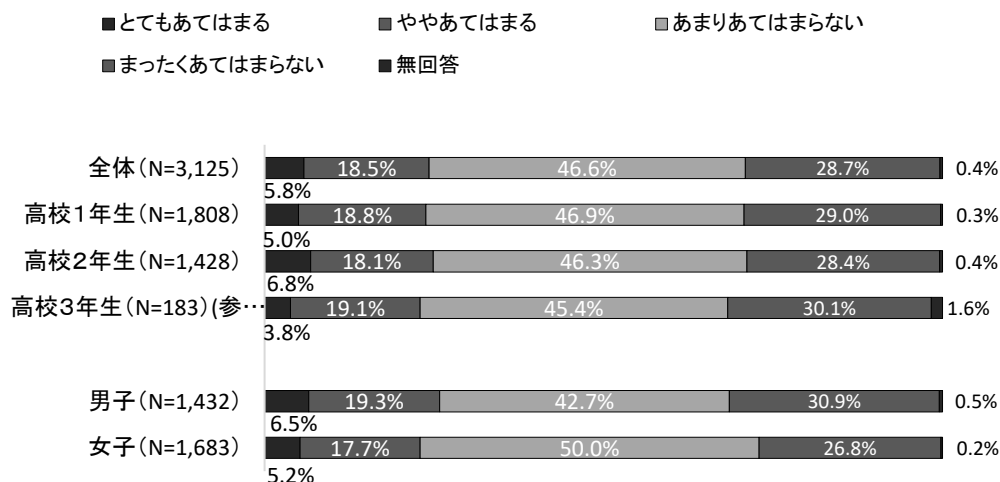
【図表Ⅰ-3-6】コンビニでおにぎりを買う時、棚の奥から取る方だ＜全体・学年別・性別＞



(7) フェアトレード商品があれば積極的に選ぶ方だ

全体の2割台半ばが「フェアトレード商品があれば積極的に選ぶ方だ」と回答した。学年別、性別で大きな差はみられなかった。

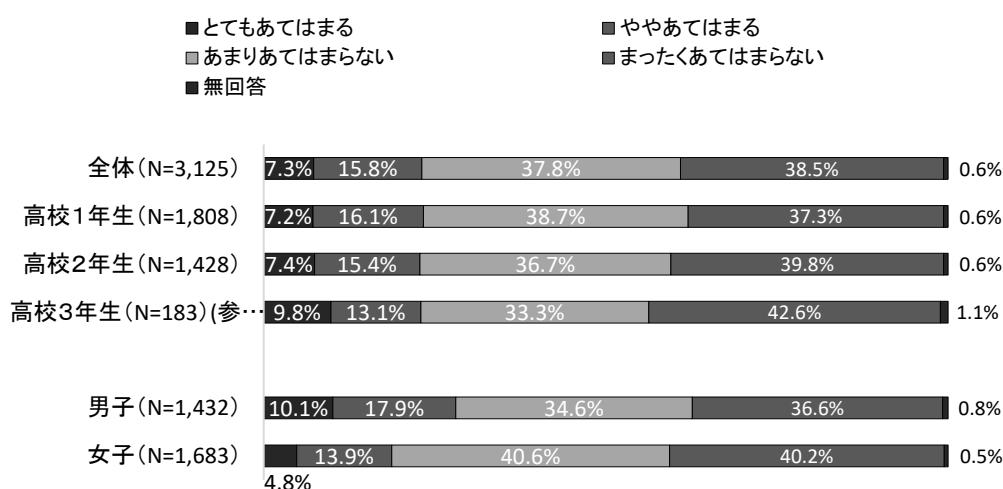
【図表 I-3-7】 フェアトレード商品があれば積極的に選ぶ方だ＜全体・学年別・性別＞



(8) 商品に問題があった場合、企業などに連絡する

全体の2割強が「商品に問題があった場合、企業などに連絡する」と回答した。学年では大きな差はみられなかったが、性別では男子が「連絡する」と回答する割合が高かった。

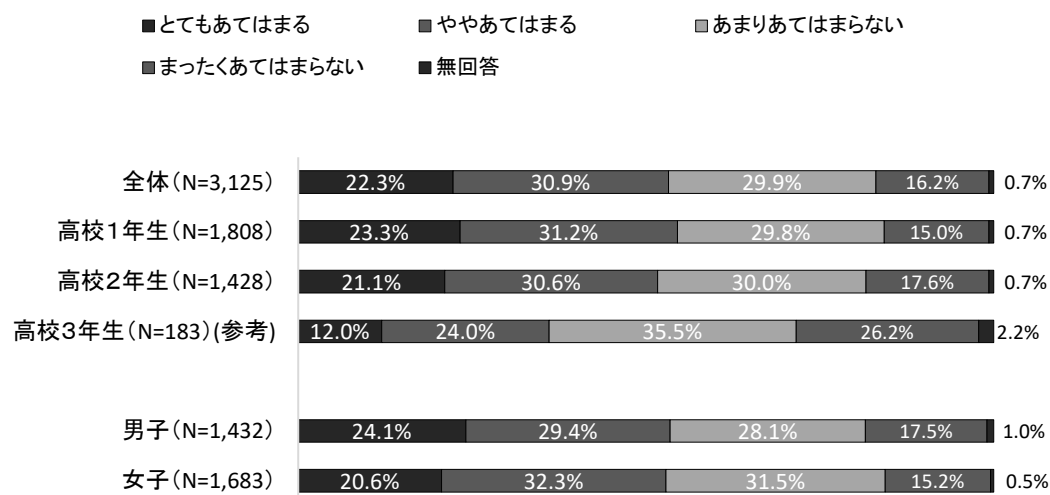
【図表 I-3-8】 商品に問題があった場合、企業などに連絡する＜全体・学年別・性別＞



(9) 18 歳になったら選挙に行きたいと思う

全体の半数強が「18 歳になったら選挙に行きたいと思う」と回答し、半数弱が選挙に行くことに消極的な回答をした。学年別、性別で大きな差はみられなかった。

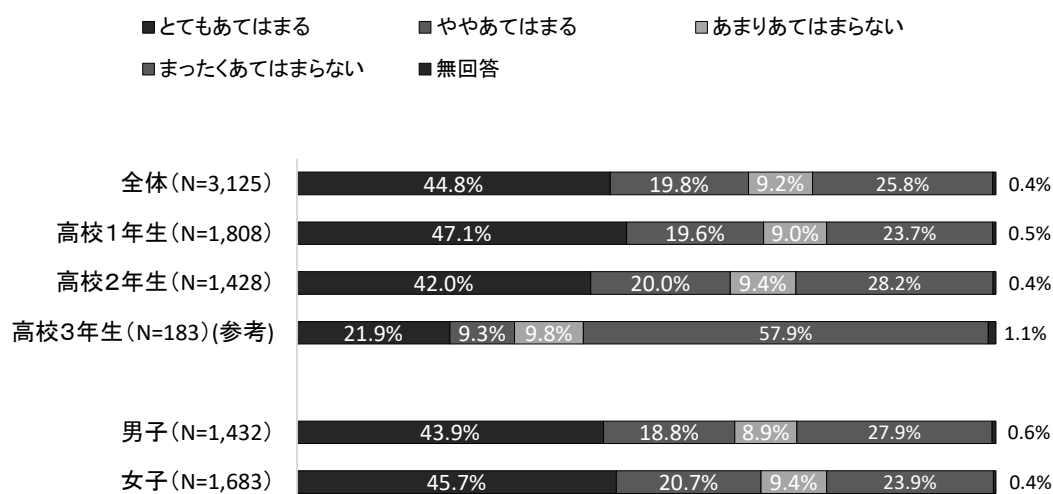
【図表 I-3-9】18 歳になったら選挙に行きたいと思う＜全体・学年別・性別＞



(10) 「SDGs」という言葉を知っている

全体の6割台半ばが「『SDGs』という言葉を知っている」と回答した。学年別では、1年生の知っている割合が若干高く、性別では大きな差はみられなかった。

【図表 I-3-10】「SDGs」という言葉を知っている＜全体・学年別・性別＞



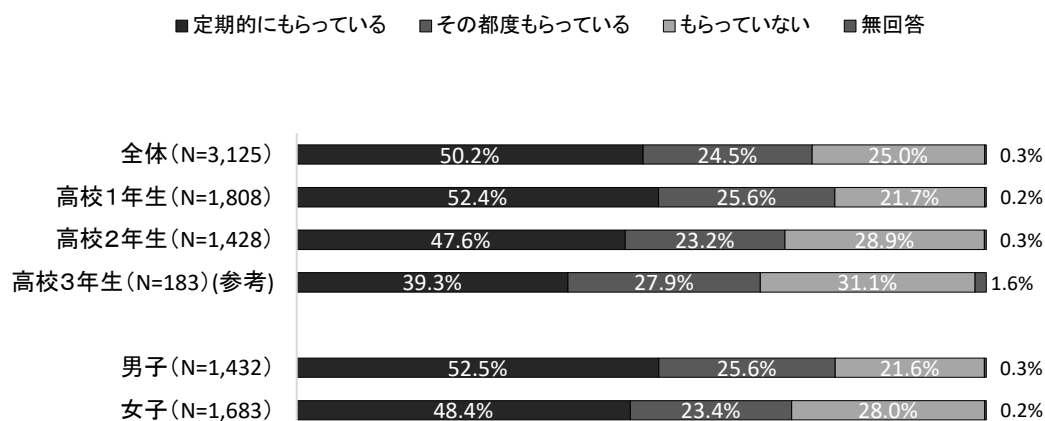
Ⅱ お小遣い、アルバイト等のお金について

1. お小遣いについて

1-1 お小遣いの有無

全体では、半数がお小遣いを「定期的にもらっている」と回答した。「その都度もらっている」も含めると、7割台半ばがお小遣いをもらっているという結果であった。学年別では2年生に比べて1年生がお小遣いをもらっている割合が高く、性別では男子がお小遣いをもらっている割合が高かった。

【図表Ⅱ-1-1】お小遣いの有無＜全体・学年別・性別＞



1-2 1ヵ月にもらっている金額

定期的及びその都度にお小遣いをもらっている人（アルバイトを除く）の、1ヵ月にもらっている金額は平均で5,333円（中央値で5,000円）であった。中央値でみると、学年別、性別で差はなかった。

【図表Ⅱ-1-2】1ヵ月にもらっている金額＜学年別・性別＞

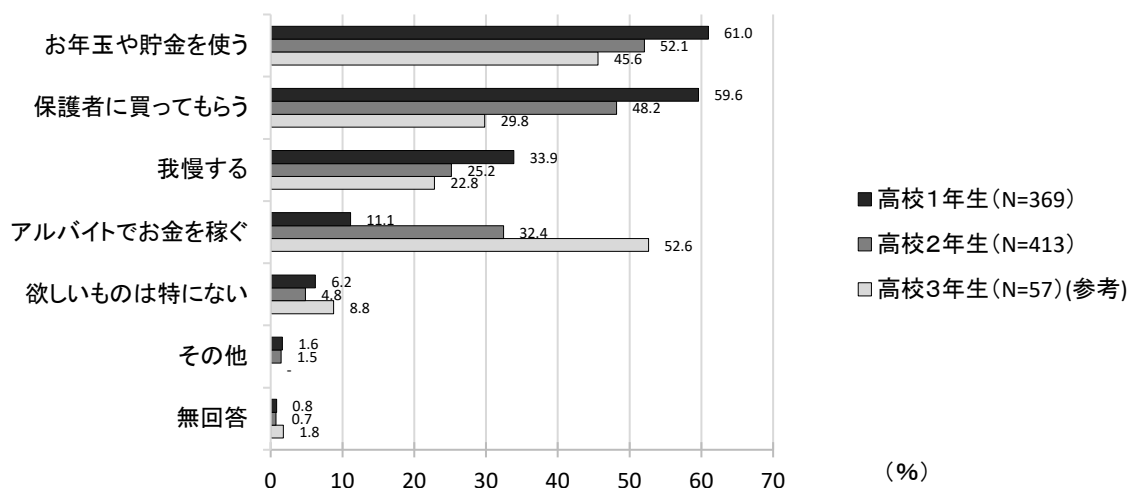
		平均値	中央値
学年別	高校1年生 (N=1,324)	5,044	5,000
	高校2年生 (N=1,011)	5,714	5,000
	【参考】高校3年生 (N=123)	9,164	5,000
性別	男子 (N=1,118)	5,613	5,000
	女子 (N=1,208)	5,085	5,000
全体 (N=2,335)		5,333	5,000

(単位：円)

1-3 お小遣いをもらっていない場合の対処法

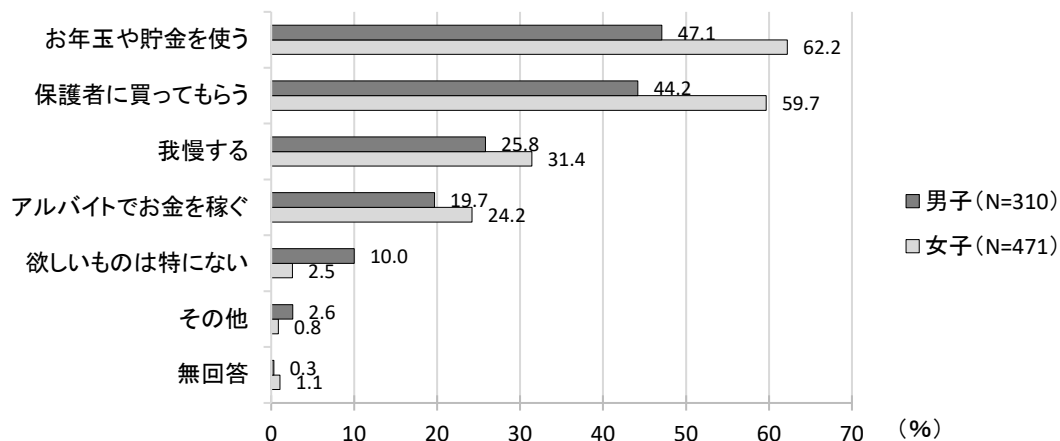
「お年玉や貯金を使う」「保護者を買ってもらう」が多い結果となった。学年で20ポイント以上の差がみられたのは「アルバイトでお金を稼ぐ」で、1年生に比べて2年生の割合が高かった。その他の回答としては「いらない物を売って買う」という回答があった。

【図表Ⅱ-1-3】お小遣いをもらっていない場合の対処法（複数回答）＜学年別＞



性別では、「お年玉や貯金を使う」が男子は4割台半ば、女子は6割強と最も多く、次いで「保護者を買ってもらう」と「我慢する」が続いた。1位から3位の順位は変わらなかったが、「お年玉や貯金を使う」と「保護者を買ってもらう」は女子が6割前後に達し、性別による差が大きかった。

【図表Ⅱ-1-4】お小遣いをもらっていない場合の対処法（複数回答）＜性別＞

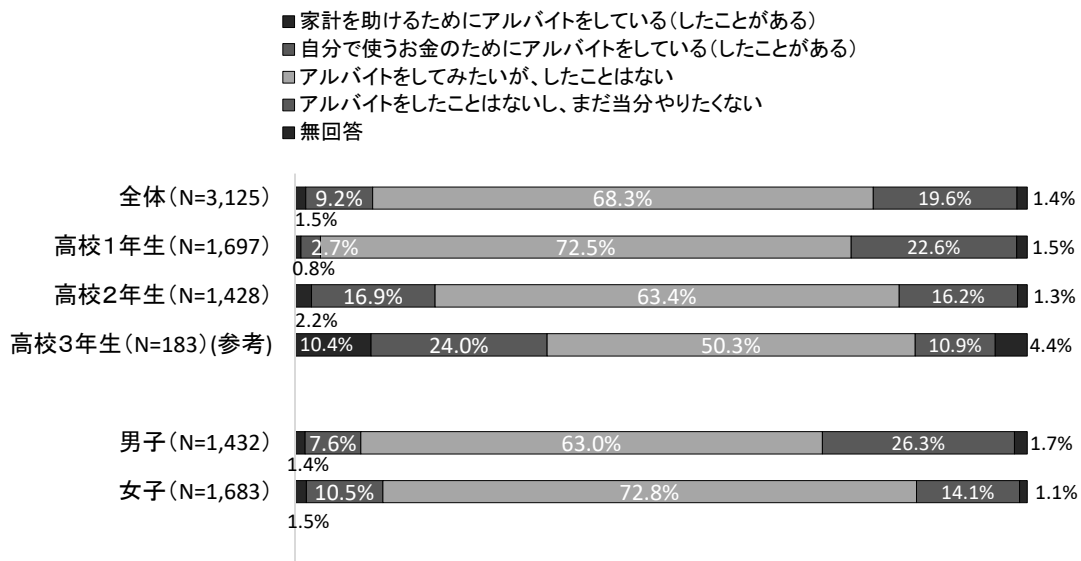


2. アルバイトについて

2-1 アルバイト経験

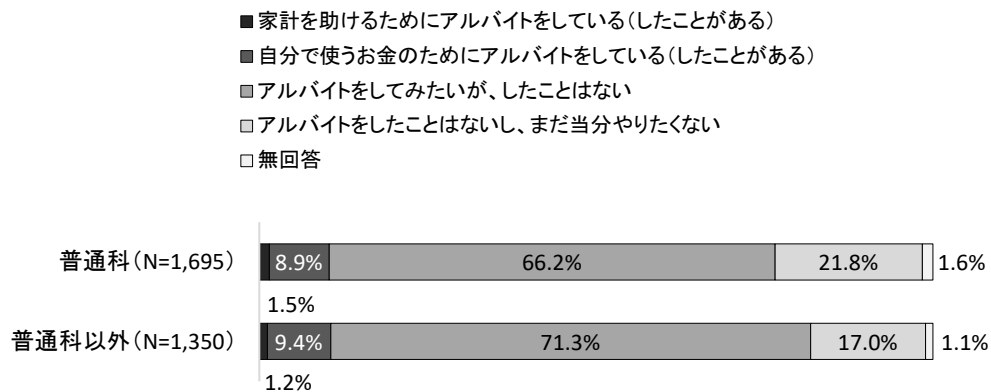
「家計を助けるためにしている（した）」「自分で使うためにしている（した）」を合わせて全体で1割であり、「してみたいが、したことはない」が約7割であった。学年別では学年が上がるごとに経験者が増えていた。性別では、経験者の割合はほぼ同じであったが、女子は「してみたいが、したことはない」が多かった。

【図表Ⅱ-2-1】アルバイトの経験＜全体・学年別・性別＞



普通科と普通科以外の違いでみると、経験者の割合はほぼ同じであったが、普通科以外が「してみたいが、したことはない」が若干多かった。

【図表Ⅱ-2-2】アルバイトの経験＜学科別＞



(注) 普通科以外…職業学科、総合学科、その他専門学科を指す。

学科不明の学校が2校(80名)あったため、普通科と普通科以外の合計は総数と一致しない

2-2 1ヵ月の収入金額

アルバイトの1ヵ月の収入金額は、平均で38,494円（中央値で35,000円）であった。中央値で学年別にみると、1年生に比べ2年生は5,000円高かった。性別では、女子に比べ男子は中央値で2,400円高かった。

【図表Ⅱ-2-3】1ヵ月の収入金額＜学年別・性別＞

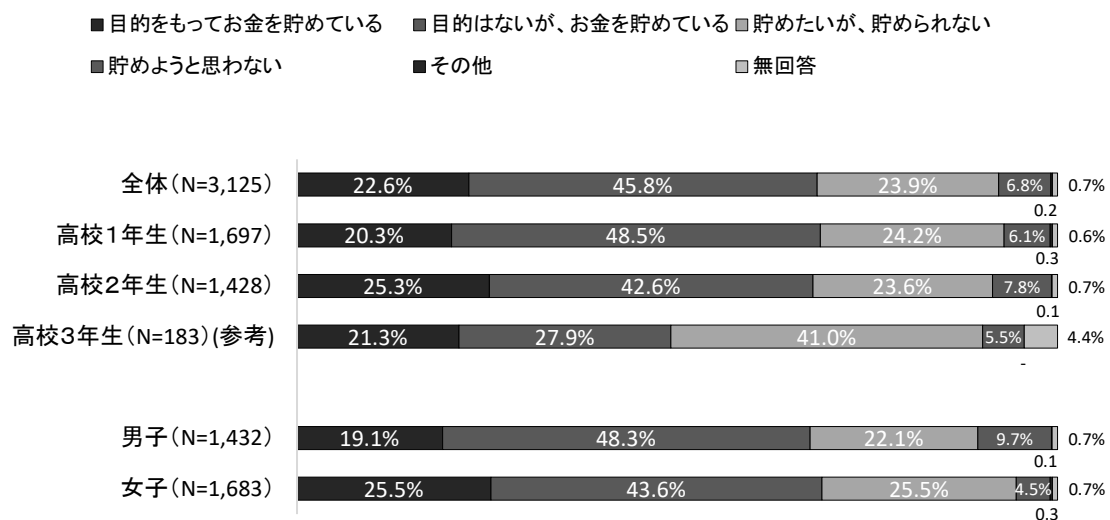
		平均値	中央値
学年別	高校1年生 (N=59)	37,368	30,000
	高校2年生 (N=273)	38,721	35,000
	【参考】高校3年生 (N=63)	52,774	50,000
性別	男子 (N=129)	41,232	37,400
	女子 (N=202)	36,878	35,000
全体 (N=332)		38,494	35,000

(単位：円)

3. 貯金について

「目的があり貯めている」「目的はないが、貯めている」を合わせると、約7割の高校生が貯金をしていたが、目標をもってお金を貯めている高校生は2割強にとどまった。学年別では大きな差はみられず、性別では男子に比べて女子が「目的をもってお金を貯めている」が若干高かった。

【図表Ⅱ-3-1】貯金の有無＜全体・学年別・性別＞



貯金の目的についての自由記述では、欲しいものを買うためという回答が最も多く、進学など将来のためという回答もあった。

【図表Ⅱ-3-2】貯金の目的（自由記述、複数回答）

＜主な回答＞	
・欲しいものを買うため （楽器・本・ゲーム・CD・グッズ・パソコン等）	266 人
・将来のため（1人暮らし・夢のため等）	205 人
・遊び・旅行のため （遊びに行く・旅行に行く・修学旅行のため等）	129 人
・進学のため（大学・専門学校・学費等）	74 人
・車・バイクの免許を取るため	29 人
他	

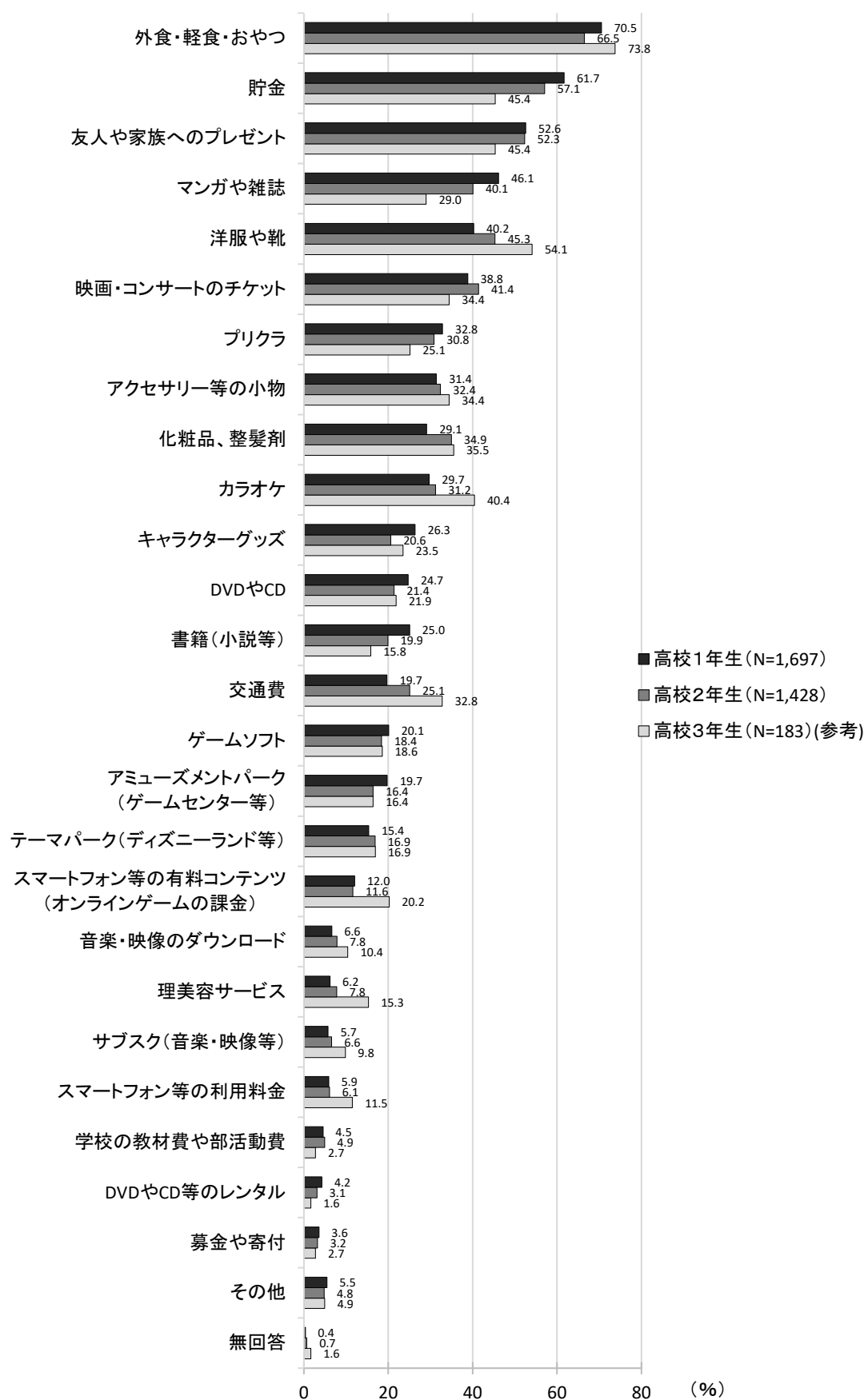
4. お金について

4-1 お金の使い道

1年生、2年生ともにお金の使い道は、「外食・軽食・おやつ」が7割と最も多く、次いで「貯金」と「友人や家族へのプレゼント」が続いた。

【図表Ⅱ-4-1】お金の使い道（複数回答）＜学年別＞

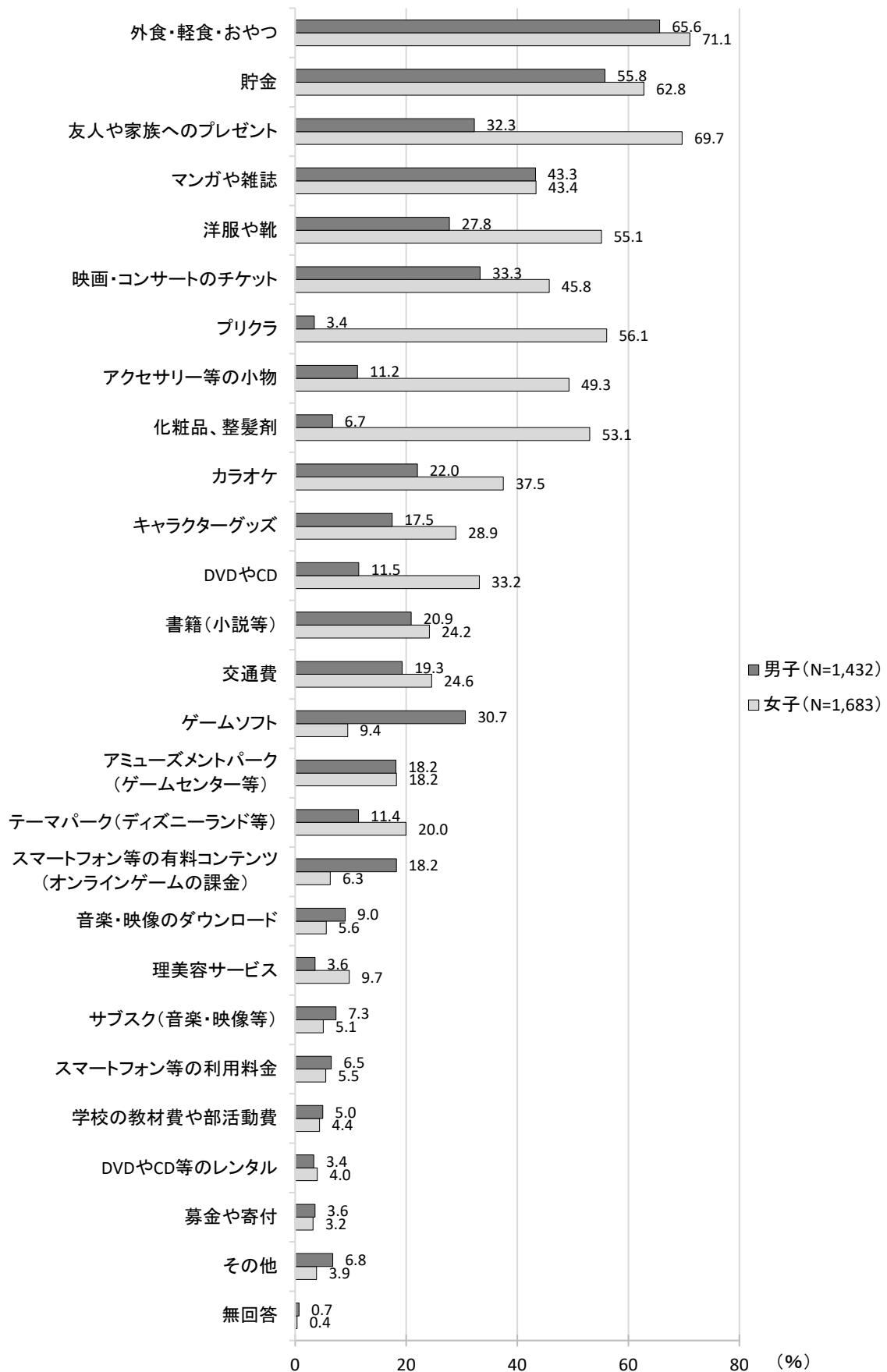
	1 位	2 位	3 位
高校1年生 (N=1,697)	外食・軽食・おやつ (70.5%)	貯金(61.7%)	友人や家族へのプレゼント(52.6%)
高校2年生 (N=1,428)	外食・軽食・おやつ (66.5%)	貯金(57.1%)	友人や家族へのプレゼント(52.3%)
【参考】 高校3年生 (N=183)	外食・軽食・おやつ (73.8%)	洋服や靴(54.1%)	友人や家族へのプレゼント(45.4%)



学年別で1位の「外食・軽食・おやつ」は、男女ともに6割台半ば～7割強であり、性別でも1位となった。男子は、次いで「貯金」と「マンガや雑誌」が続き、女子は「友人や家族へのプレゼント」と「貯金」が続いた。男女で差がみられた項目のうち、男子に特に多い項目は「ゲームソフト」「スマートフォン等の有料コンテンツ」であり、女子に特に多い項目は「友人や家族へのプレゼント」「洋服や靴」「プリクラ」「アクセサリー等の小物」「化粧品・整髪剤」「DVDやCD」であった。

【図表Ⅱ-4-2】お金の使い道（複数回答）＜性別＞

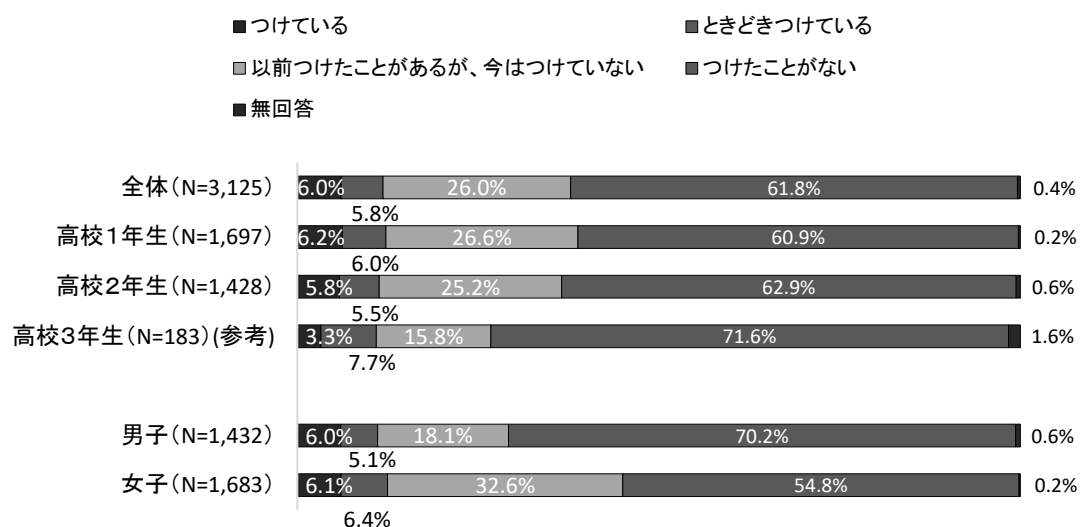
	1 位	2 位	3 位
男子 (N=1, 432)	外食・軽食・おやつ (65.6%)	貯金(55.8%)	マンガや雑誌(43.3%)
女子 (N=1, 683)	外食・軽食・おやつ (71.1%)	友人や家族への プレゼント(69.7%)	貯金(62.8%)



4-2 お金の管理（お小遣い帳の記録）

お小遣い帳を記録しているのは全体の1割強で、「つけたことがない」という回答は6割強であった。学年別では、大きな差はみられなかった。性別では、男子の7割がつけた経験がないと回答したのに対し、女子は「以前つけていたが、今はつけていない」が比較的多く、4割台半ばがお小遣い帳の記録を経験していた。

【図表Ⅱ-4-3】お小遣い帳の記録＜全体・学年別・性別＞

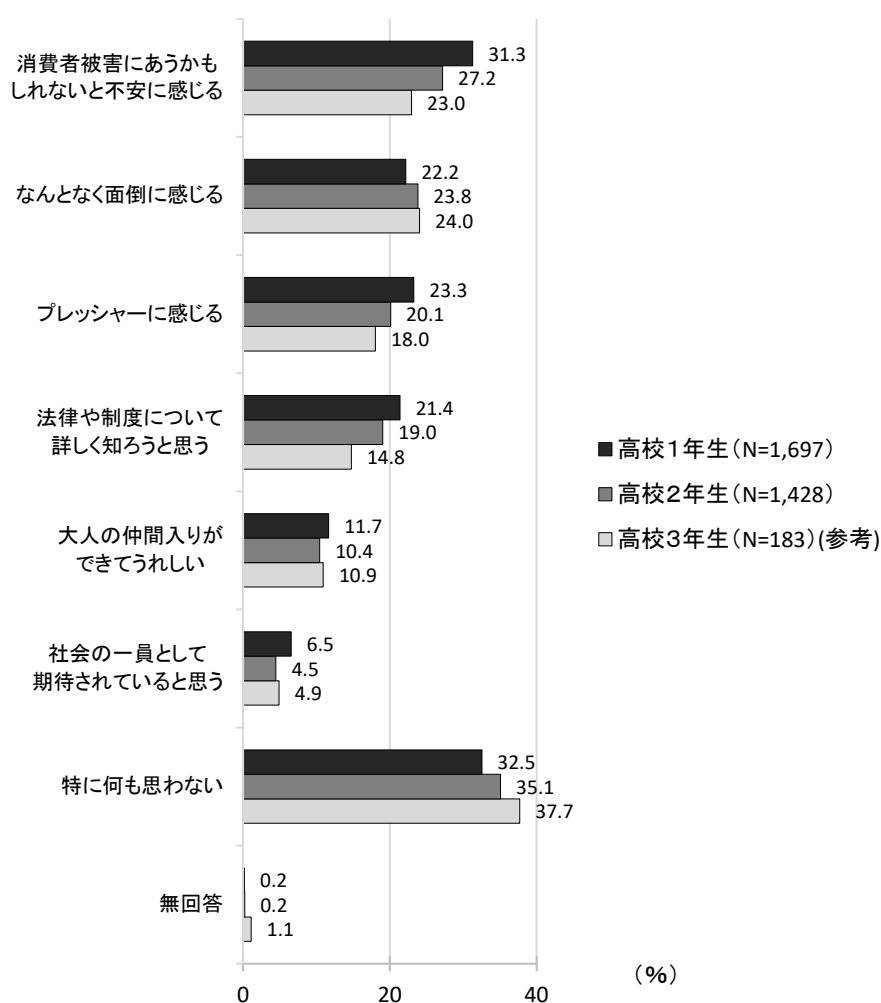


Ⅲ 「消費・契約」について

1. 【新規項目】成年年齢引き下げについて

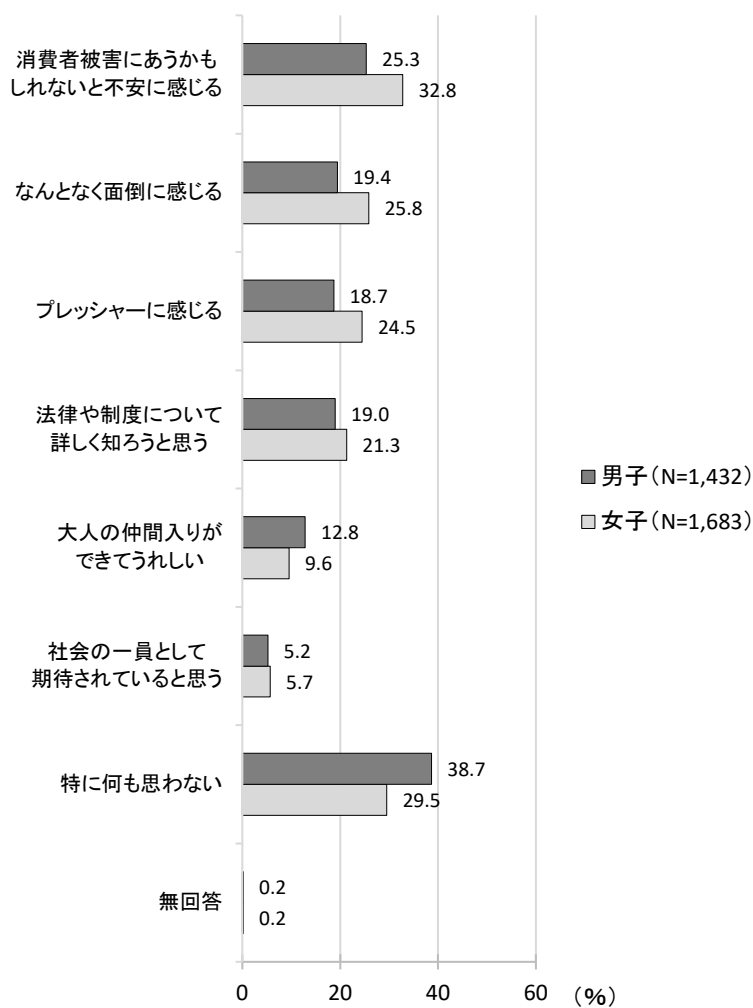
学年別では「特に何も思わない」が最も多く、1年生は3割強、2年生は3割台半ばが回答した。次いで1年生、2年生ともに「消費者被害にあうかもしれないと不安を感じる」と3割程度が、「なんとなく面倒を感じる」「プレッシャーを感じる」「法律や制度について詳しく知ろうと思う」と2割程度が回答した。

【図表Ⅲ-1-1】成年年齢引き下げについて（複数回答）＜学年別＞



性別では、男子は「特に何も思わない」が最も多く、約4割となった。一方、女子では「消費者被害にあうかもしれないと不安を感じる」が最も多く、3割強となった。

【図表Ⅲ-1-2】成年年齢引き下げについて（複数回答）＜性別＞



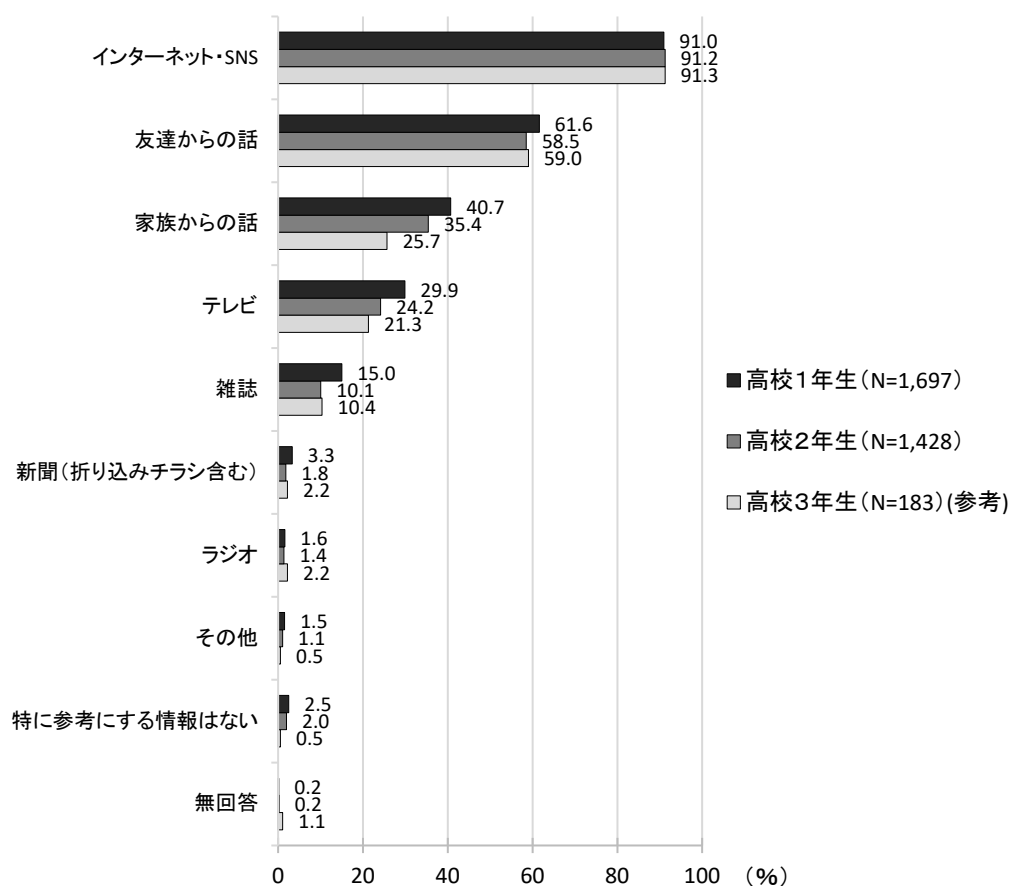
2. 買い物について

2-1 欲しいものがあるとき、参考にする情報

学年別では、1年生と2年生の順位は変わらず、1位の「インターネット・SNS」は1年生、2年生ともに9割を上回った。次いで2位が「友達からの話」で約6割、3位が「家族からの話」で1年生は4割、2年生は3割台半ばとなった。「特に参考にする情報はない」は低く、1割未満であった。その他の回答としては、「自身で見る」が挙げた。

【図表Ⅲ-1-3】欲しいものがあるとき、参考にする情報（複数回答）＜学年別＞

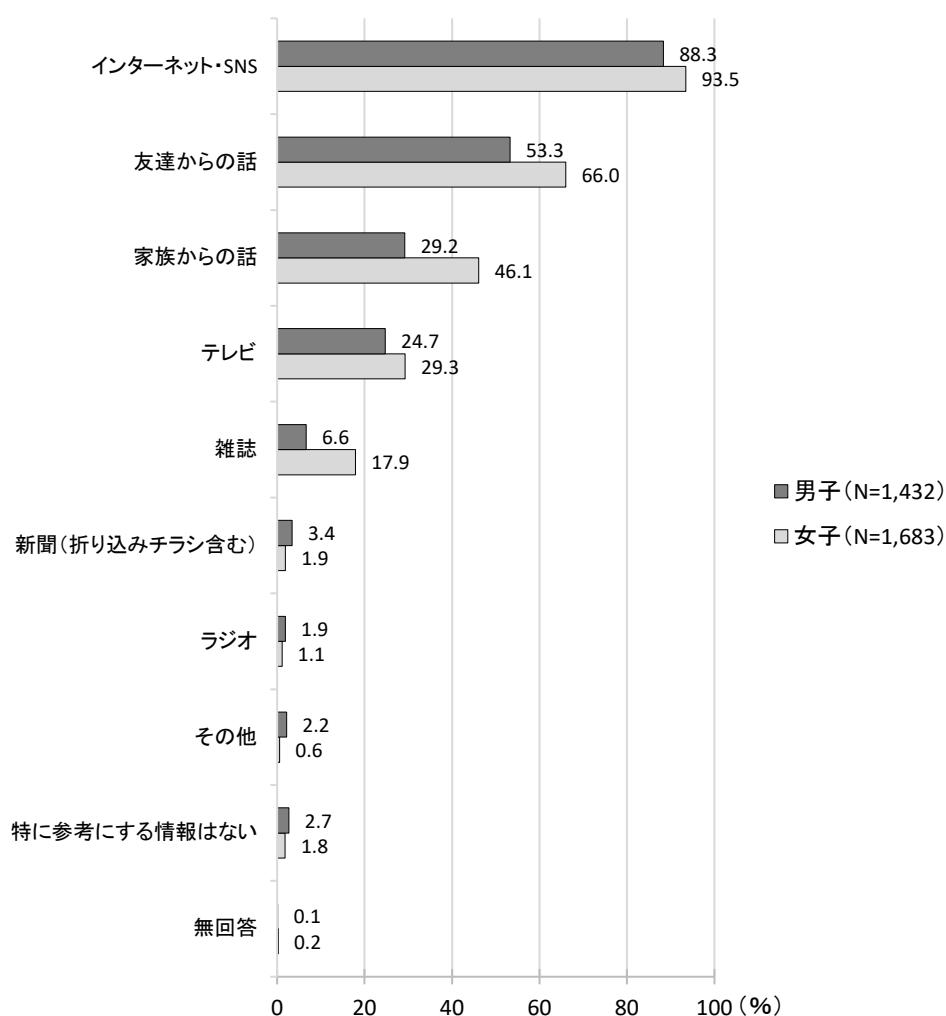
	1 位	2 位	3 位
1 年生 (N=1,697)	インターネット・SNS (91.0%)	友達からの話 (61.6%)	家族からの話 (40.7%)
2 年生 (N=1,428)	インターネット・SNS (91.2%)	友達からの話 (58.5%)	家族からの話 (35.4%)
【参考】 3 年生 (N=183)	インターネット・SNS (91.3%)	友達からの話 (59.0%)	家族からの話 (25.7%)



男女ともに1位～3位の順位は変わらず、参考にする情報の1位は「インターネット・SNS」で9割前後となった。男子に比べ女子は、友達や家族からの話を参考にする傾向が高かった。

【図表Ⅲ-1-4】欲しいものがあるとき、参考にする情報（複数回答）＜性別＞

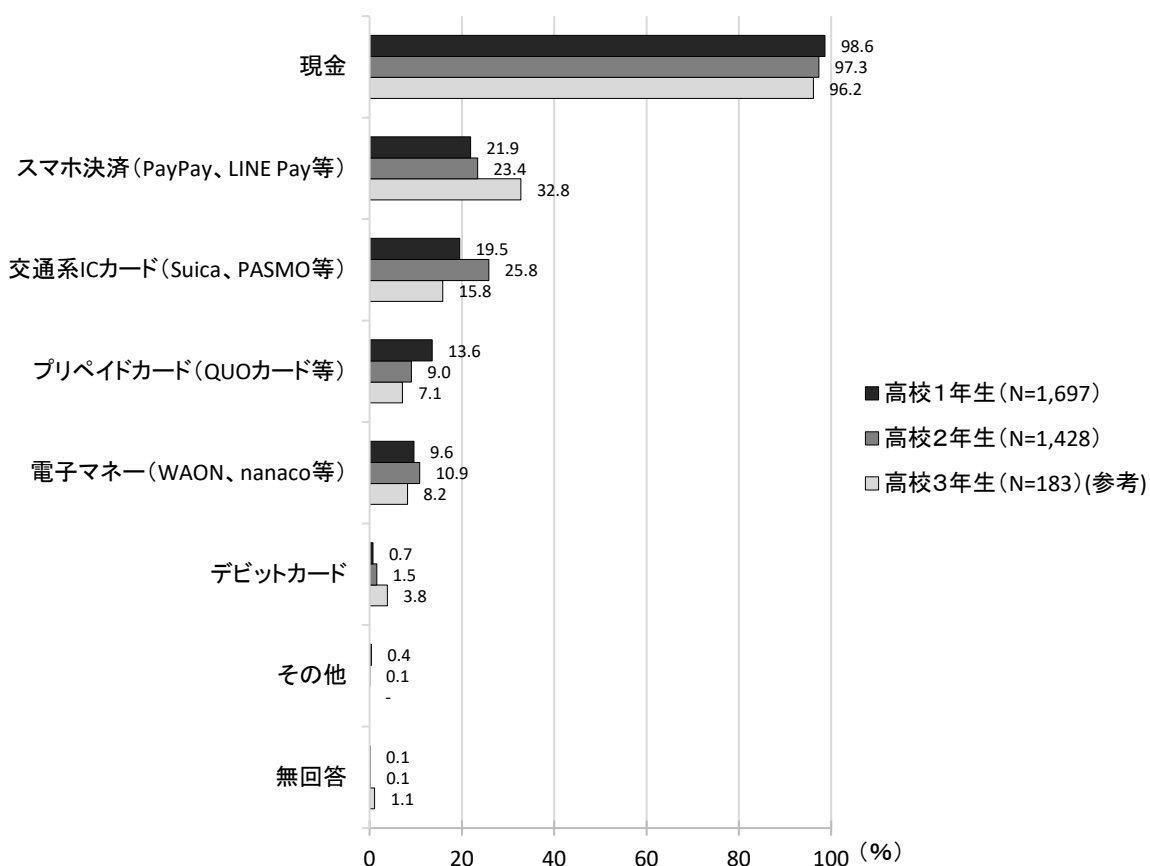
	1 位	2 位	3 位
男子 (N=1,432)	インターネット・SNS (88.3%)	友達からの話 (53.3%)	家族からの話 (29.2%)
女子 (N=1,683)	インターネット・SNS (93.5%)	友達からの話 (66.0%)	家族からの話 (46.1%)



2-2 店頭で購入時の支払い方法

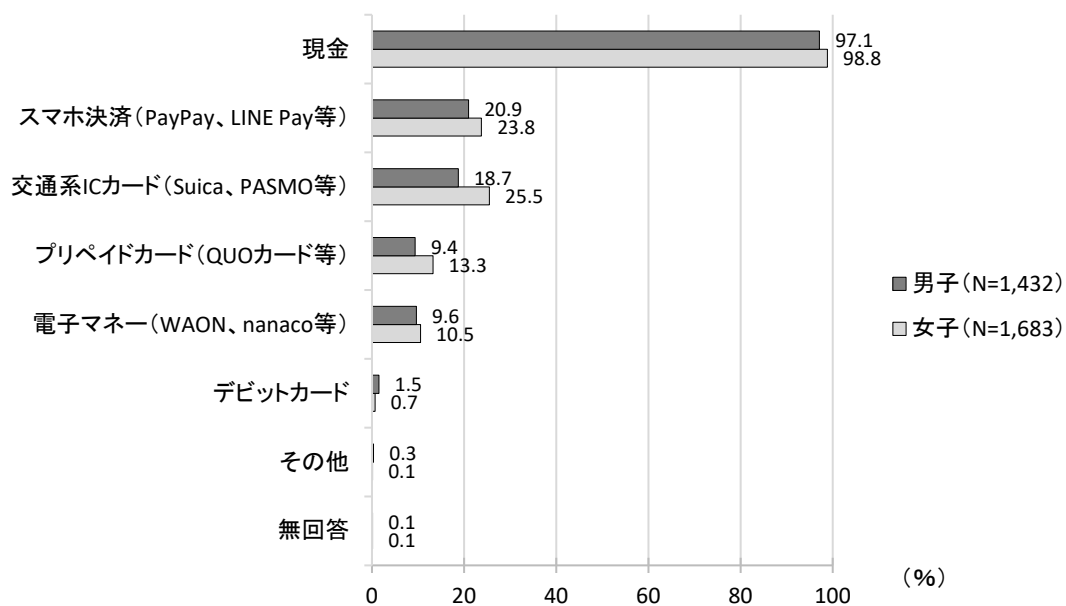
どの学年も「現金」が最も多く、1年生、2年生ともに9割台後半となった。次いで「スマホ決済（PayPay、LINE Pay等）」「交通系ICカード（Suica、PASMO等）」は1年生、2年生ともに約2割～2割台半ばの結果となった。

【図表Ⅲ-1-5】店頭で購入時の支払い方法（複数回答）＜学年別＞



性別でも「現金」が最も多く、男女ともに9割台後半となった。男子は、次いで「スマホ決済（PayPay、LINE Pay 等）」、「交通系 IC カード（Suica、PASMO 等）」の順、女子は、「交通系 IC カード」、「スマホ決済」の順となった。

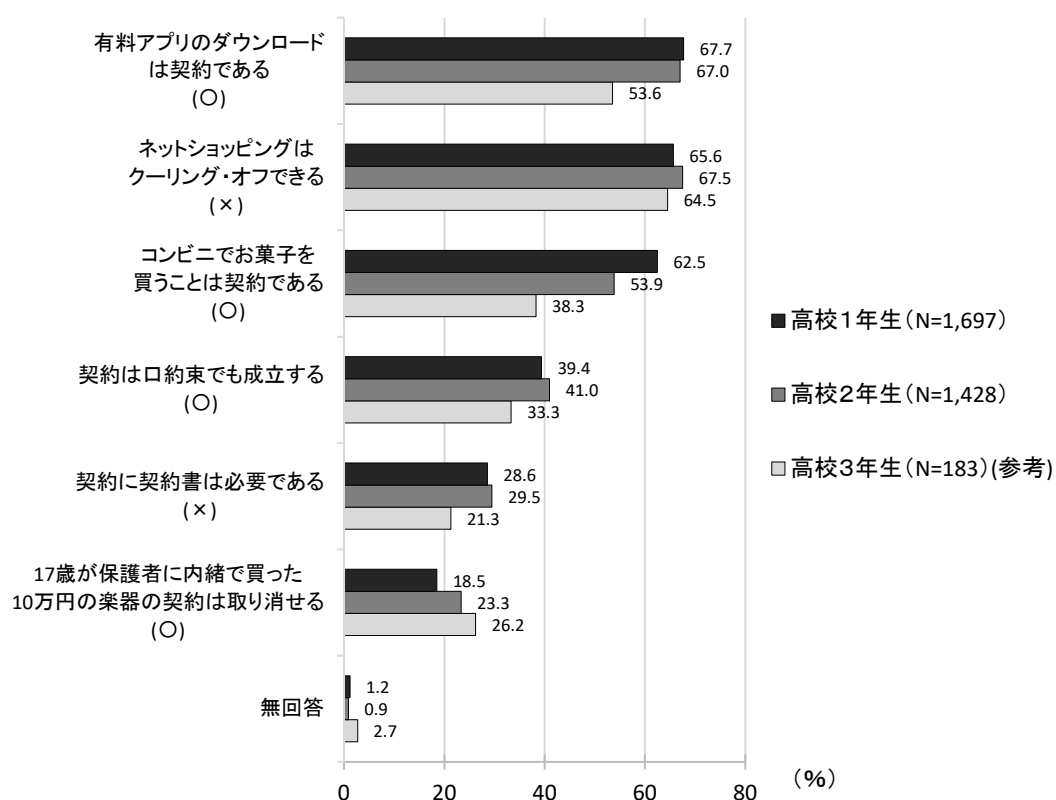
【図表Ⅲ-1-6】店頭で購入時の支払い方法（複数回答）＜性別＞



2-3 契約の知識

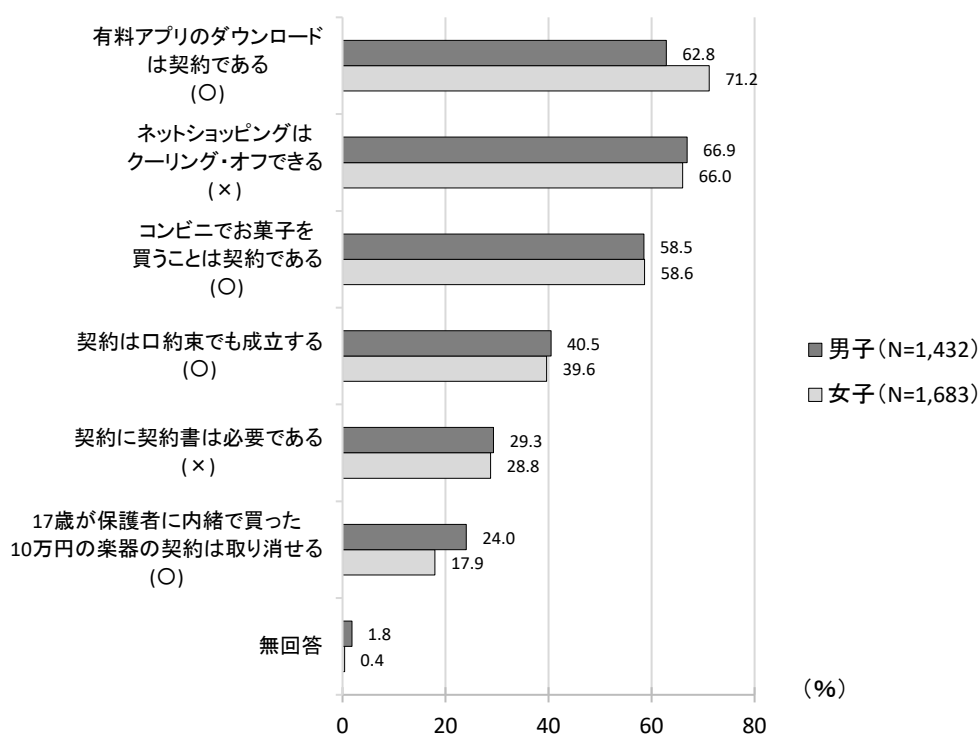
「有料アプリのダウンロードは契約である」と「ネットショッピングはクーリング・オフできる」は、1年生、2年生ともに6割台半ば～7割弱が正答した。「コンビニで菓子を買うことは契約」は2年生よりも1年生の正答率が若干高かった。しかし、「契約に契約書は必要である」「17歳が保護者に内緒で買った10万円の楽器の契約は取り消せる」といった契約の基本に関する項目の正答率は、1年生、2年生ともに2割弱～3割弱と低かった。

【図表Ⅲ-1-7】正答率＜学年別＞



「17歳が保護者に内緒で買った10万円の楽器の契約は取り消せる」の正答率は女子よりも男子が若干高かった。一方「有料アプリのダウンロードは契約である」の正答率は男子よりも女子が若干高かった。

【図表Ⅲ-1-8】正答率＜性別＞



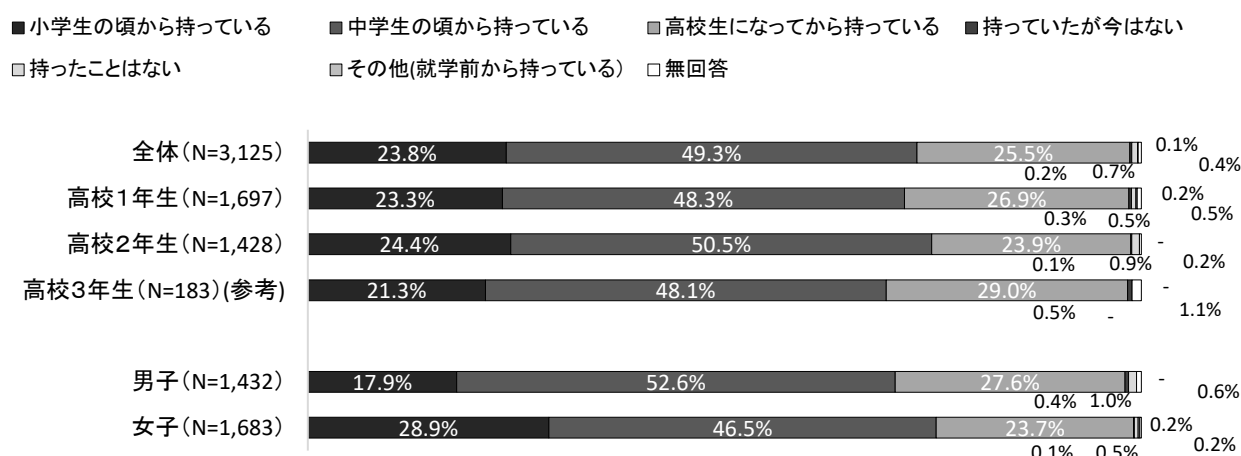
IV 携帯電話・スマートフォン・パソコン利用について

1. 携帯電話・スマートフォンについて

1-1 携帯電話・スマートフォンの所持

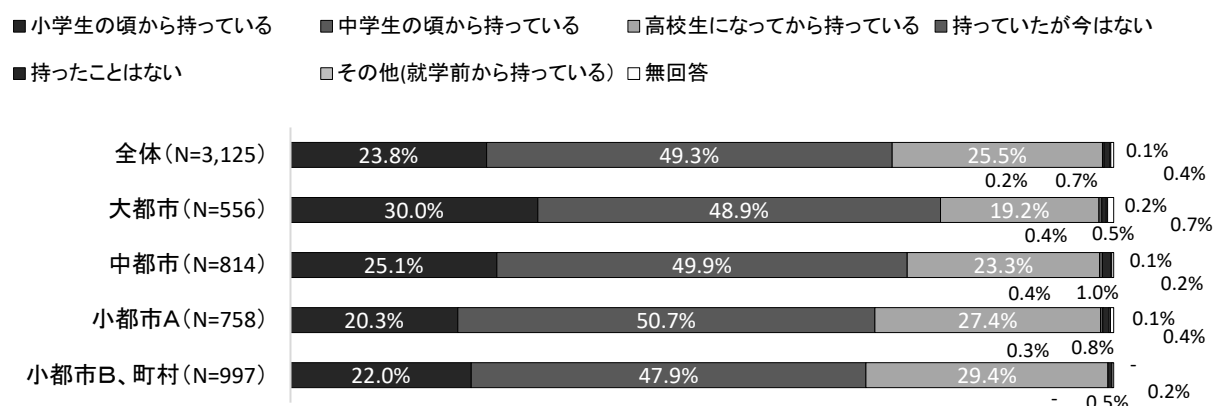
全体で9割台後半の生徒が携帯電話・スマートフォンを所持していた。全体では「中学生の頃から持っている」の割合が5割弱で最も高く、「高校生になってから持っている」が2割台半ば、「小学生の頃から持っている」が僅差で続いた。学年別では、大きな差はみられなかった。性別では、小学生からの所持率は女子に高い傾向があった。

【図表Ⅳ-1-1】携帯電話・スマートフォンの所持＜全体・学年別・性別＞



都市別でみると、「小学生の頃から持っている」は大都市に多く、「高校生になってから持っている」は都市規模が小さい方が多い傾向があった。大都市では、約8割が高校に入学する前に携帯電話・スマートフォンを所持していた。

【図表Ⅳ-1-2】携帯電話・スマートフォンの所持＜都市別＞



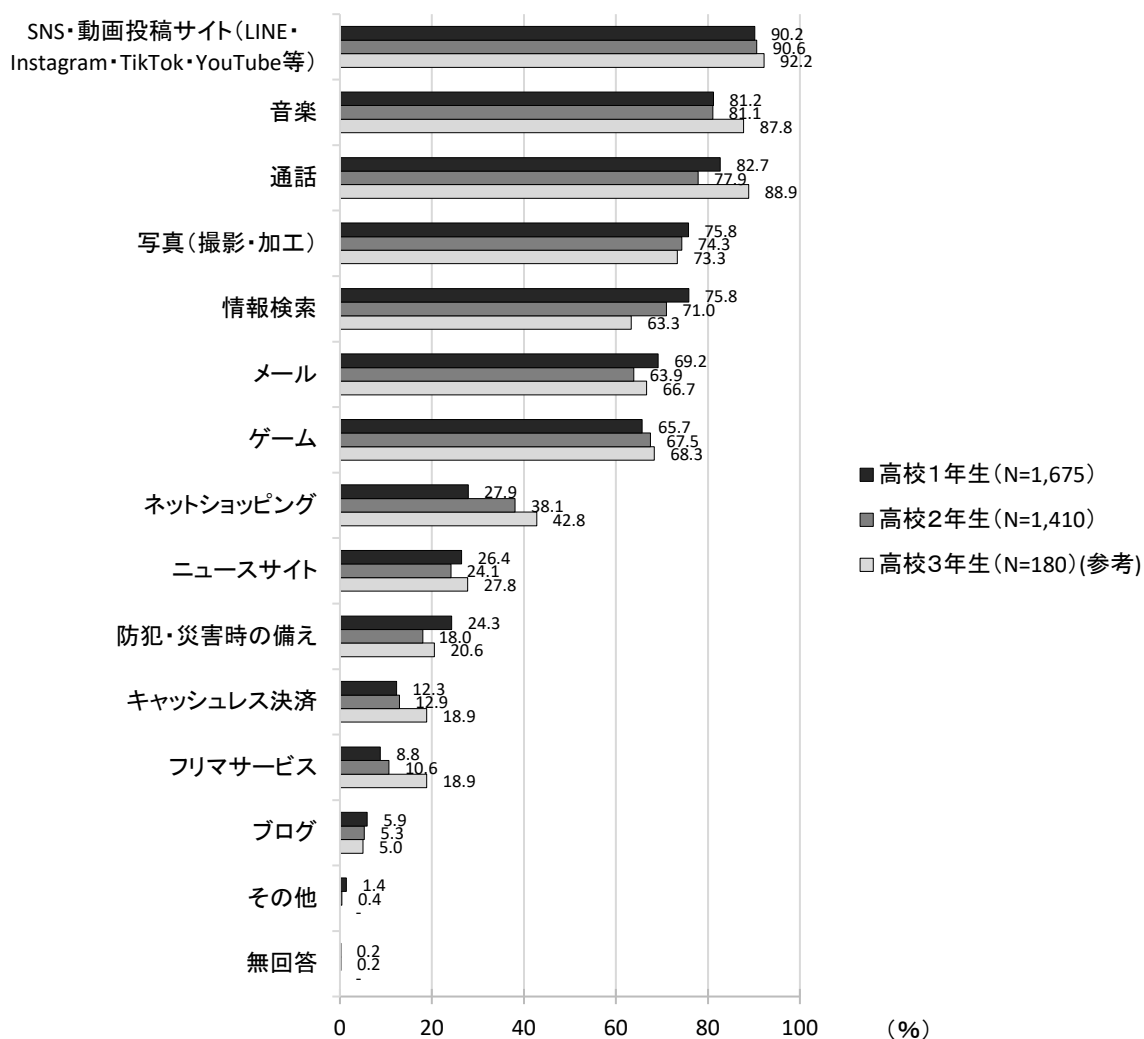
大都市 ……政令指定都市及び東京都区部
中都市 ……大都市を除く人口15万以上の市
小都市A ……人口5万以上15万未満の市
小都市B、町村 ……人口5万未満の市

1-2 携帯電話・スマートフォンの利用目的

1年生、2年生ともに「SNS・動画投稿サイト（LINE・Instagram・TikTok・YouTube等）」が約9割と最も多い回答であった。「音楽」と「通話」は1年生と2年生で順位は異なるが、大きな差は見られなかった。「ネットショッピング」については、学年が上がるにつれて回答が多くなった。

【図表Ⅳ-1-3】携帯電話・スマートフォンの利用目的（複数回答）＜学年別＞

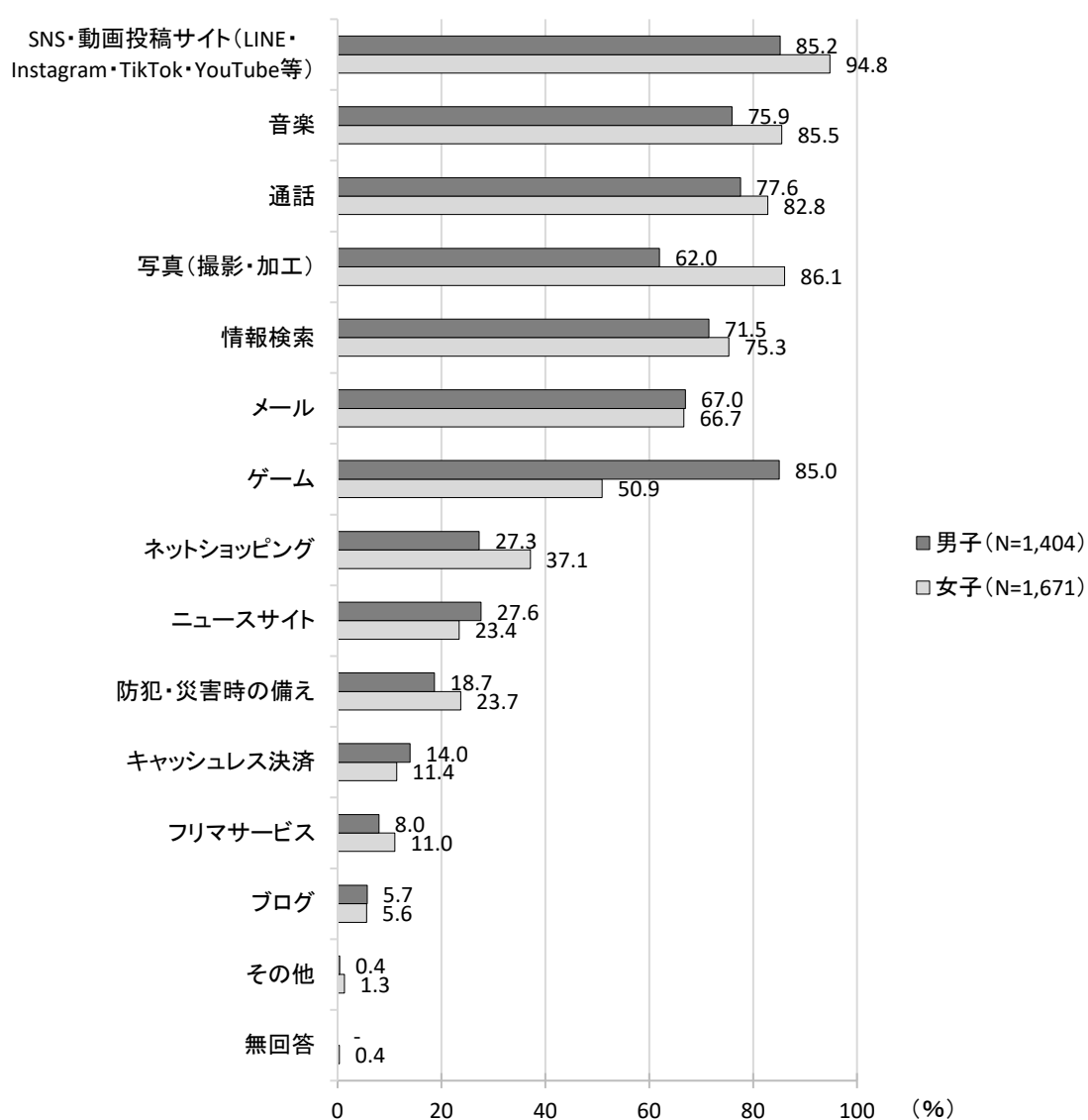
	1 位	2 位	3 位
1 年生 (N=1,675)	SNS・動画投稿サイト (LINE・Instagram・ TikTok・YouTube等) (90.2%)	通話(82.7%)	音楽(81.2%)
2 年生 (N=1,410)	SNS・動画投稿サイト (LINE・Instagram・ TikTok・YouTube等) (90.6%)	音楽(81.1%)	通話(77.9%)
【参考】 3 年生 (N=180)	SNS・動画投稿サイト (LINE・Instagram・ TikTok・YouTube等) (92.2%)	通話(88.9%)	音楽(87.8%)



性別では、男子は「ゲーム」が女子に比べて特に多く、女子は「写真（撮影・加工）」が男子に比べて特に多かった。

【図表Ⅳ-1-4】携帯電話・スマートフォンの利用目的（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子 (N=1,404)	SNS・動画投稿サイト（LINE・Instagram・TikTok・YouTube等）（85.2%）	ゲーム（85.0%）	通話（77.6%）
女子 (N=1,671)	SNS・動画投稿サイト（LINE・Instagram・TikTok・YouTube等）（94.8%）	写真（撮影・加工）（86.1%）	音楽（85.5%）

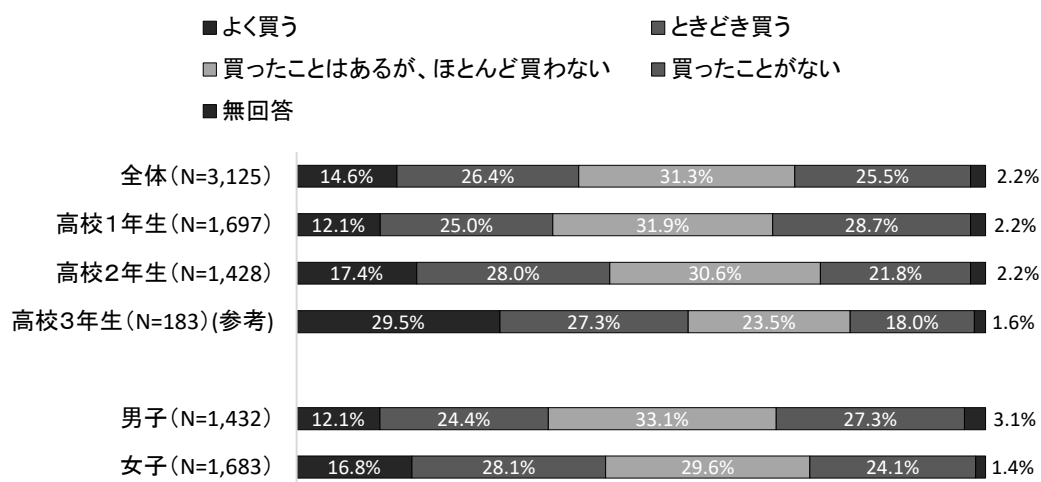


2. インターネットでの購入について

2-1 インターネットでの購入経験

全体で7割強がインターネットでの購入経験があると回答した。「よく買う」「ときどき買う」を合わせると4割強という結果となった。学年別では、1年生に比べ2年生の購入経験が多かった。性別では、男子に比べ女子の購入経験が多かった。

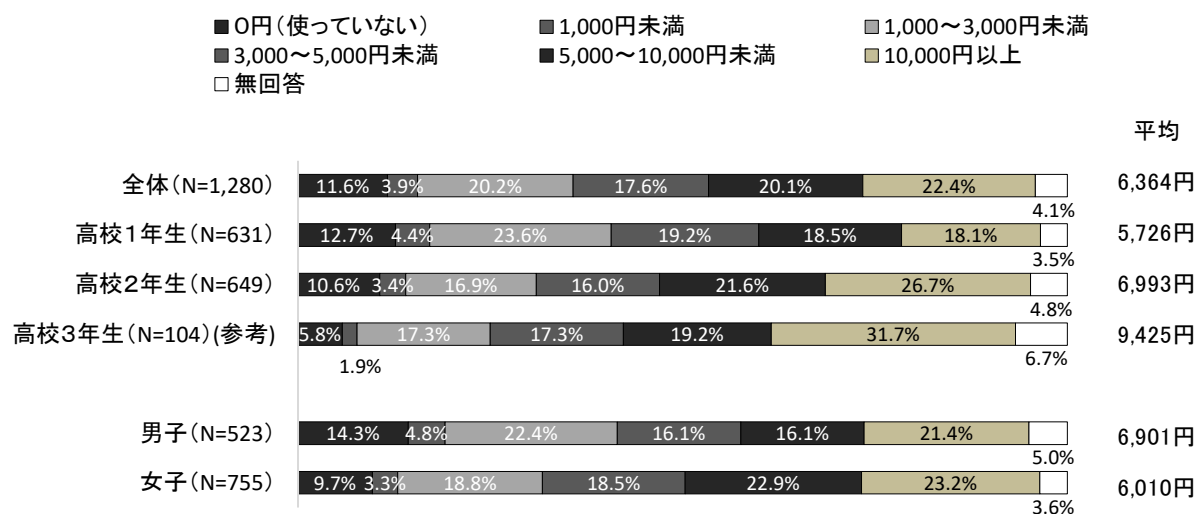
【図表Ⅳ-2-1】インターネットでの購入経験＜全体・学年別・性別＞



2-2 インターネットでの1カ月の使用金額

全体では、2割強が「10,000円以上」と回答しており、次いで「1,000～2,999円」、「5,000～9,999円」がそれぞれ約2割を占めた。平均金額は6,364円となった。学年別では、平均金額は1年生と比べると2年生は約1,300円高かった。性別では、男子に比べると女子は約900円低かった。

【図表Ⅳ-2-2】インターネットでの1カ月の使用金額＜全体・学年別・性別＞



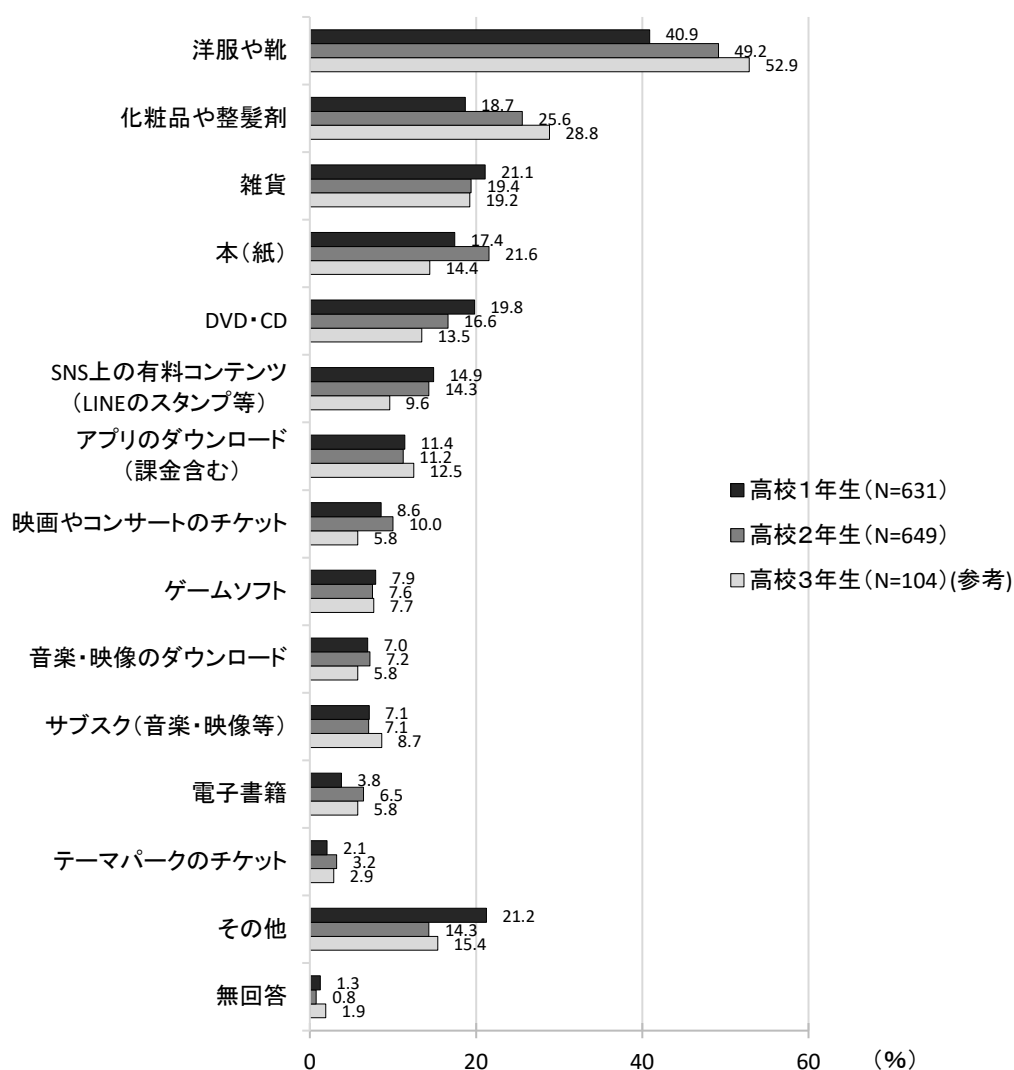
2-3 インターネットで購入したもの

1年生、2年生ともに「洋服や靴」が1位となった。2年生では5割弱が購入しており、1年生に比べて割合が高かった。また、2年生の2位の「化粧品や整髪剤」も1年生に比べて若干割合が高かった。その他の回答として、「好きなアーティストや芸能人のグッズ」「パソコンやスマートフォンの周辺機器」「部活動で使う物」が挙げた。

【図表Ⅳ-2-3】インターネットで購入したもの（複数回答）＜学年別＞

※その他を除く

	1 位	2 位	3 位
1 年生 (N=631)	洋服や靴 (40.9%)	雑貨 (21.1%)	DVD・CD (19.8%)
2 年生 (N=649)	洋服や靴 (49.2%)	化粧品や整髪剤 (25.6%)	本(紙) (21.6%)
【参考】 3 年生 (N=104)	洋服や靴 (52.9%)	化粧品や整髪剤 (28.8%)	雑貨 (19.2%)

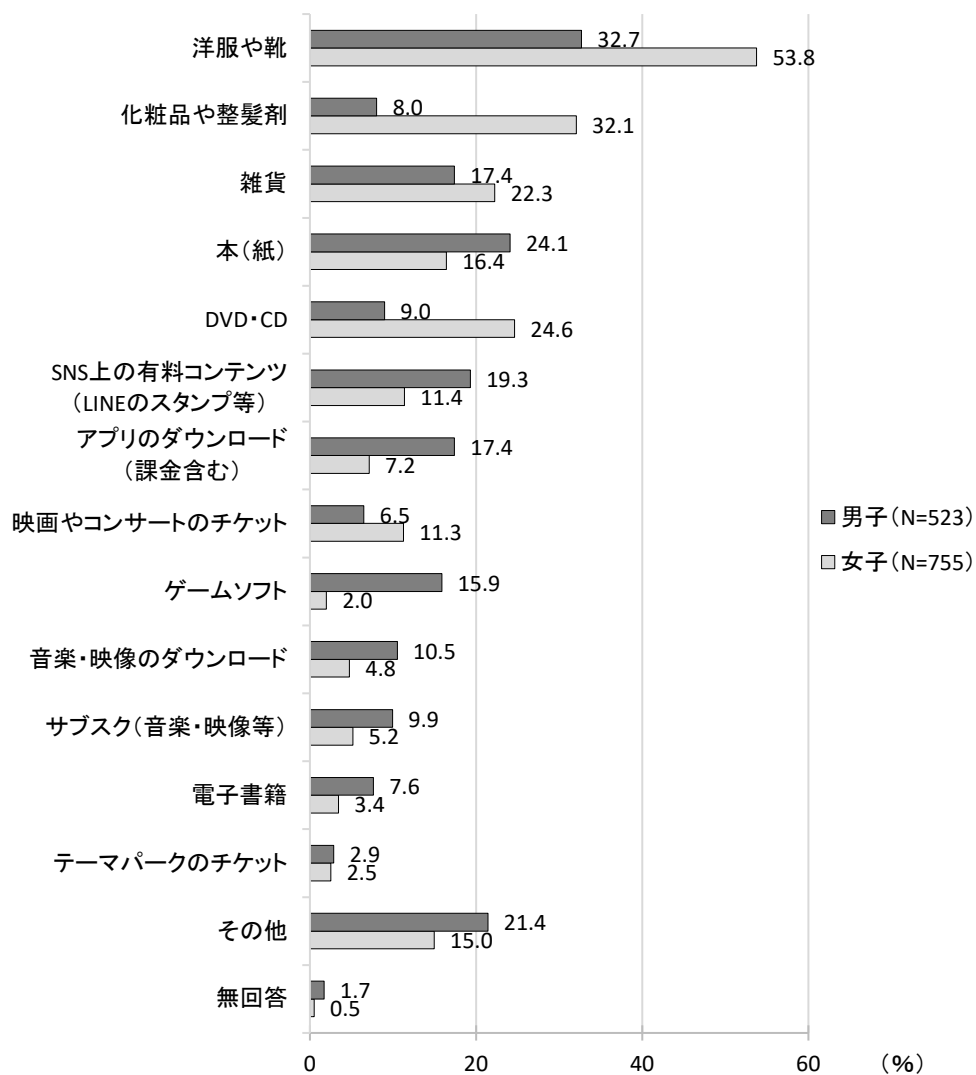


性別では、男女いずれも「洋服や靴」が1位となったが、割合は大きく異なり、女子では5割台半ばとなった。「ゲームソフト」「アプリのダウンロード（課金含む）」は男子の割合が高く、一方、「化粧品や整髪剤」「DVD・CD」は、女子の割合が高かった。

【図表Ⅳ-2-4】インターネットで購入したもの（複数回答）＜性別＞

※その他を除く

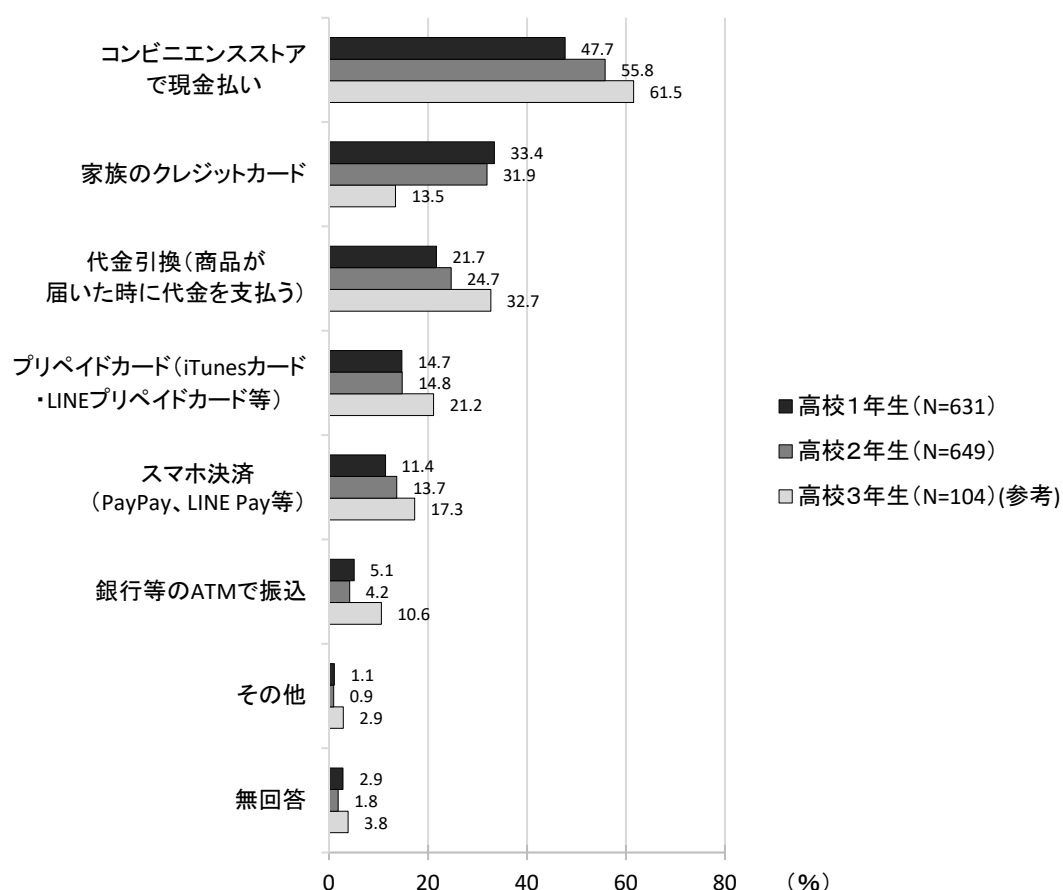
	1 位	2 位	3 位
男子 (N=523)	洋服や靴 (32.7%)	本(紙) (24.1%)	SNS 上の有料コンテンツ (LINE のスタンプ等) (19.3%)
女子 (N=755)	洋服や靴 (53.8%)	化粧品や整髪剤 (32.1%)	DVD・CD (24.6%)



2-4 インターネットで購入時の支払い方法

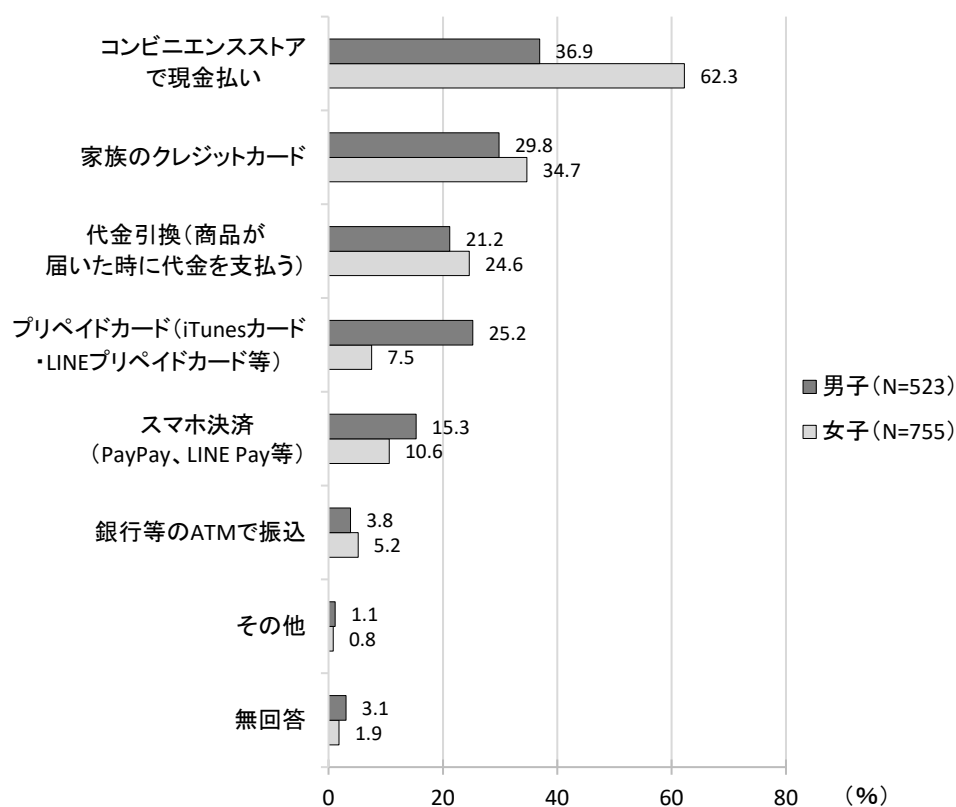
1年生、2年生ともに「コンビニエンスストアで現金払い」が最も多く、次いで「家族のクレジットカード」と「代金引換」が続いた。「コンビニエンスストアで現金払い」は1年生に比べ、2年生の割合が高かった。その他の回答として、「取得したポイント」や「デビットカード」などが挙げられた。

【図表Ⅳ-2-5】インターネットで購入時の支払い方法（複数回答）＜学年別＞



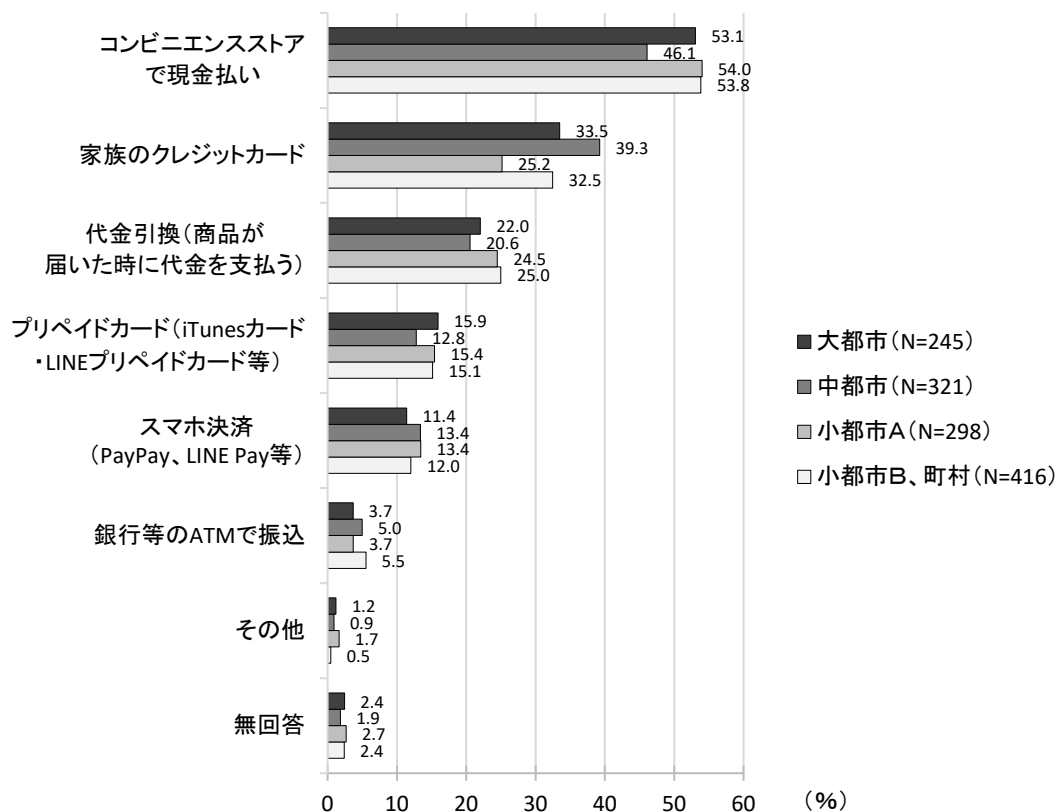
性別では、男女ともに「コンビニエンスストアで現金払い」が最も多かった。次いで「家族のクレジットカード」が続いた。「プリペイドカード（iTunesカード・LINEプリペイドカード等）」は男子の割合が高く、一方、「コンビニエンスストアで現金払い」は、女子の割合が高かった。

【図表Ⅳ-2-6】インターネットで購入時の支払い方法（複数回答）＜性別＞



都市別でみると、いずれの都市規模も順位はほぼ同じで、都市別での大きな差はみられなかった。

【図表Ⅳ-2-7】インターネットで購入時の支払い方法（複数回答）＜都市別＞



大都市 ……政令指定都市及び東京都区部
 中都市 ……大都市を除く人口15万以上の市
 小都市A ……人口5万以上15万未満の市
 小都市B、町村 ……人口5万未満の市

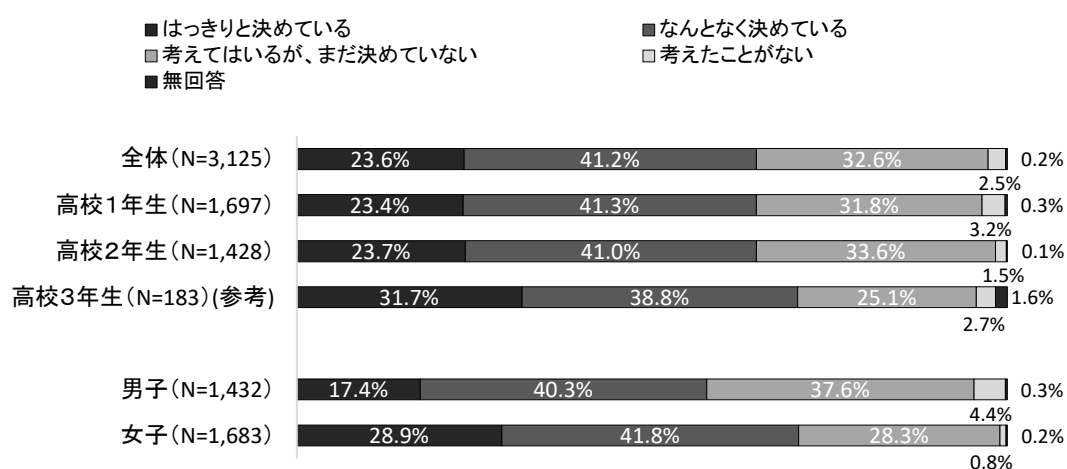
V 将来について

1. 将来の夢・職業・進路について

1-1 将来就きたい職業を決めているか

「はっきりと決めている」「なんとなく決めている」を合わせ、全体の6割台半ばが決めていると回答した。そのうち「はっきりと決めている」と回答したのは2割台半ばであった。学年別では大きな差はみられないが、性別では、男子より女子が、決めていると回答した割合が高かった。

【図表V-1-1】将来就きたい職業を決めているか＜全体・学年別・性別＞



1-2 将来就きたい職業

決めていると回答した生徒の将来就きたい職業について、性別では、男子は「プログラマ・システムエンジニア」が最も多く、次いで「公務員（警察官・教師等選択肢にあるものを除く）」「建築士・測量士・大工・左官・電気工事士」が多かった。女子は「看護師・歯科衛生士」が最も多く、次いで「保育士・幼稚園教諭」「調理師・栄養士」が多い結果となった。

学年別では、女子の結果の影響を受け、1年生、2年生とも1位は「看護師・歯科衛生士」となった。上位の「保育士・幼稚園教諭」「公務員（警察官・教師等選択肢にあるものを除く）」は1年生、2年生とも1割前後が回答したが、1年生で2位の「調理師・栄養士」は、2年生では11位で異なる結果となった。その他の回答として、「助産師」「パティシエ」「放射線技師」などが挙がった。

【図表V-1-2】将来就きたい職業＜学年別＞

※その他を除く

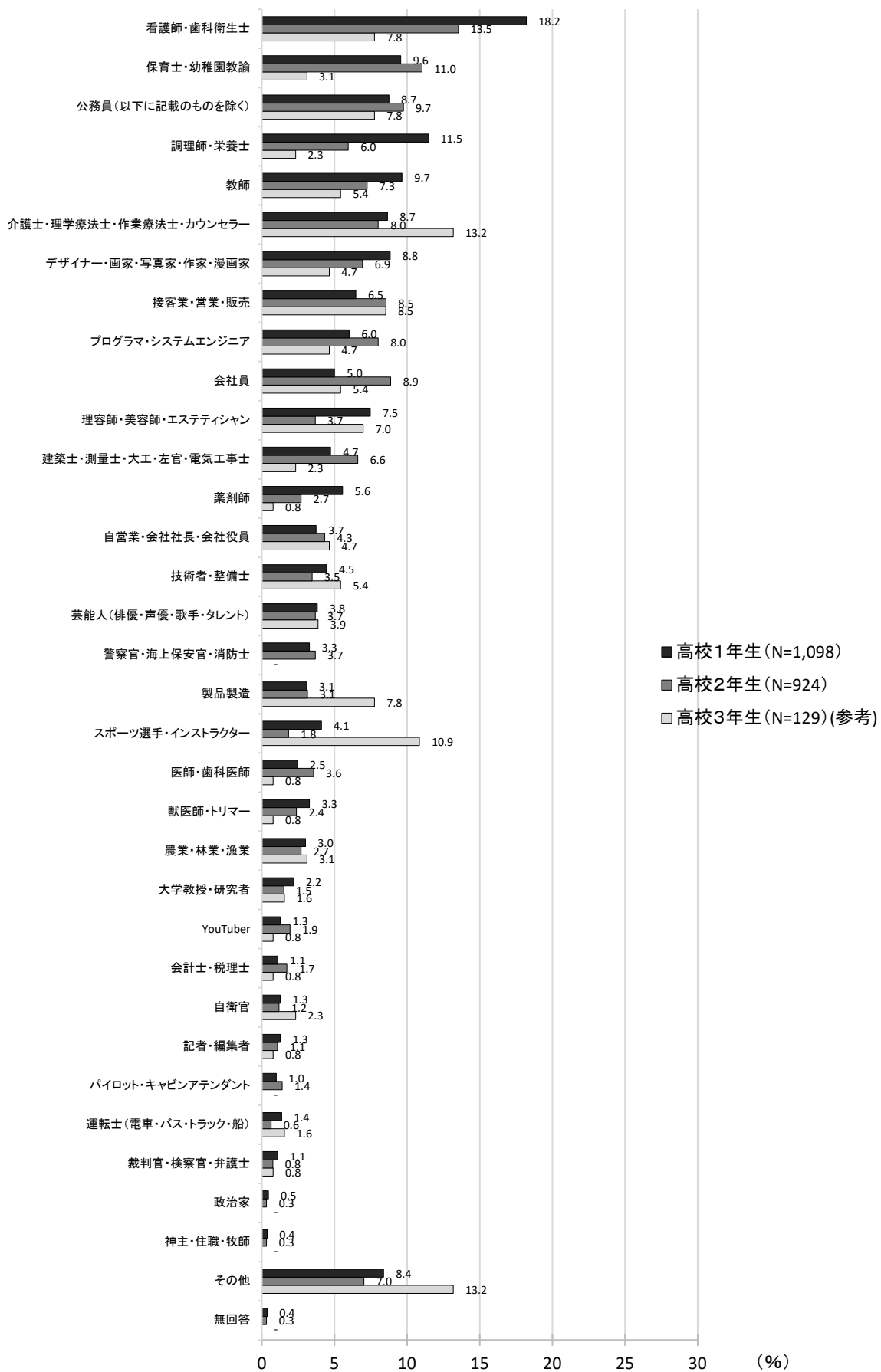
	1 位	2 位	3 位
1 年生 (N=1, 098)	看護師・歯科衛生士 (18.2%)	調理師・栄養士 (11.5%)	教師 (9.7%)
2 年生 (N=924)	看護師・歯科衛生士 (13.5%)	保育士・幼稚園教諭 (11.0%)	公務員 (9.7%)
【参考】 3 年生 (N=129)	介護士・理学療法士・作業療法士・カウンセラー (13.2%)	スポーツ選手・インストラクター (10.9%)	接客業・営業・販売 (8.5%)

【図表V-1-3】将来就きたい職業＜性別＞

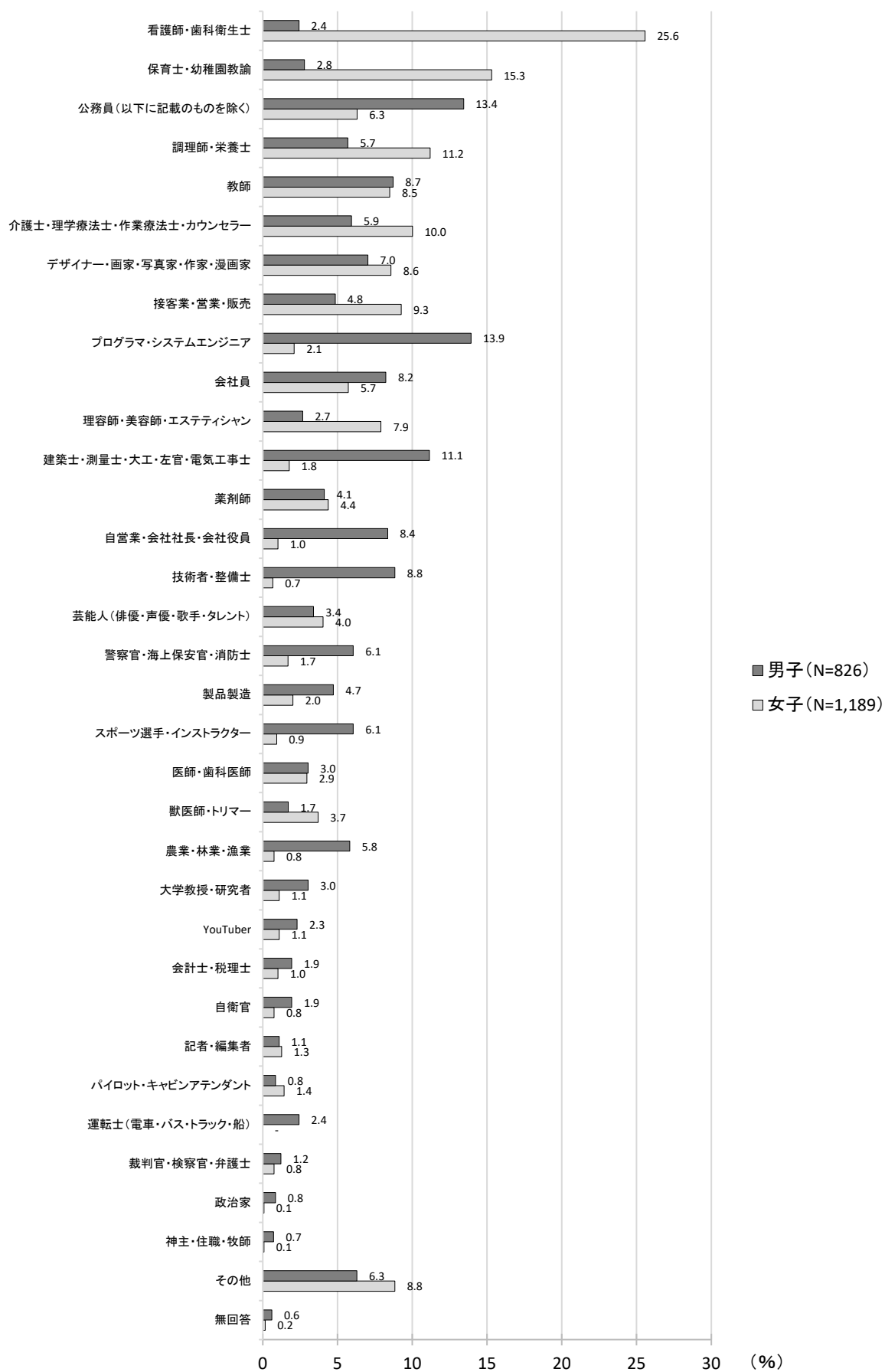
※その他を除く

	1 位	2 位	3 位
男子 (N=826)	プログラマ・システムエンジニア (13.9%)	公務員 (13.4%)	建築士・測量士・大工・左官・電気工事士 (11.1%)
女子 (N=1, 189)	看護師・歯科衛生士 (25.6%)	保育士・幼稚園教諭 (15.3%)	調理師・栄養士 (11.2%)

【図表V-1-2】将来就きたい職業＜学年別＞



【図表V-1-3】将来就きたい職業＜性別＞



学科別でみると、普通科では「教師」「看護師・歯科衛生士」「公務員（警察官・教師等選択肢にあるものを除く）」が上位を占めた。一方、普通科以外では「看護師・歯科衛生士」「調理師・栄養士」「保育士・幼稚園教諭」が上位となった。

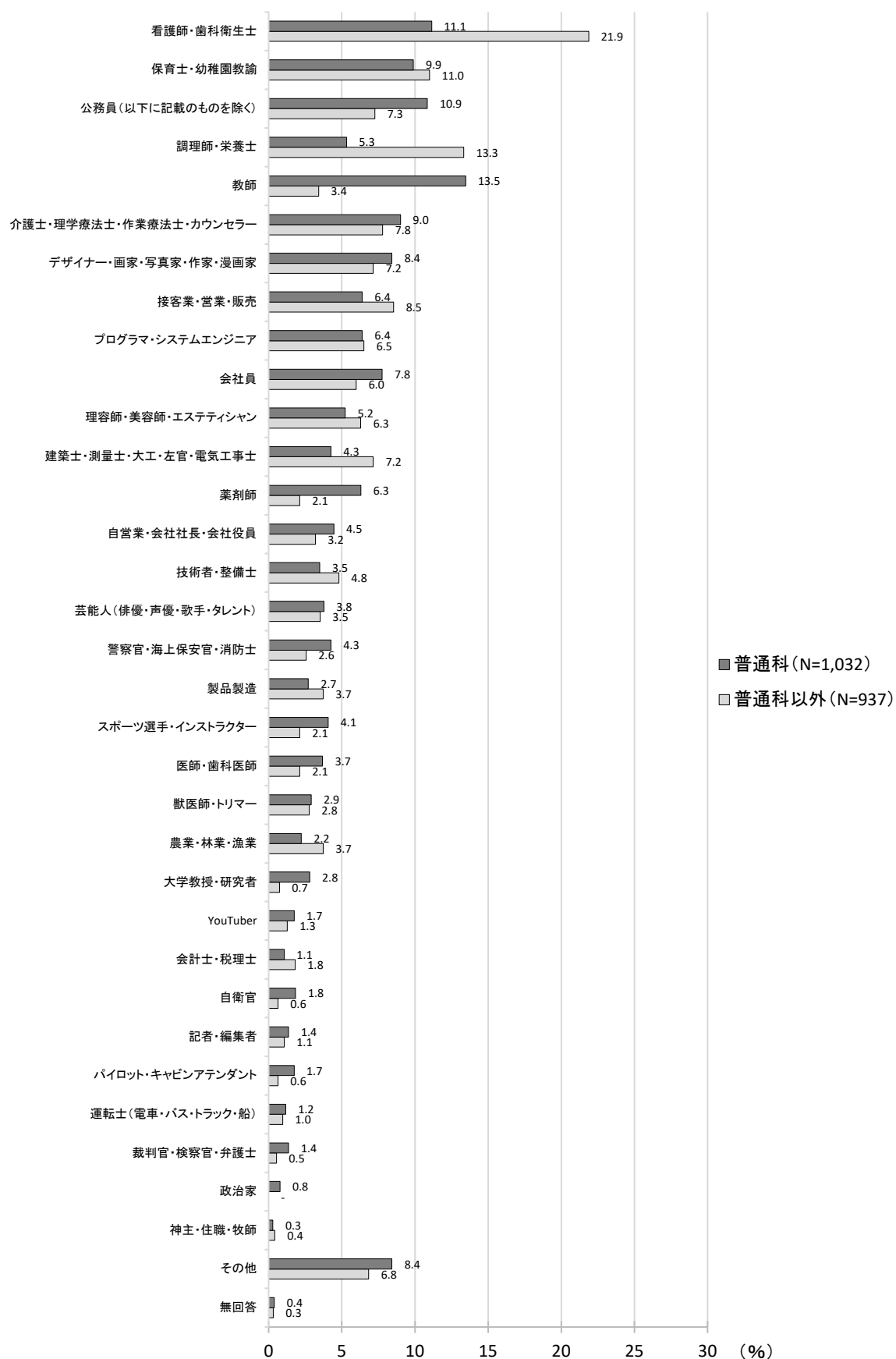
【図表V-1-4】将来就きたい職業＜学科別＞

※その他を除く

学科	1 位	2 位	3 位
普通科 (N=1,032)	教師 (13.5%)	看護師・歯科衛生士 (11.1%)	公務員 (10.9%)
普通科以外 (N=937)	看護師・歯科衛生士 (21.9%)	調理師・栄養士 (13.3%)	保育士・幼稚園教諭 (11.0%)

(注) 普通科以外...職業学科、総合学科、その他専門学科を指す。

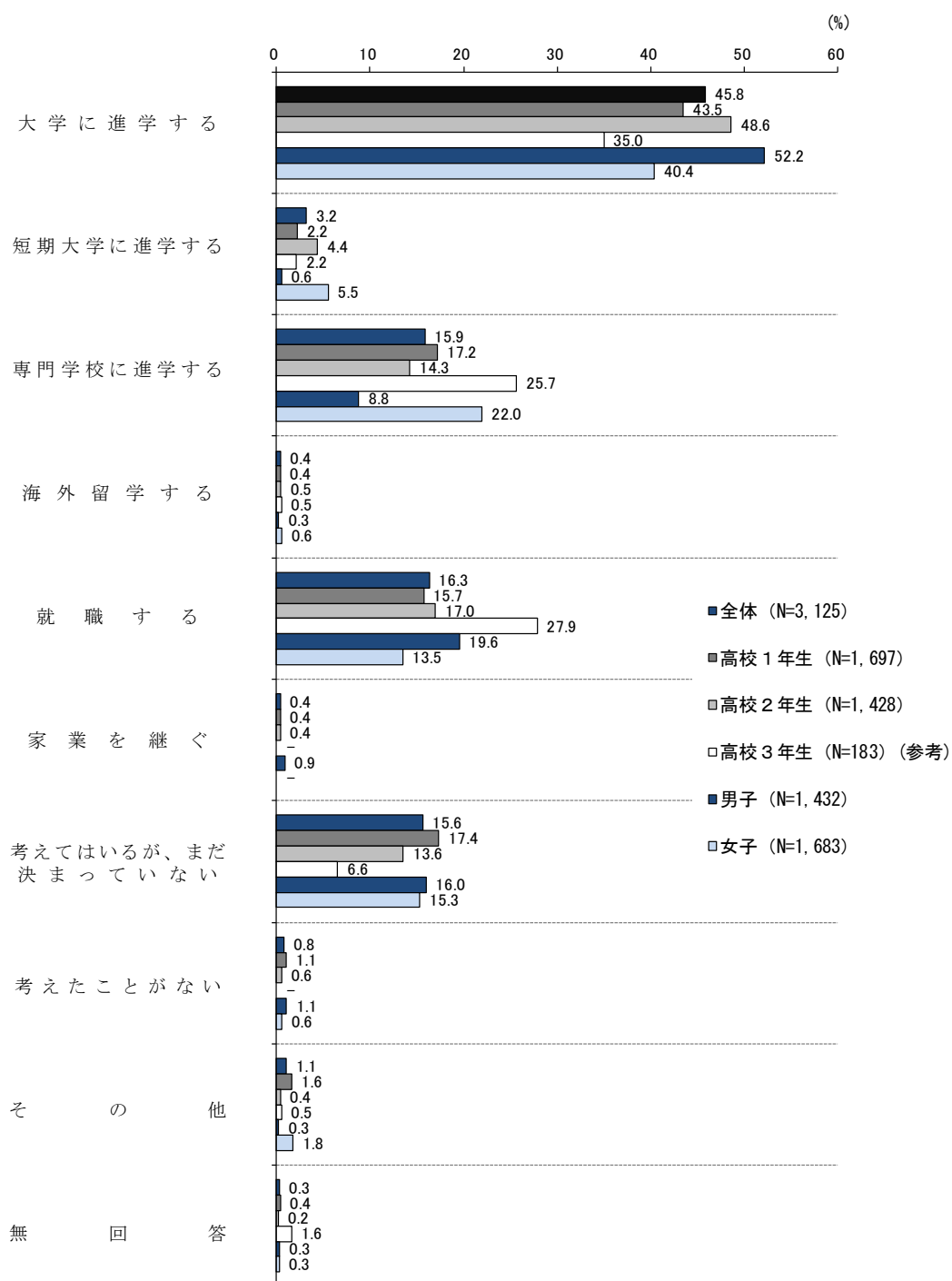
学科不明の学校が2校(80名)あったため、普通科と普通科以外の合計は総数と一致しない



1-3 卒業後の進路

全体の4割台半ばが「大学に進学する」と回答した。学年別では、1年生、2年生に大きな差はみられなかった。性別では、女子より男子が「大学に進学する」の割合が高く、男子より女子が「専門学校に進学する」の割合が高かった。

【図表V-1-5】高校卒業後の進路＜全体・学年別・性別＞

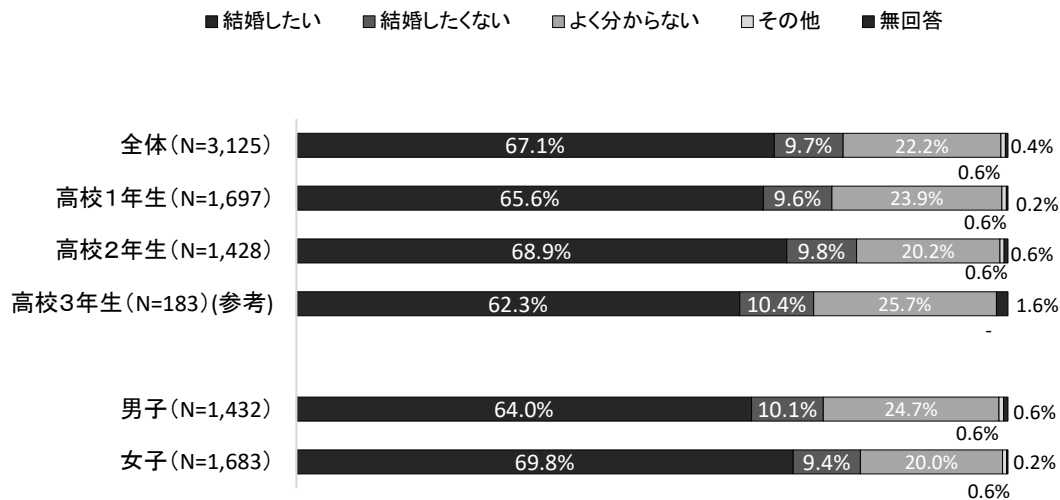


2. 結婚・子どもについて

2-1 結婚

全体の7割弱が「結婚したい」と回答した。「結婚したくない」と回答したのは約1割だった。学年別では、大きな差はみられなかったが、性別では、男子に比べ女子の結婚願望が若干高い傾向がみられた。

【図表V-2-1】結婚願望＜全体・学年別・性別＞



結婚したい人の結婚希望年齢の平均は、全体では25.3歳であった。学年別、性別で結婚希望年齢に大きな差はみられなかった。

【図表V-2-2】結婚希望年齢＜学年別・性別＞

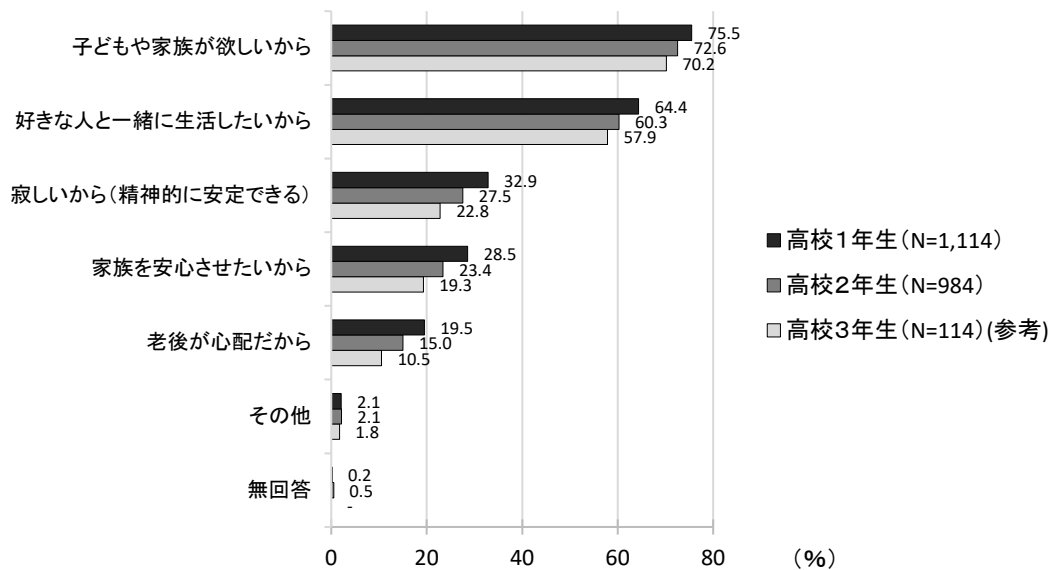
		平均値	中央値
学年別	高校1年生 (N=1,114)	25.1	25
	高校2年生 (N=984)	25.5	25
	【参考】高校3年生 (N=114)	25.1	25
性別	男子 (N=916)	25.4	25
	女子 (N=1,175)	25.2	25
全体 (N=2,098)		25.3	25

(単位：歳)

2-2 結婚したい理由

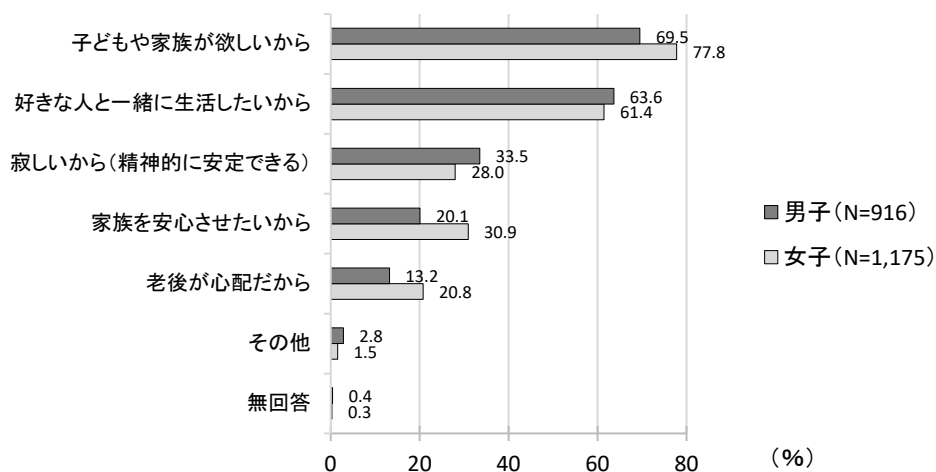
1年生、2年生とも7割を超える生徒が「子どもや家族が欲しいから」と回答した。次いで「好きな人と一緒に生活したいから」「寂しいから（精神的に安定できる）」と続き、学年で大きな違いはみられなかった。その他の回答として、「孫の顔を見せるため」「楽しそうだから」などが挙げた。

【図表V-2-3】結婚したい理由＜学年別＞



男女ともに「子どもや家族が欲しいから」「好きな人と一緒に生活したいから」が高い割合となった。次いで男子は「寂しいから（精神的に安定できる）」、女子は「家族を安心させたいから」と異なる結果となった。

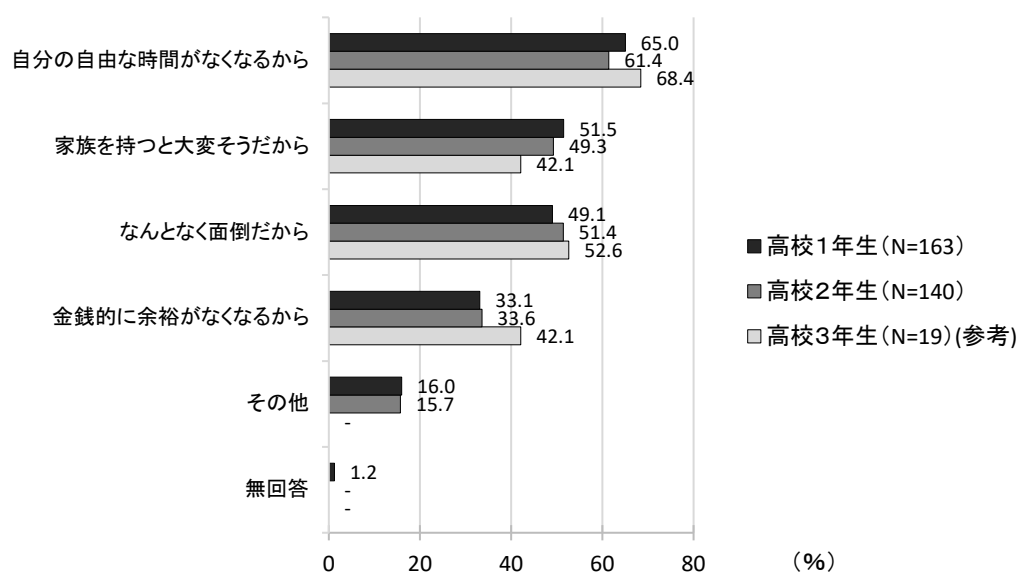
【図表V-2-4】結婚したい理由＜性別＞



2-3 結婚したくない理由

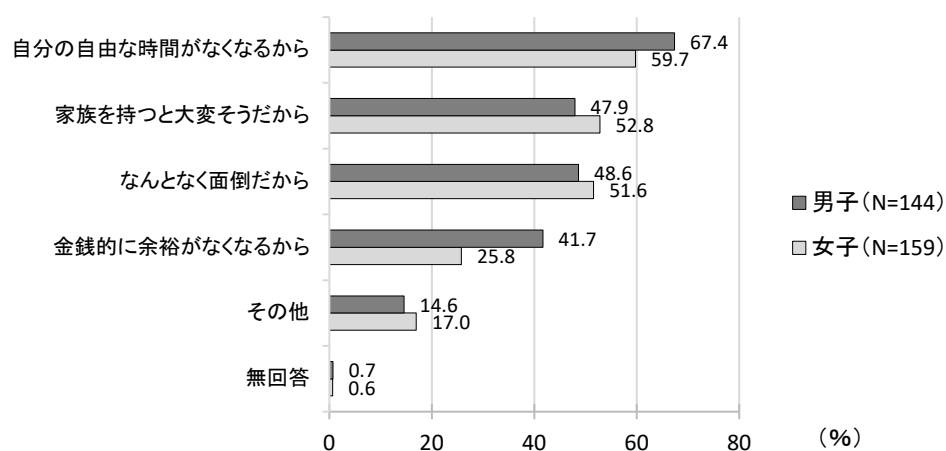
1年生、2年生ともに「自由な時間がなくなるから」が最も多く、6割以上が回答した。次いで両学年とも約半数が「家族を持つと大変そうだから」「なんとなく面倒だから」と回答した。その他の回答として、「幸せになれない」「一人が良い」などが挙げた。

【図表V-2-5】結婚したくない理由＜学年別＞



性別では、男女ともに「自由な時間がなくなるから」が最も多かった。次いで「家族を持つと大変そうだから」「なんとなく面倒だから」が上位に挙げた。女子に比べて男子が「金銭的に余裕がなくなるから」の割合が高かった。

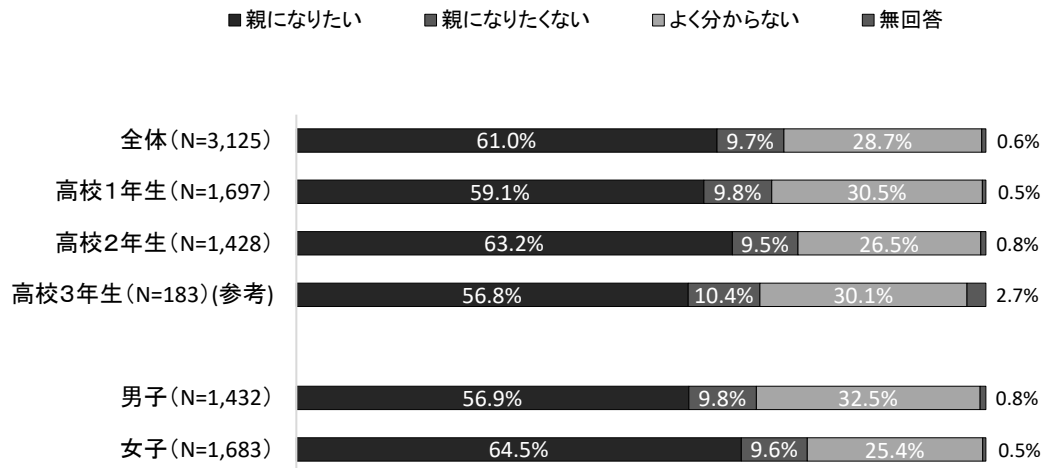
【図表V-2-6】結婚したくない理由＜性別＞



2-4 親になりたいか

全体の6割強が「親になりたい」と回答した。「親になりたくない」は約1割であった。学年別では、大きな差はみられなかった。性別では、男子に比べ女子が「親になりたい」傾向にあり、結婚願望（図表V-2-1）と比例する結果となった。

【図表V-2-7】親になりたいか＜全体・学年別・性別＞



「親になりたい」と回答した生徒が将来欲しい子どもの人数は、全体で平均「2.3人」という結果となった。学年別、性別で大きな差はみられなかった。

【図表V-2-8】子どもの希望人数＜学年別・性別＞

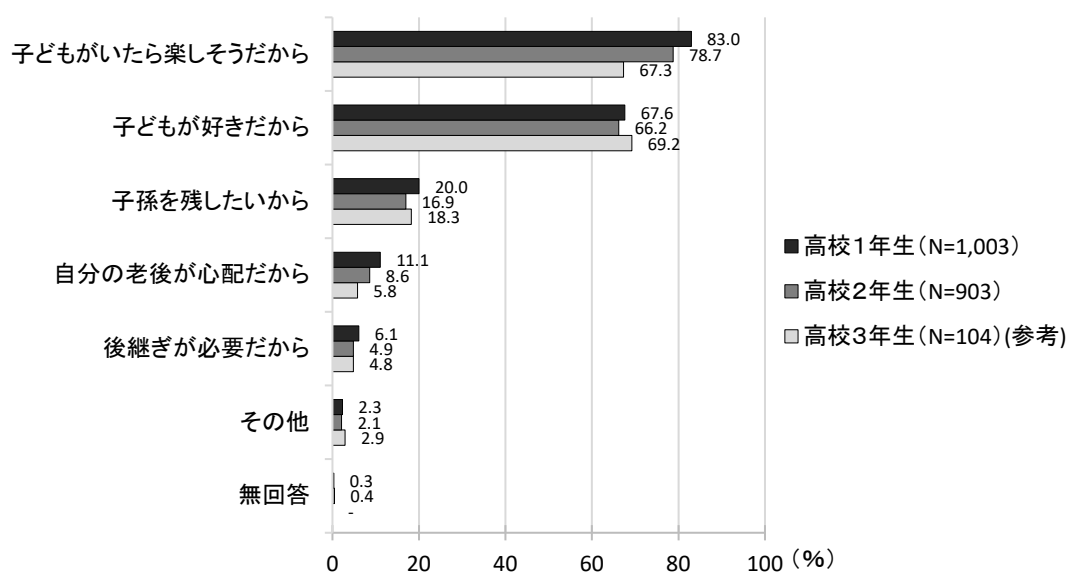
		平均値	中央値
学年	1年生 (N=1,003)	2.3	2
	2年生 (N=903)	2.3	2
	【参考】3年生 (N=104)	2.3	2
性別	男子 (N=815)	2.4	2
	女子 (N=1,086)	2.3	2
全体 (N=1,906)		2.3	2

(単位：人)

2-5 親になりたい理由

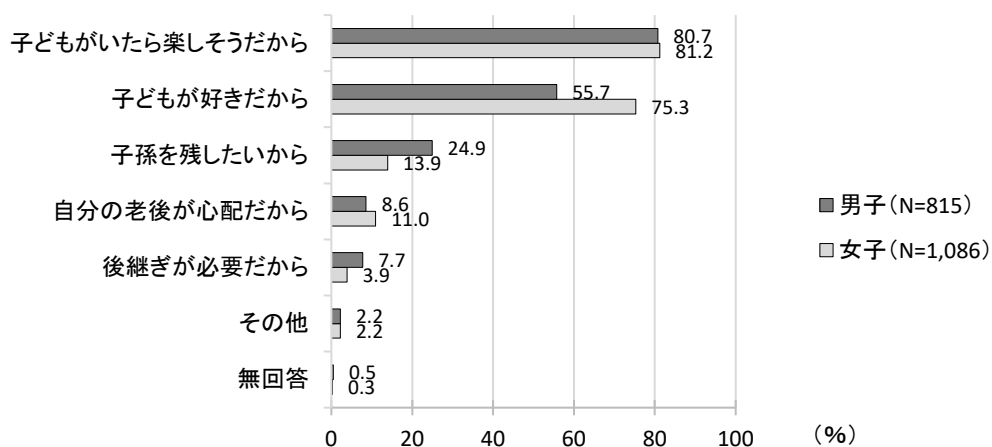
1年生、2年生ともに「子どもがいたら楽しそうだから」が最も多く、8割前後が回答した。次いで「子どもが好きだから」「子孫を残したいから」の順で、学年で大きな差はみられなかった。その他の回答として、「孫の顔を見せたい」「子育てがしたい」などが挙げた。

【図表V-2-9】親になりたい理由＜学年別＞



男女ともに「子どもがいたら楽しそうだから」「子どもが好きだから」が上位に挙げた。「子どもが好きだから」は女子の割合が高かった。

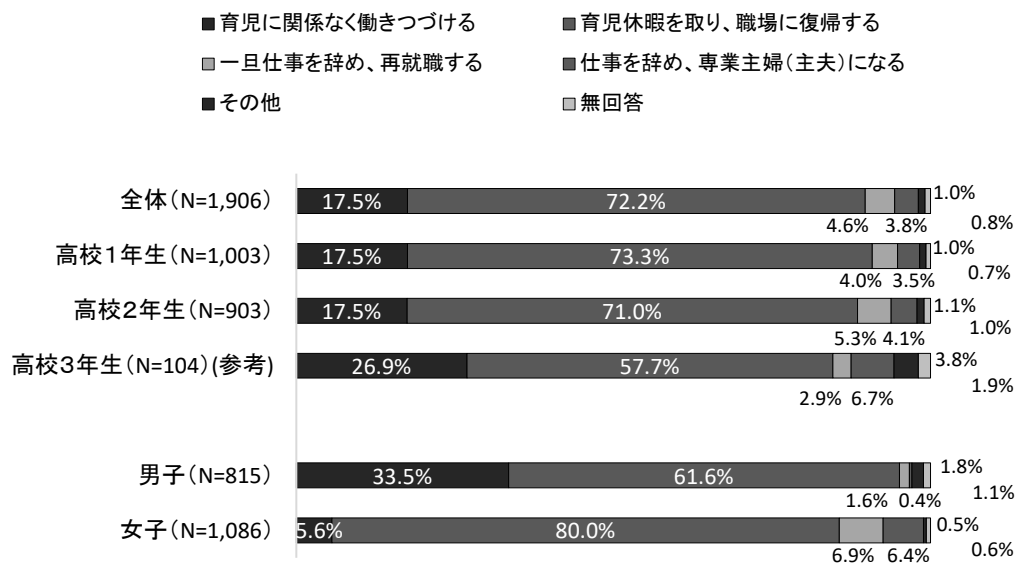
【図表V-2-10】親になりたい理由＜性別＞



2-6 将来子どもが生まれた時の働き方

全体では「育児休暇を取り、職場に復帰する」が7割強と最も多く、次いで「育児に関係なく働き続ける」が2割弱となった。「一旦仕事を辞め、再就職する」や「仕事を辞め、専業主婦（夫）になる」は、少数となった。学年別では、大きな差はみられなかった。性別でみると、男子の「育児に関係なく働き続ける」が3割台半ばであるのに対し、女子は1割に満たなかった。女子の「育児休暇を取り、職場に復帰する」が8割に対し、男子は6割強であった。その他の回答として、「その時に決める」「分からない」などが挙げられた。

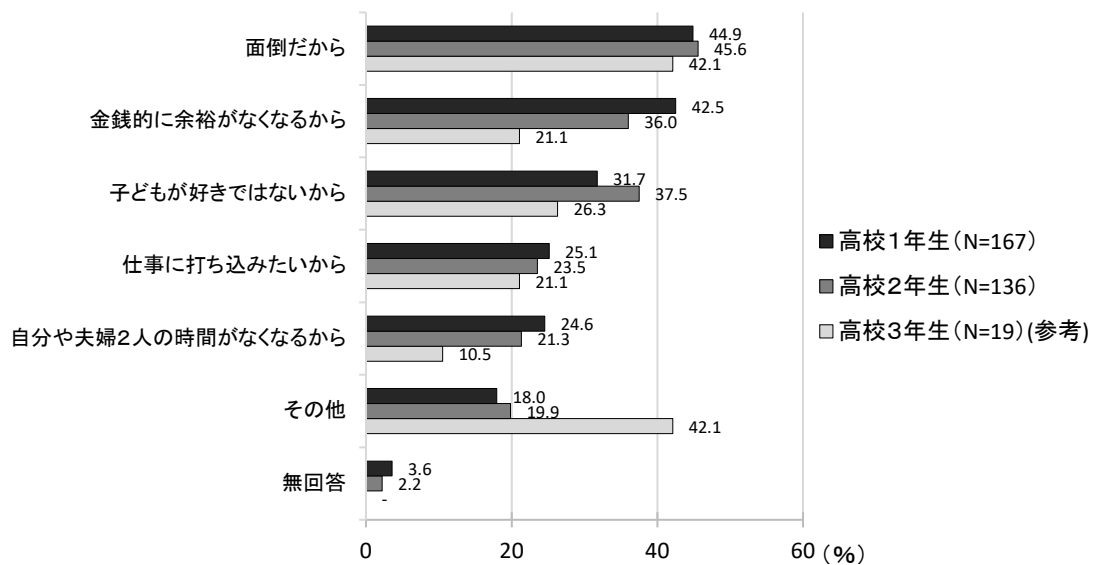
【図表V-2-1 1】将来子どもが生まれた時の働き方＜全体・学年別・性別＞



2-7 親になりたくない理由

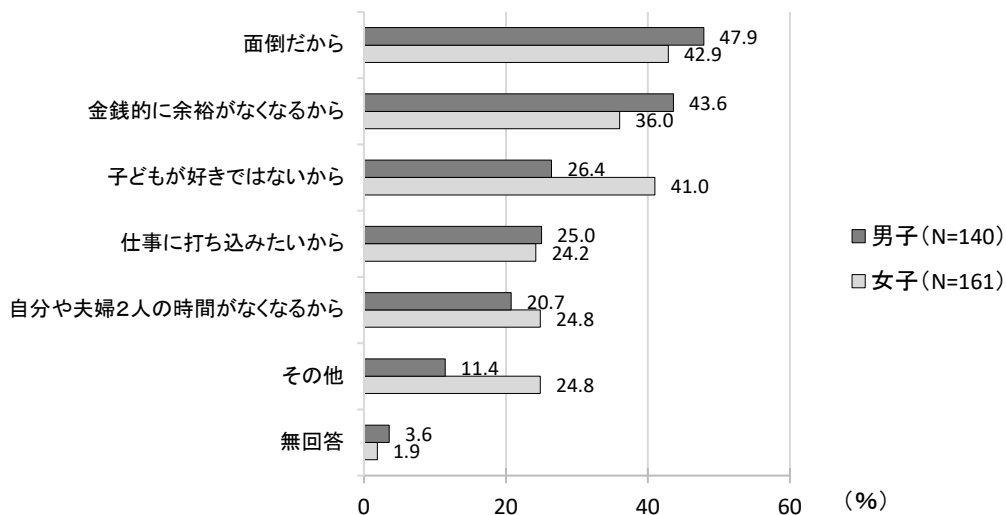
1年生、2年生ともに「面倒だから」が最も多く、4割台半ばが回答した。次いで両学年とも「金銭的に余裕がなくなるから」「子どもが好きではないから」が上位に挙げたが、1年生は「金銭的に余裕がなくなるから」が、2年生は「子どもが好きではないから」が、それぞれ他の学年に比べて割合が若干高かった。その他の回答として、「怖い」「責任が持てない」「自信がない」などが挙げた。

【図表V-2-1 2】親になりたくない理由＜学年別＞



男子は「面倒だから」「金銭的に余裕がなくなるから」が女子に比べて若干高かった。一方、女子の「子どもが好きではないから」は男子に比べると高い割合となった。

【図表V-2-1 3】親になりたくない理由＜性別＞



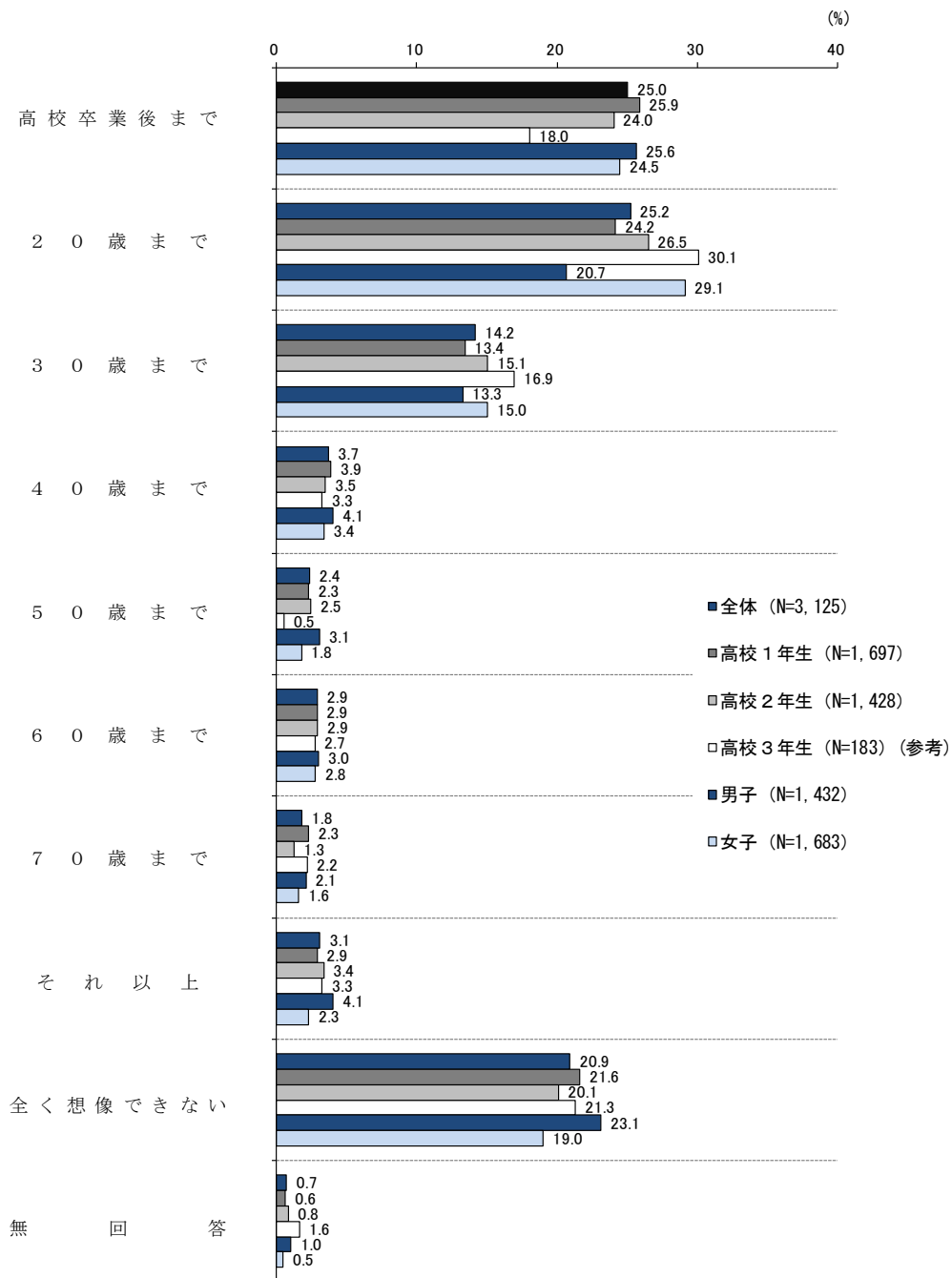
3. 将来の生活について

3-1 将来が思い描ける年齢

全体では「20 歳まで」、「高校卒業後まで」がそれぞれ 2 割台半ばの回答となった。一方「全く想像できない」と回答したのは約 2 割となった。20 歳より先の将来を思い描いている人は 3 割弱にとどまった。

【図表 V-3-1】

将来が思い描ける年齢＜全体・学年別・性別＞

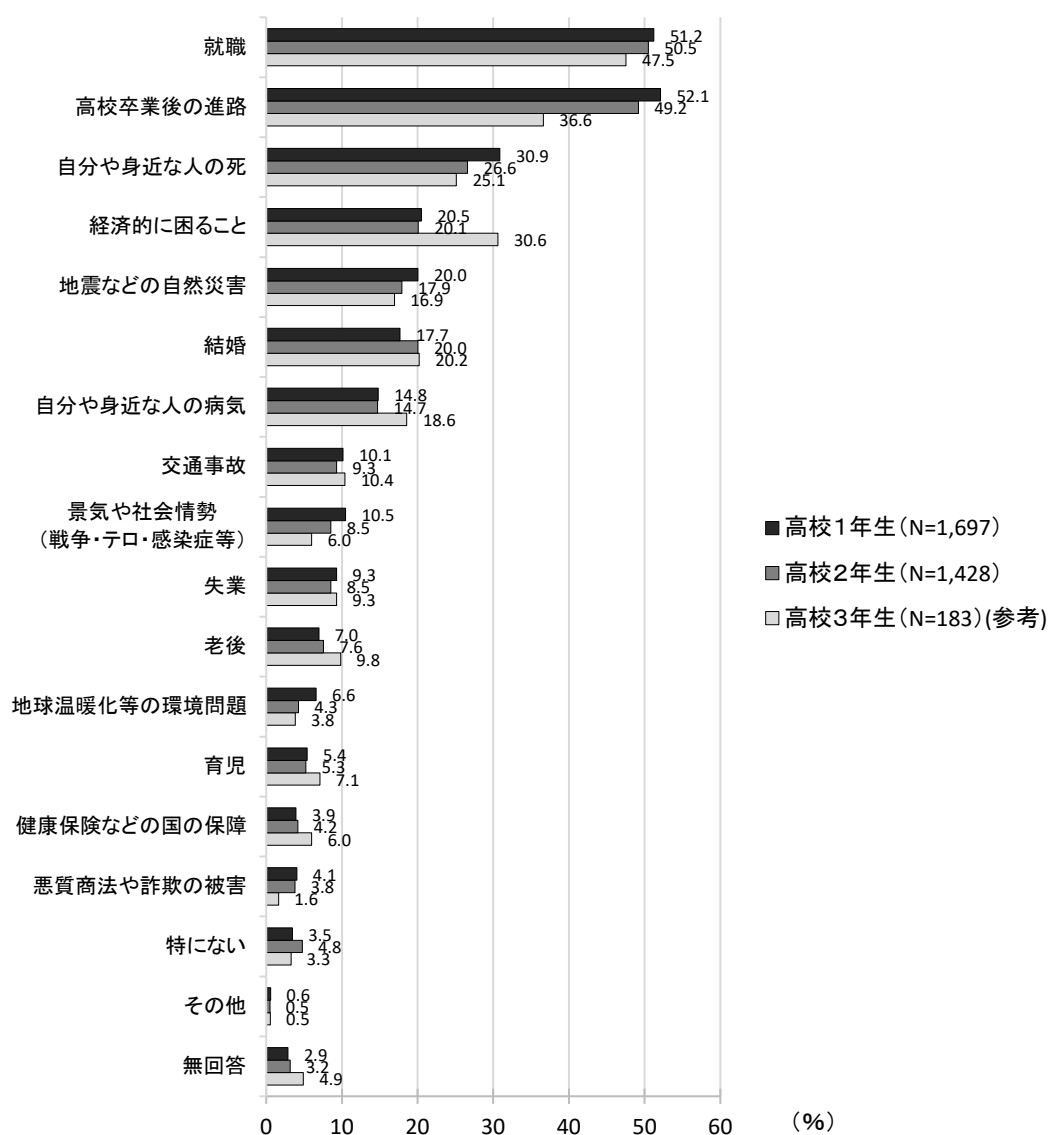


3-2 将来不安なこと

1年生、2年生ともに「就職」、「高校卒業後の進路」がそれぞれ5割強の回答となった。次いで、「自分や身近な人の死」が両学年ともに2割台半ば～約3割の回答となった。その他の回答として、「友人関係」「一人暮らし」などが挙げられた。

【図表V-3-2】将来不安なこと（複数回答3つまで）＜学年別＞

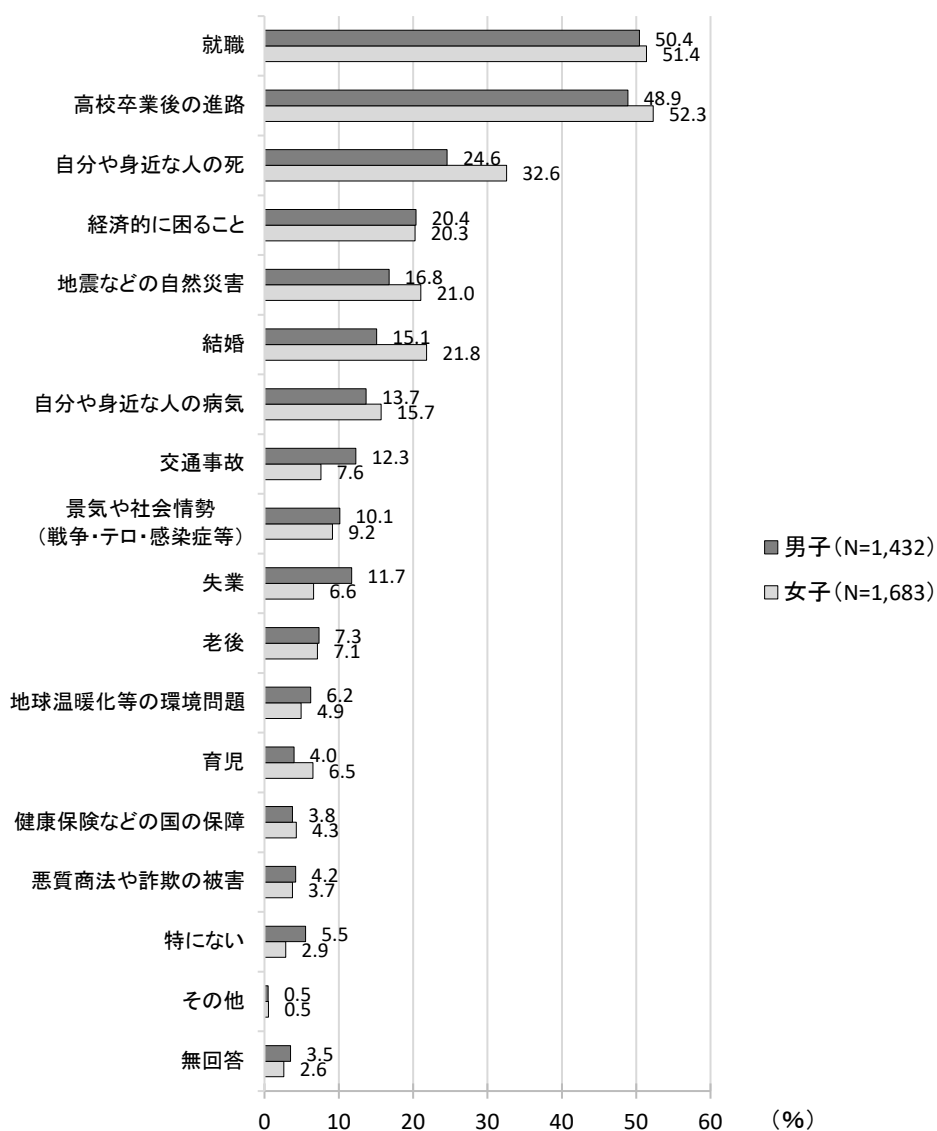
	1 位	2 位	3 位
1 年生 (N=1,697)	高校卒業後の進路 (52.1%)	就職 (51.2%)	自分や身近な人の死 (30.9%)
2 年生 (N=1,428)	就職 (50.5%)	高校卒業後の進路 (49.2%)	自分や身近な人の死 (26.6%)
【参考】 3 年生 (N=183)	就職 (47.5%)	高校卒業後の進路 (36.6%)	経済的に困ること (30.6%)



性別では、全体と同様「就職」「高校卒業後の進路」が上位に挙がった。「自分や身近な人の死」「地震などの自然災害」「結婚」は男子より女子の割合がやや高かった。

【図表V-3-3】将来不安なこと（複数回答3つまで）＜性別＞

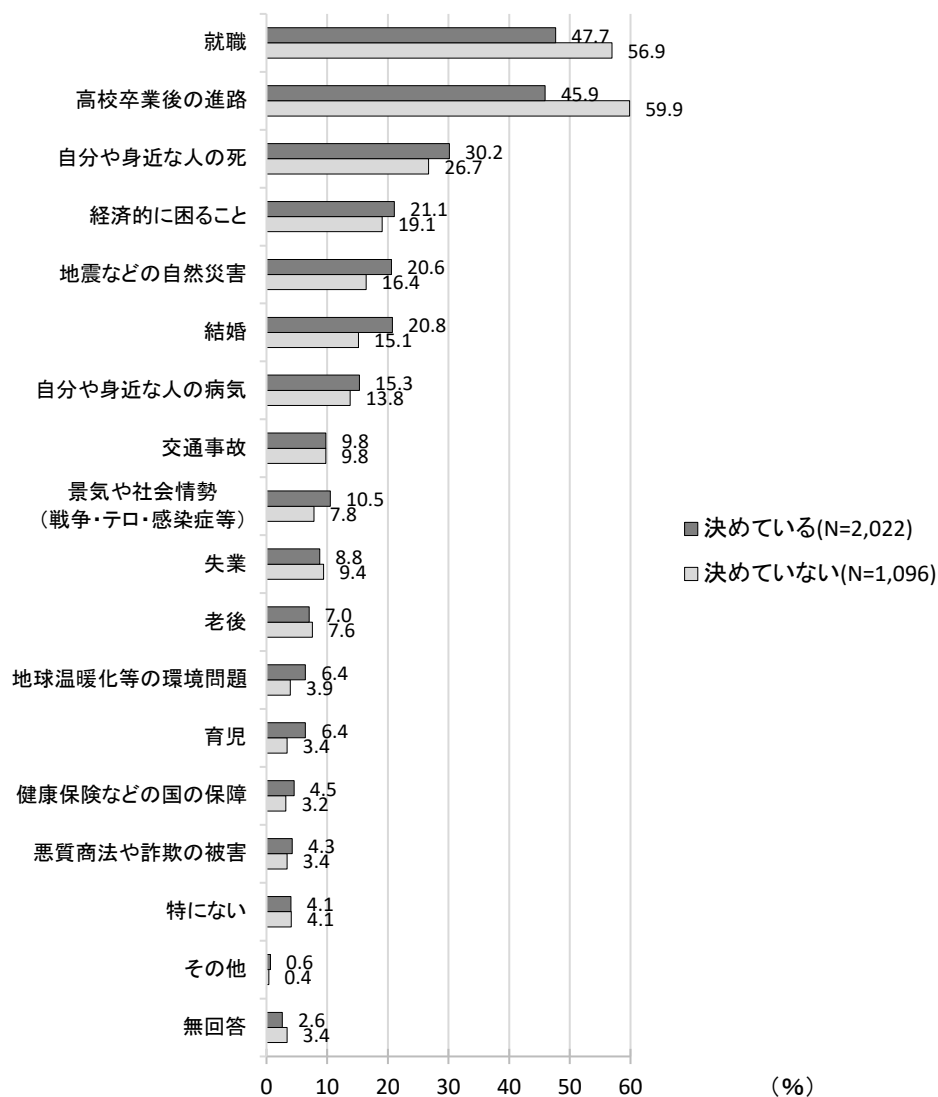
	1 位	2 位	3 位
男子 (N=1,432)	就職 (50.4%)	高校卒業後の進路 (48.9%)	自分や身近な人の死 (24.6%)
女子 (N=1,683)	高校卒業後の進路 (52.3%)	就職 (51.4%)	自分や身近な人の死 (32.6%)



「就職」「高校卒業後の進路」を「はっきりと決めている」「なんとなく決めている」と答えた人に比べて、「考えてはいるが、まだ決めていない」「考えたことがない」と答えた人が不安を感じているという結果となった。

【図表V-3-4】将来不安なこと（複数回答3つまで）

＜問17「将来就きたい職業を決めているか」回答別＞



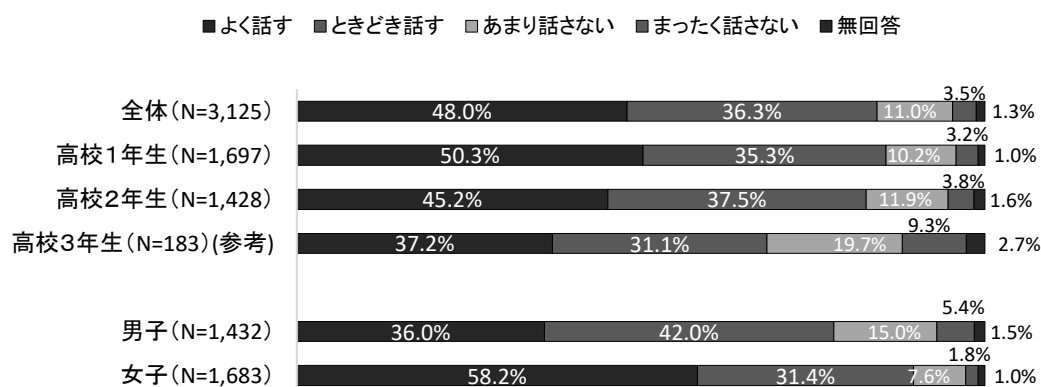
※決めている：「はっきりと決めている」「なんとなく決めている」の計
 決めていない：「考えてはいるが、まだ決めていない」「考えたことがない」の計

4. 家族との会話について

(1) 学校での出来事

「よく話す」「ときどき話す」と合わせて全体の8割台半ばが「学校での出来事」について話すと回答した。学年別では大きな違いはみられなかったが、性別では、男子に比べ女子に話す傾向が高かった。

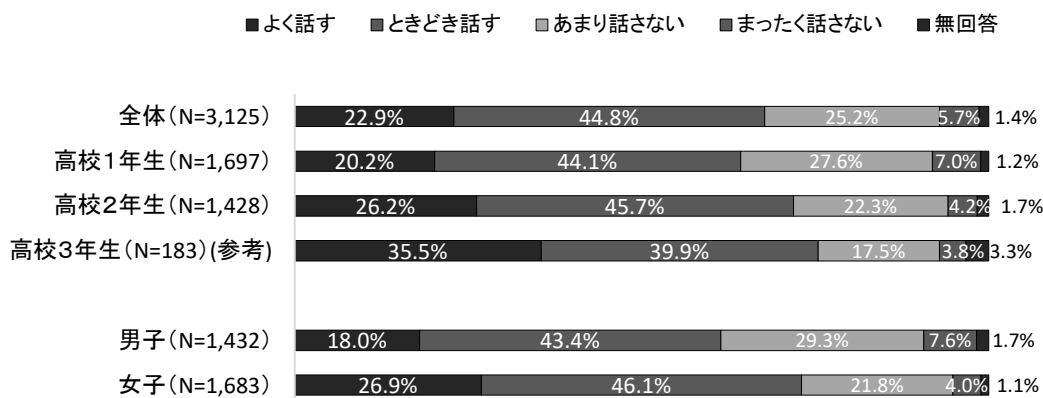
【図表V-4-1】学校での出来事＜全体・学年別・性別＞



(2) 高校卒業後の進路

「よく話す」「ときどき話す」と合わせて全体の7割弱が「高校卒業後の進路」について話すと回答した。学年別では、2年生の方がやや話す傾向がみられた。性別では、男子に比べ女子に話す傾向が高かった。

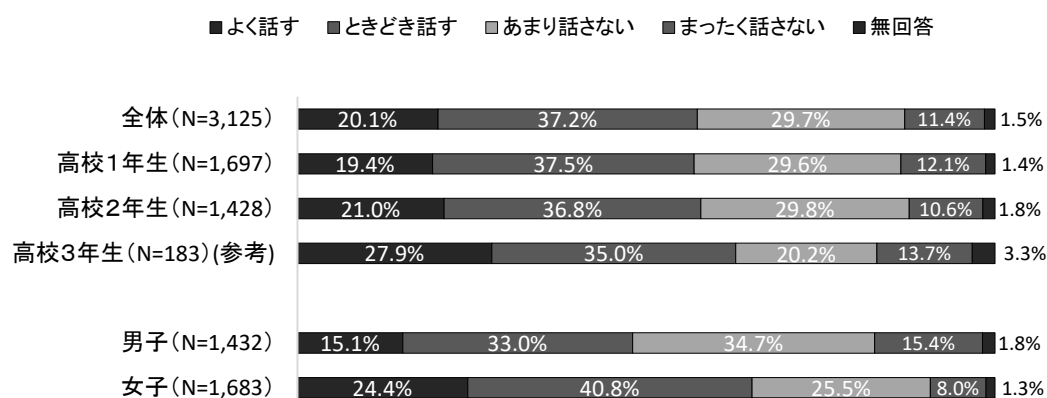
【図表V-4-2】高校卒業後の進路＜全体・学年別・性別＞



(3) 将来の夢

「よく話す」「ときどき話す」と合わせて全体の6割弱が「将来の夢」について話すと回答した。学年別では、大きな差はみられなかったが、性別では、男子に比べ女子に話す傾向が高かった。

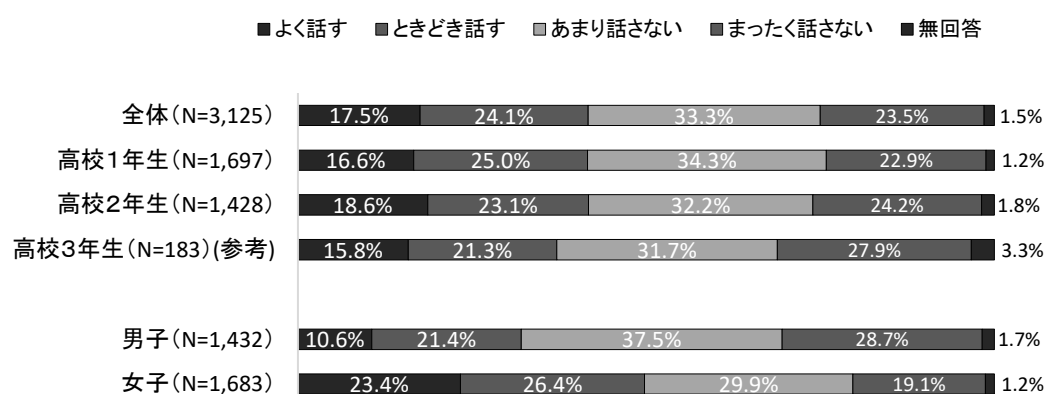
【図表V-4-3】将来の夢＜全体・学年別・性別＞



(4) 悩みごと（進路以外）

「よく話す」「ときどき話す」と合わせて全体の4割強が「悩みごと（進路以外）」について話すと回答した。学年別では、大きな差はみられなかったが、性別では、男子に比べ女子に話す傾向が高かった。

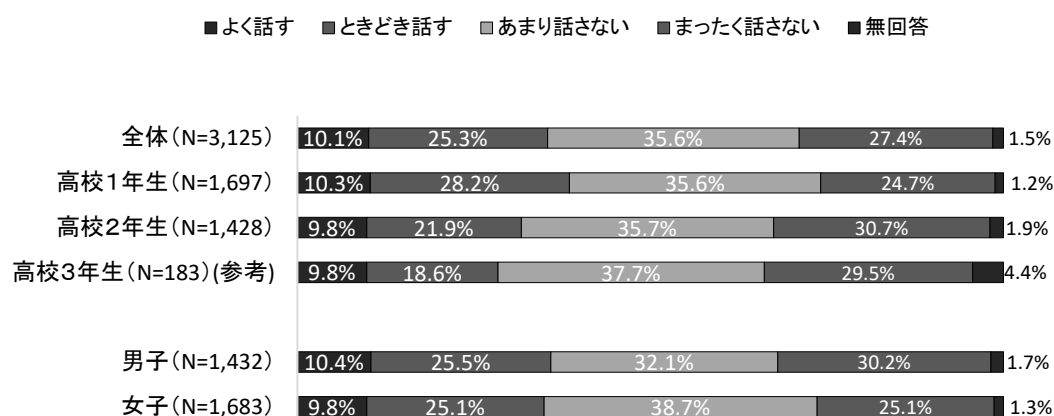
【図表V-4-4】悩みごと（進路以外）＜全体・学年別・性別＞



（５）お小遣いの使い方

「よく話す」「ときどき話す」と合わせて全体の３割台半ばが「お小遣いの使い方」について話すと回答した。学年別では、２年生に比べ１年生に話す傾向が高かった。性別では、大きな差はみられなかった。

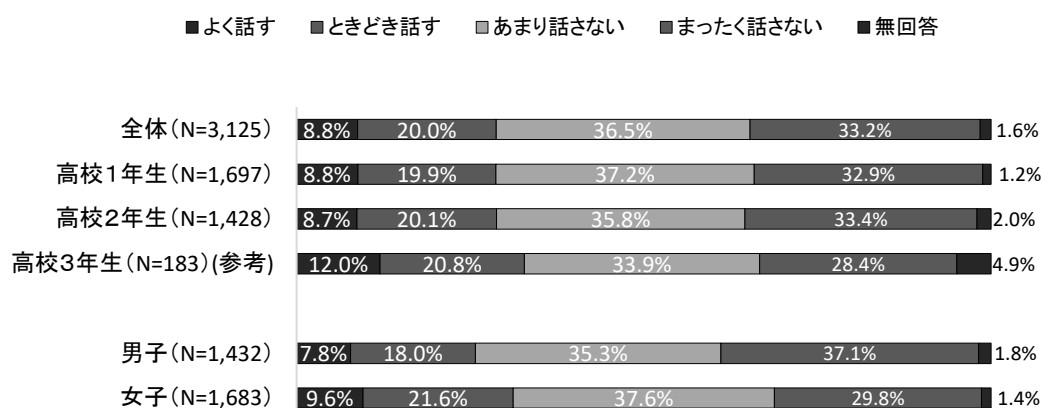
【図表 V-4-5】お小遣いの使い方＜全体・学年別・性別＞



（６）今の家計状況

「よく話す」「ときどき話す」と合わせて全体の３割弱が「今の家計状況」を話すと回答した。学年別では、大きな差はみられなかったが、性別では、男子に比べ女子にやや話す傾向がみられた。

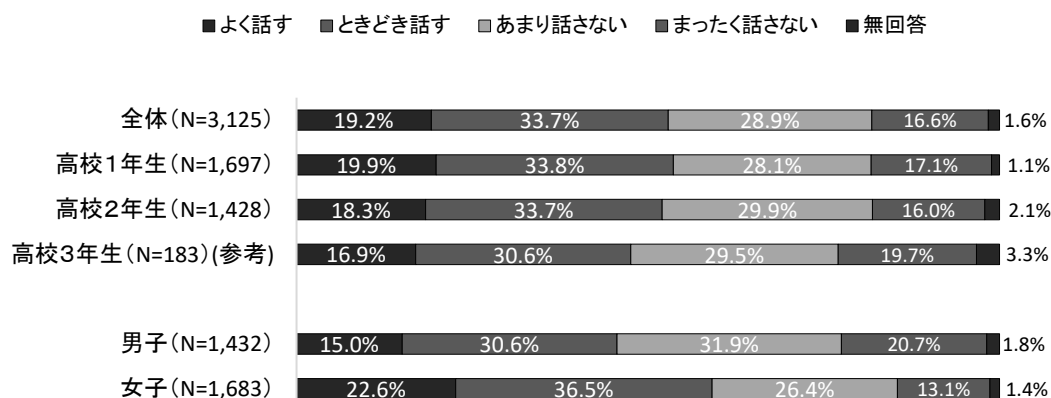
【図表 V-4-6】今の家計状況＜全体・学年別・性別＞



(7) 親の仕事内容

「よく話す」「ときどき話す」と合わせて全体の5割強が「親の仕事内容」について話すと回答した。学年別で大きな差はみられなかったが、性別では、男子に比べ女子に話す傾向が高かった。

【図表V-4-7】親の仕事内容＜全体・学年別・性別＞

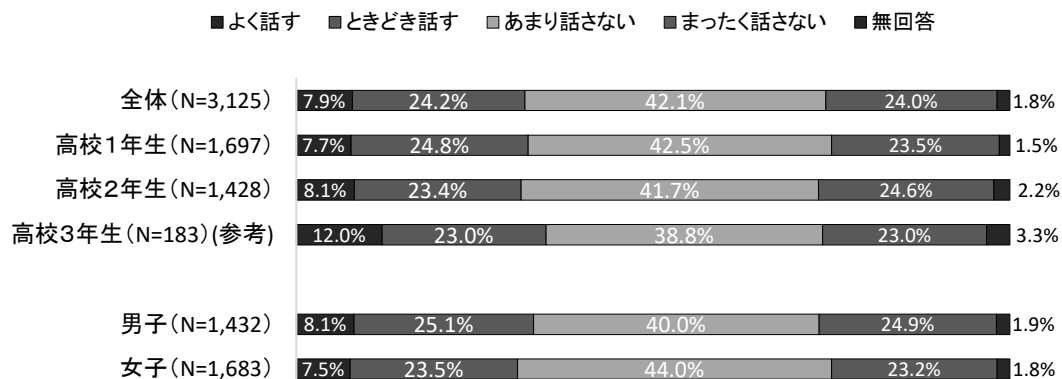


(8) 万が一のこと（病気・ケガ・事故等）に備えるための手段（注※）

※健康保険などの国の保障や生命保険・損害保険 等

「よく話す」「ときどき話す」と合わせて全体の3割強が「万が一のこと（病気・ケガ・事故等）に備えるための手段」について話すと回答した。学年別、性別で大きな違いはみられなかった。

【図表V-4-8】万が一のことに備えるための手段＜全体・学年別・性別＞



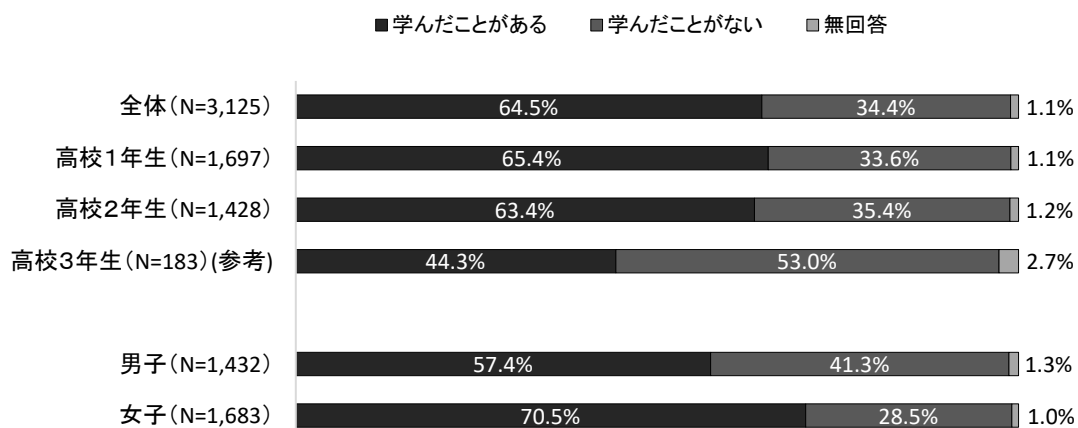
VI 高等学校での学習状況について

1. 「消費生活や生活設計（ライフプラン）」の学習について

1-1 「消費生活や生活設計（ライフプラン）」の学習経験

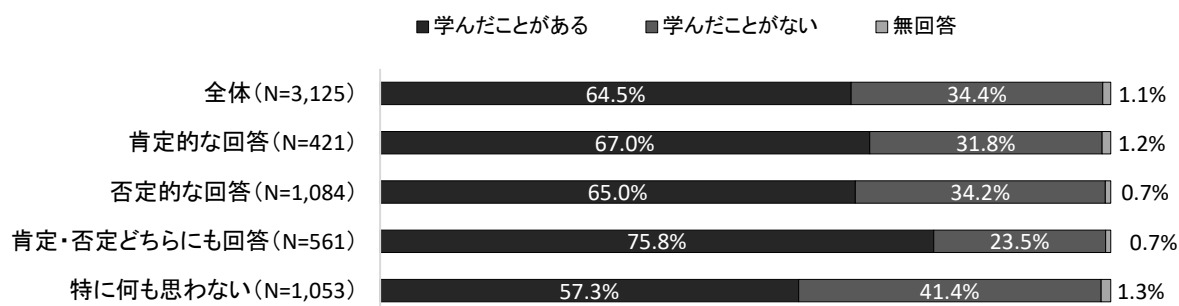
「消費生活や生活設計（ライフプラン）」について、6割台半ばが「学んだことがある」と回答し、3割台半ばが「学んだことがない」と回答した。学年別では、大きな差はみられなかったが、性別では、男子に比べて女子の学習経験が多かった。

【図表VI-1-1】「消費生活や生活設計（ライフプラン）」の学習経験＜全体・学年別・性別＞



本報告書 P40 「1. 成年年齢引き下げについて」の項目について、成年年齢引き下げに対し「肯定・否定どちらにも回答」した生徒のうち、7割台半ばが「学んだことがある」と回答した。一方、「特に何も思わない」と回答した生徒のうち、6割弱が「学んだことがある」と回答した。

【図表VI-1-2】「消費生活や生活設計（ライフプラン）」の学習経験
＜全体・問10「成年年齢引き下げ」に対する回答別＞



※肯定的な回答：「大人の仲間入りができてうれしい」「社会の一員として期待されていると思う」
「法律や制度について詳しく知ろうと思う」のいずれかのみを回答

否定的な回答：「プレッシャーを感じる」「消費者被害にあうかもしれないと不安を感じる」「なんとなく面倒を感じる」
のいずれかのみを回答

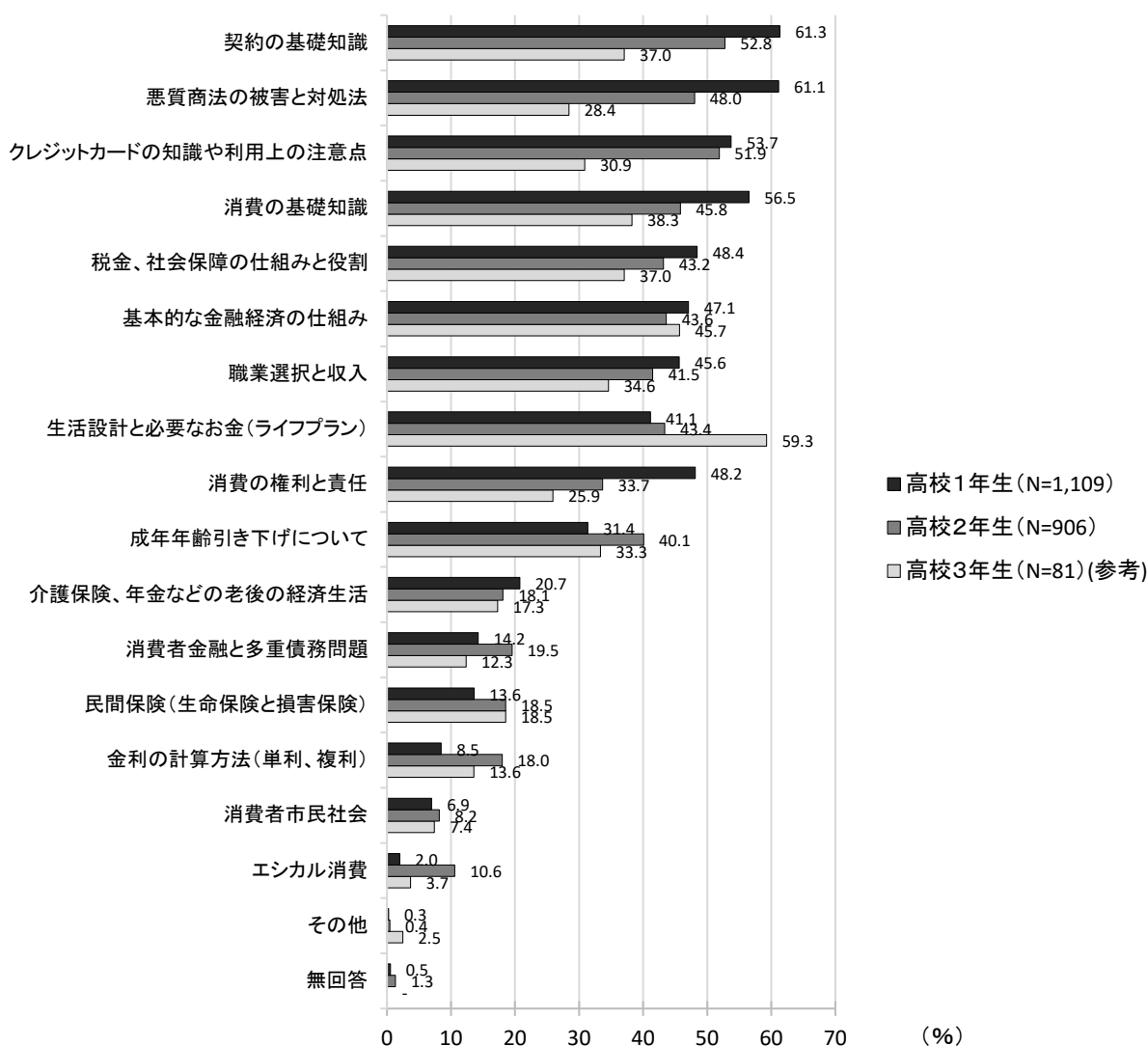
肯定・否定どちらにも回答：肯定的な回答と否定的な回答の両方を回答

1-2 学習項目

各項目について実際に学んだことのある生徒の割合は、1年生は「契約の基礎知識」と「悪質商法の被害と対処法」がそれぞれ6割強となっており、次いで「消費の基礎知識」が5割台半ばとなった。2年生は同じく「契約の基礎知識」が1位となったが、1年生と比べて割合が低く5割強となった。他の上位項目も、1年生に比べて総じて割合が低い傾向にあり、学習で得た知識が定着しにくい傾向にあった。

【図表VI-1-3】学習項目（複数回答）＜学年別＞

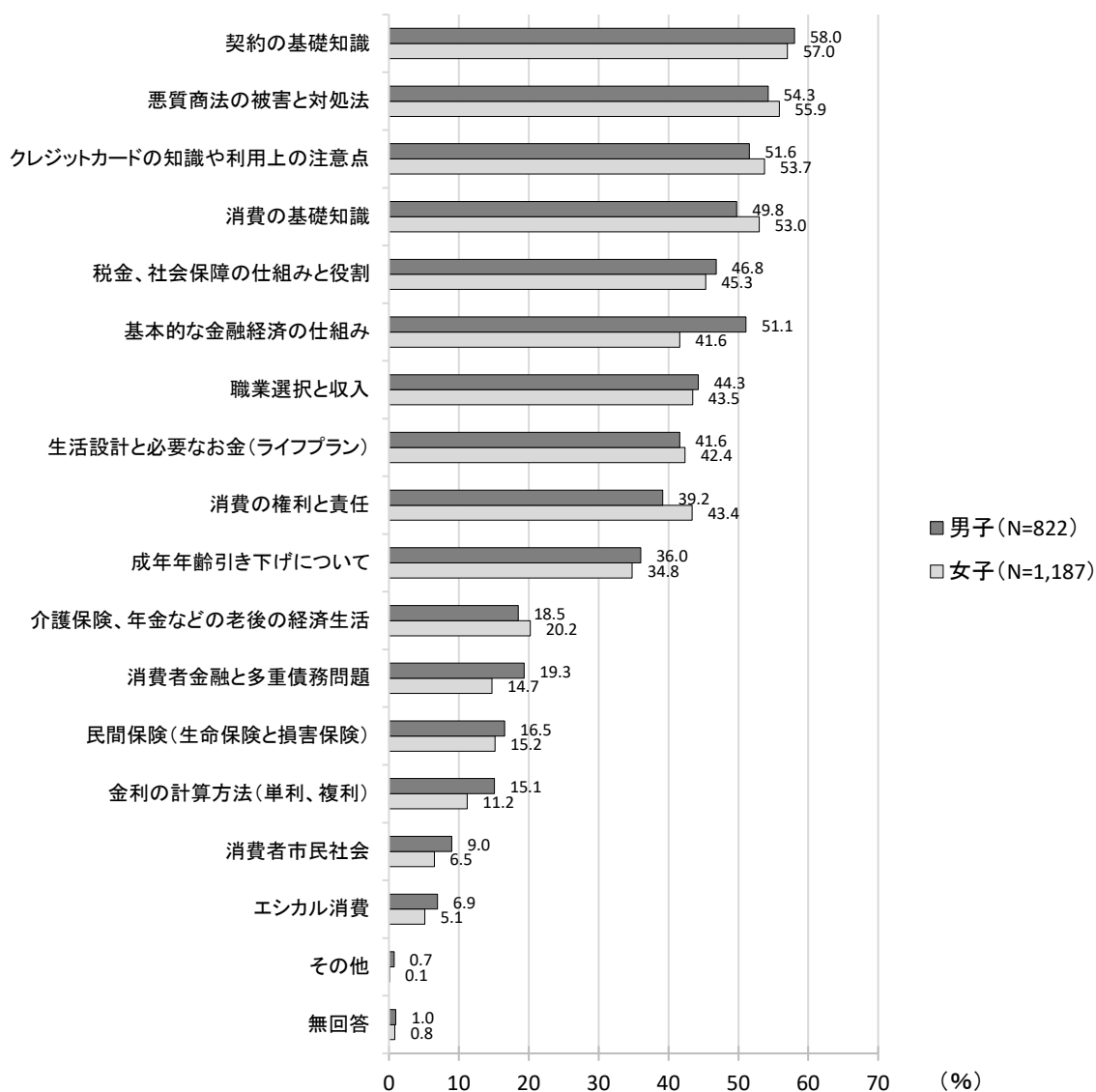
	1 位	2 位	3 位
1 年生 (N=1, 109)	契約の基礎知識 (61.3%)	悪質商法の被害と対処法 (61.1%)	消費の基礎知識 (56.5%)
2 年生 (N=906)	契約の基礎知識 (52.8%)	クレジットカードの知識や 利用上の注意点 (51.9%)	悪質商法の被害と対処法 (48.0%)
【参考】 3 年生 (N=81)	生活設計と必要なお金 (ライフプラン) (59.3%)	基本的な金融経済の仕組み (45.7%)	消費の基礎知識 (38.3%)



性別では、男女とも「契約の基礎知識」が最も多く、次いで「悪質商法の被害と対処法」と「クレジットカードの知識や利用上の注意点」が続いた。「基本的な金融経済の仕組み」は、女子に比べて男子の割合が高かったが、他の項目では大きな差はみられなかった。

【図表VI-1-4】学習項目（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子 (N=822)	契約の基礎知識 (58.0%)	悪質商法の被害と対処法 (54.3%)	クレジットカードの知識や 利用上の注意点 (51.6%)
女子 (N=1,187)	契約の基礎知識 (57.0%)	悪質商法の被害と対処法 (55.9%)	クレジットカードの知識や 利用上の注意点 (53.7%)



「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート」

【調査票・単純集計結果】

(高校 1 年生・2 年生 N=3, 125)

「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査」のお願い

このアンケートは、全国の高校生を対象に、くらしとお金、将来に対する考え方などについて聞くものです。名前はいりませんので、日ごろの様子や、感じることをありのままに答えてください。

1 あなた自身のことについて

問1 あなたの学年、性別について聞きます。

1) 学年 1 年生 (54.3) 2 年生 (45.7) 無回答 (－)

2) 性別 男子 (45.8) 女子 (53.9) 無回答 (0.3)

問2 あなたは今、どのようなことに興味がありますか？ (○は3つまで)

- | | | | |
|----------|--------|---|--------|
| 1 ファッション | (28.3) | 8 恋愛 | (13.1) |
| 2 マンガ | (22.5) | 9 SNS・動画投稿サイト (LINE・Twitter・Instagram・TikTok・YouTube 等) | (47.7) |
| 3 アニメ | (27.3) | 10 音楽 | (39.1) |
| 4 ゲーム | (32.6) | 11 アルバイト | (5.5) |
| 5 好きな芸能人 | (17.4) | 12 友達付き合い | (12.6) |
| 6 部活動 | (21.9) | 13 その他 (回答：料理、メイク 等) | (4.6) |
| 7 勉強 | (9.3) | 無回答 | (0.6) |

問3 学校の授業以外の時間を、あなたはどのように過ごすことが多いですか？
特に過ごす時間が長いものを3つ選んで、下の空欄に番号を記入してください。

※ただし、睡眠時間は除いて考えてください。

- | | | | |
|---|--------|-----------------------|--------|
| 1 テレビを見る | (26.0) | 9 アルバイトをする | (5.0) |
| 2 ゲームをする | (39.3) | 10 部活動をする | (37.4) |
| 3 マンガや雑誌を読む | (15.4) | 11 習い事 (スポーツ・芸術等) をする | (3.9) |
| 4 本を読む (マンガや雑誌を除く) | (5.7) | 12 友人と話をする | (27.9) |
| 5 パソコン (インターネット等) にむかう | (7.6) | 13 家族と話をする | (16.7) |
| 6 SNS・動画投稿サイト (LINE・Twitter・Instagram・TikTok・YouTube 等) をする | (72.8) | 14 考え事をする | (7.9) |
| 7 勉強をする | (22.0) | 15 その他 (回答：音楽を聴く 等) | (4.7) |
| 8 塾や予備校に行く | (5.6) | 無回答 | (0.1) |

1 位	SNS・動画投稿サイト (LINE・Twitter・Instagram・TikTok・YouTube 等) をする	2 位	ゲームをする	3 位	部活動をする
-----	---	-----	--------	-----	--------

※1～3位の回答を合計して集計し順位化した。

問 4 あなたの考え方や傾向について聞きます。(○はひとつ)

	とても あてはまる	やや あてはまる	あまりあて はまらない	まったく あてはまら ない	無回答
(記入例) 欲しいものはすぐ手に入れたい方だ	①	2	3	4	
1 欲しいものはすぐ手に入れたい方だ	(31.6)	(48.7)	(17.6)	(1.5)	(0.5)
2 影響力のある人（メディアや SNS で 情報発信する人）の話を信じる方だ	(10.5)	(45.9)	(36.8)	(6.2)	(0.6)
3 買ったものはできるだけ長く使う方だ	(46.0)	(43.5)	(9.7)	(0.6)	(0.3)
4 レジ袋はもらわないようにしている	(41.0)	(32.2)	(20.1)	(6.2)	(0.4)
5 買い物は値段が安いのが一番だと思う	(23.8)	(40.5)	(30.4)	(4.7)	(0.6)
6 コンビニでおにぎりを買う時、棚の奥 から取る方だ	(18.9)	(17.3)	(25.0)	(38.4)	(0.4)
7 フェアトレード（注※）商品があれば 積極的に選ぶ方だ	(5.8)	(18.5)	(46.6)	(28.7)	(0.4)
8 商品に問題があった場合、企業などに 連絡をする方だ	(7.3)	(15.8)	(37.8)	(38.5)	(0.6)
9 18歳になったら選挙に行きたいと思う	(22.3)	(30.9)	(29.9)	(16.2)	(0.7)
10 「SDG s」という言葉を知っている	(44.8)	(19.8)	(9.2)	(25.8)	(0.4)

※フェアトレード（公正な貿易）とは、発展途上で生産された作物や製品を、適正な価格で継続的に取引し、生産者の持続的な生活向上を支える仕組み。チョコレートやコーヒー、バナナなどがあります。

2 お小遣い、アルバイトなどお金に関することについて

問 5 あなたは現在、お小遣いをもらっていますか？ (○はひとつ)

1 定期的にもらっている	(50.2)	
2 その都度もらっている	(24.5)	
3 もらっていない	(25.0)	→ ※問 5 - 2 へ
無回答	(0.3)	

→ 問 5 で「1」「2」と答えた人に聞きます。

問 5 - 1 1 カ月にもらっている金額はいくらですか？

N=2,335 (平均 5,333) 円くらい

※問 5 で「3」と答えた人に聞きます。

問 5 - 2 欲しいものがあつた場合、どうしますか？ (○はいくつでも)

N=782

1 アルバイトでお金を稼ぐ	(22.4)	4 我慢する	(29.3)
2 お年玉や貯金を使う	(56.3)	5 欲しいものは特にない	(5.5)
3 保護者に買ってもらう	(53.6)	6 その他(回答: いらぬ物を売って買う 等)	(1.5)
		無回答	(0.8)

問6 あなたはアルバイトをしていますか(したことがありますか)? (〇はひとつ)

- 1 家計を助けるためにアルバイトをしている (したことがある) (1.5)
- 2 自分で使うお金のためにアルバイトをしている (したことがある) (9.2)
- 3 アルバイトをしてみたいが、したことはない (68.3)
- 4 アルバイトをしたことはないし、まだ当分やりたくない (19.6)
- 無回答 (1.4)

▶問6で「1」「2」と答えた人に聞きます。

問6-1 平均して、1カ月にどのくらい収入がありますか? (ありましたか?)

N=332 平均 (38,494) 円くらい

問7 あなたは現在、お金を貯めていますか? (〇はひとつ)

- 1 目的をもってお金を貯めている (22.6) 4 貯めようと思わない (6.8)
- 2 目的はないが、お金を貯めている (45.8) 5 その他(回答:貯める予定がある 等) (0.2)
- 3 貯めたいが、貯められない (23.9) 無回答 (0.7)

▶問7で「1」と答えた人に聞きます。

問7-1 どのような目的でお金を貯めているか教えてください。

N=706

将来のため、欲しいものを買うため、進学のため、趣味のため 等

問8 あなたは、お小遣いやアルバイトで得たお金を、どのようなものに使いますか?
(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1 マンガや雑誌 (43.4) | 14 貯金 (59.6) |
| 2 書籍 (小説等) (22.7) | 15 洋服や靴 (42.6) |
| 3 DVD や CD (23.2) | 16 アクセサリー等の小物 (31.8) |
| 4 DVD や CD 等のレンタル (3.7) | 17 化粧品、整髪剤 (31.8) |
| 5 音楽・映像のダウンロード (7.2) | 18 理美容サービス (6.9) |
| 6 サブスク (音楽・映像等) (6.1) | 19 テーマパーク (16.1) |
| 7 学校の教材費や部活動費 (4.7) | (ディズニーランド等) |
| 8 スマートフォン等の利用料金 (6.0) | 20 アミューズメントパーク (18.2) |
| 9 スマートフォン等の有料コンテンツ (11.8) | (ゲームセンター等) |
| (オンラインゲームの課金) | 21 映画・コンサートのチケット (40.0) |
| 10 外食・軽食・おやつ (68.7) | 22 カラオケ (30.4) |
| 11 交通費 (22.1) | 23 プリクラ (31.9) |
| 12 友人や家族へのプレゼント (52.4) | 24 ゲームソフト (19.3) |
| 13 募金や寄付 (3.4) | 25 キャラクターグッズ (23.7) |
| | 26 その他 (回答:アイドルのグッズ 等) (5.2) |
| | 無回答 (0.5) |

問9 あなたは、小遣い帳等の記録をつけていますか？（○はひとつ）

- | | |
|------------------------|---------|
| 1 つけている | (6. 0) |
| 2 ときどきつけている | (5. 8) |
| 3 以前つけたことがあるが、今はつけていない | (26. 0) |
| 4 つけたことがない | (61. 8) |
| 無回答 | (0. 4) |

3 「消費・契約」に関することについて

問10 2022年4月1日より、成年年齢が18歳に引き下げられ、例えば一人で契約できるようになります。成年年齢が引き下げられることについて、あなたはどのように思いますか。
（○はいくつでも）

- | | | | |
|----------------------|---------|-------------------------|---------|
| 1 大人の仲間入りができてうれしい | (11. 1) | 5 消費者被害にあうかもしれないと不安を感じる | (29. 4) |
| 2 社会の一員として期待されていると思う | (5. 6) | 6 なんとなく面倒に感じる | (22. 9) |
| 3 法律や制度について詳しく知ろうと思う | (20. 3) | 7 特に何も思わない | (33. 7) |
| 4 プレッシャーに感じる | (21. 8) | 無回答 | (0. 2) |

問11 あなたは欲しいものがある時、どこからの情報を参考にして商品をえらびますか？
（○はいくつでも）

- | | | | |
|-----------------|---------|-------------------|---------|
| 1 テレビ | (27. 3) | 6 友達からの話 | (60. 2) |
| 2 ラジオ | (1. 5) | 7 家族からの話 | (38. 3) |
| 3 インターネット・SNS | (91. 1) | 8 特に参考にする情報はない | (2. 3) |
| 4 雑誌 | (12. 8) | 9 その他（回答：実際に見る 等） | (1. 3) |
| 5 新聞（折り込みチラシ含む） | (2. 6) | 無回答 | (0. 2) |

問12 お店（コンビニなど）で買い物する時、あなたはどのような方法で支払いますか。
（○はいくつでも）

- | | | | |
|-----------------------------|---------|----------------------------|---------|
| 1 現金 | (98. 0) | 5 デビットカード | (1. 1) |
| 2 交通系 IC カード（Suica、PASMO 等） | (22. 4) | 6 スマホ決済（PayPay、LINE Pay 等） | (22. 6) |
| 3 電子マネー（WAON、nanaco 等） | (10. 2) | 7 その他（回答：ポイントカード 等） | (0. 2) |
| 4 プリペイドカード（QUO カード等） | (11. 5) | 無回答 | (0. 1) |

問 13 次のうち正しいと思うことに○をつけてください。(○はいくつでも)

正答率

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1 契約に契約書は必要である (29.0) | 4 ネットショッピングはクーリング・オフ (66.5) |
| (解答：×) | できる (解答：×) |
| 2 契約は口約束でも成立する (40.1) | 5 有料アプリのダウンロードは契約である (67.4) |
| (解答：○) | (解答：○) |
| 3 コンビニでお菓子を買うことは (58.5) | 6 17 歳が保護者に内緒で買った 10 万円の (20.7) |
| 契約である (解答：○) | 楽器の契約は取り消せる (解答：○) |

4 携帯電話・スマートフォン・パソコン等の利用について

問 14 あなたは携帯電話・スマートフォン等を持っていますか？ (○はひとつ)

- | | | |
|-------------------------|---------------------------------|---------|
| 1 小学生の頃から持っている (23.8) | 4 持っていたが今はない (0.2) | →問 16 へ |
| 2 中学生の頃から持っている (49.3) | 5 持ったことはない (0.7) | →問 16 へ |
| 3 高校生になってから持っている (25.5) | 6 その他 (回答：幼稚園の頃から持っている 等) (0.1) | |
| | 無回答 (0.4) | |

問 15 携帯電話・スマートフォン等の利用目的は何ですか？ (○はいくつでも)

N=3,085

- | | |
|--|--------------------------|
| 1 メール (66.8) | 8 ゲーム (66.5) |
| 2 通話 (80.5) | 9 ネットショッピング (32.5) |
| 3 情報検索 (73.6) | 10 音楽 (81.1) |
| 4 SNS・動画投稿サイト (LINE・Instagram・TikTok・YouTube 等) (90.4) | 11 写真 (撮影・加工) (75.1) |
| 5 フリマサービス (9.6) | 12 キャッシュレス決済 (12.6) |
| 6 ニュースサイト (25.4) | 13 防犯・災害時の備え (21.4) |
| 7 ブログ (5.6) | 14 その他 (回答：絵を描く 等) (0.9) |
| | 無回答 (0.2) |

問 16 パソコン・スマートフォン等を利用して、インターネットで商品やサービスを買ったことはありますか？ (○はひとつ)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1 よく買う (14.6) | 3 買ったことはあるが、ほとんど買わない (31.3) |
| 2 ときどき買う (26.4) | 4 買ったことがない (25.5) |
| | 無回答 (2.2) |

→ 問 16 で「1」「2」と答えた人に聞きます。

問 16-1 ここ 1 カ月で使った金額はいくらですか？

N=1,280 (平均 6,364) 円くらい

問 16 で「1」「2」と答えた人に聞きます。

問 16-2 どのような商品やサービスを買いましたか？ (〇はいくつでも)

N=1, 280

1 本 (紙)	(19. 5)	8 ゲームソフト	(7. 7)
2 電子書籍	(5. 2)	9 SNS 上の有料コンテンツ (LINE のスタンプ等)	(14. 6)
3 DVD・CD	(18. 2)	10 アプリのダウンロード (課金含む)	(11. 3)
4 音楽・映像のダウンロード	(7. 1)	11 映画やコンサートのチケット	(9. 3)
5 サブスク (音楽・映像等)	(7. 1)	12 テーマパークのチケット	(2. 7)
6 洋服や靴	(45. 1)	13 雑貨	(20. 2)
7 化粧品や整髪剤	(22. 2)	14 その他 (回答：グッズ 等)	(17. 7)
		無回答	(1. 0)

問 16 で「1」「2」と答えた人に聞きます。

問 16-3 その時、どのような方法で支払いましたか？ (〇はいくつでも)

N=1, 280

1 家族のクレジットカード	(32. 7)	5 プリペイドカード (iTunes カード・LINE プリペイドカード等)	(14. 8)
2 代金引換 (商品が届いた時に代金を支払う)	(23. 2)	6 スマホ決済 (PayPay、LINE Pay 等)	(12. 6)
3 コンビニエンスストアで現金 払い	(51. 8)	7 その他 (回答：ポイント 等)	(1. 0)
4 銀行等の ATM で振込	(4. 6)	無回答	(2. 3)

5 あなたの将来のことについて

問 17 あなたは、将来つきたい職業を決めていますか？（○はひとつ）

- | | | |
|---|------------------|--------|
| 1 | はっきりと決めている | (23.6) |
| 2 | なんとなく決めている | (41.2) |
| 3 | 考えてはいるが、まだ決めていない | (32.6) |
| 4 | 考えたことがない | (2.5) |
| | 無回答 | (0.2) |

問 17 で「1」「2」と答えた人に聞きます。

問 17-1 具体的にどのような職業につきたいか最も近いものをお答えください。

（○は、問 17 で「1」と回答した人は1つ、「2」と回答した人は3つまで）

N=2,022

- | | | | | | |
|----|---------------------|--------|----|----------------------------|--------|
| 1 | 公務員（以下に記載のものを除く） | (9.2) | 18 | 看護師・歯科衛生士 | (16.1) |
| 2 | 自営業・会社社長・会社役員 | (4.0) | 19 | 介護士・理学療法士・作業療法士・
カウンセラー | (8.4) |
| 3 | 会社員 | (6.8) | 20 | 調理師・栄養士 | (9.0) |
| 4 | 接客業・営業・販売 | (7.4) | 21 | 建築士・測量士・大工・左官・
電気工事士 | (5.6) |
| 5 | 技術者・整備士 | (4.0) | 22 | 獣医師・トリマー | (2.9) |
| 6 | プログラマ・
システムエンジニア | (6.9) | 23 | 理容師・美容師・エステティシャン | (5.7) |
| 7 | 製品製造 | (3.1) | 24 | 記者・編集者 | (1.2) |
| 8 | 保育士・幼稚園教諭 | (10.2) | 25 | デザイナー・画家・写真家・作家・
漫画家 | (8.0) |
| 9 | 教師 | (8.6) | 26 | 芸能人（俳優・声優・歌手・タレント） | (3.8) |
| 10 | 大学教授・研究者 | (1.9) | 27 | YouTuber | (1.6) |
| 11 | 裁判官・検察官・弁護士 | (0.9) | 28 | スポーツ選手・インストラクター | (3.1) |
| 12 | 会計士・税理士 | (1.4) | 29 | 農業・林業・漁業 | (2.9) |
| 13 | 自衛官 | (1.2) | 30 | 運転士（電車・バス・トラック・船） | (1.0) |
| 14 | 警察官・海上保安官・消防士 | (3.5) | 31 | パイロット・キャビンアテンダント | (1.2) |
| 15 | 政治家 | (0.4) | 32 | 神主・住職・牧師 | (0.3) |
| 16 | 医師・歯科医師 | (3.0) | 33 | その他（回答：パティシエ 等） | (7.8) |
| 17 | 薬剤師 | (4.3) | | 無回答 | (0.3) |

問 18 あなたは高校卒業後、どのような進路を考えていますか？（○はひとつ）

- | | | | | | |
|---|-----------|--------|---|-------------------|--------|
| 1 | 大学に進学する | (45.8) | 6 | 家業を継ぐ | (0.4) |
| 2 | 短期大学に進学する | (3.2) | 7 | 考えてはいるが、まだ決まっていない | (15.6) |
| 3 | 専門学校に進学する | (15.9) | 8 | 考えたことがない | (0.8) |
| 4 | 海外留学する | (0.4) | 9 | その他（回答：専攻科へ進む 等） | (1.1) |
| 5 | 就職する | (16.3) | | 無回答 | (0.3) |

問 19 あなたは将来、結婚したいと思いますか？ (○はひとつ)

- | | | | | |
|-----------|--------|-------------------|----------------------|--------|
| 1 結婚したい | (67.1) | → 問 19-1、問 19-2 へ | 3 よく分からない | (22.2) |
| 2 結婚したくない | (9.7) | → 問 19-3 へ | 4 その他 (回答：どちらでもよい 等) | (0.6) |
| | | | 無回答 | (0.4) |

問 19 で「1」と答えた人に聞きます。

問 19-1 何歳くらいに結婚したいですか？

N=2,098 (平均 25.3) 歳

問 19 で「1」と答えた人に聞きます。

問 19-2 結婚したい理由は何ですか？ (○はいくつでも)

N=2,098

- | | | | |
|---------------------|--------|----------------------|--------|
| 1 子どもや家族が欲しいから | (74.1) | 4 老後が心配だから | (17.4) |
| 2 寂しいから (精神的に安定できる) | (30.4) | 5 家族を安心させたいから | (26.1) |
| 3 好きな人と一緒に生活したいから | (62.4) | 6 その他 (回答：楽しそうだから 等) | (2.1) |
| | | 無回答 | (0.3) |

問 19 で「2」と答えた人に聞きます。

問 19-3 結婚したくない理由は何ですか？ (○はいくつでも)

N=303

- | | | | |
|-------------------|--------|---------------------------|--------|
| 1 自分の自由な時間がなくなるから | (63.4) | 4 なんとなく面倒だから | (50.2) |
| 2 金銭的に余裕がなくなるから | (33.3) | 5 その他 (回答：幸せになれないと思うから 等) | (15.8) |
| 3 家族を持つと大変そうだから | (50.5) | 無回答 | (0.7) |

問 20 あなたは将来、親になりたいと思いますか？ (○はひとつ)

- | | | |
|------------|--------|--------------------------|
| 1 親になりたい | (61.0) | → 問 20-1、問 20-2、問 20-3 へ |
| 2 親になりたくない | (9.7) | → 問 20-4 へ |
| 3 よく分からない | (28.7) | |
| 無回答 | (0.6) | |

問 20 で「1」と答えた人に聞きます。

問 20-1 子どもは何人くらい欲しいですか？

N=1,906 (平均 2.3) 人

問 20 で「1」と答えた人に聞きます。

問 20-2 親になりたい理由は何ですか？ (○はいくつでも)

N=1,906

- | | | | |
|------------------|--------|-------------------------|--------|
| 1 子どもが好きだから | (66.9) | 4 子孫を残したいから | (18.6) |
| 2 子どもがいたら楽しそうだから | (81.0) | 5 自分の老後が心配だから | (9.9) |
| 3 後継ぎが必要だから | (5.5) | 6 その他 (回答：孫の顔を見せたいから 等) | (2.2) |
| | | 無回答 | (0.4) |

問 20 で「1」と答えた人に聞きます。

問 20-3 将来子どもが生まれた場合、どのような働き方を選択すると思いますか？
(○はひとつ)

N=1,906

- | | |
|---------------------|--------|
| 1 育児に関係なく働きつづける | (17.5) |
| 2 育児休暇を取り、職場に復帰する | (72.2) |
| 3 一旦仕事を辞め、再就職する | (4.6) |
| 4 仕事を辞め、専業主婦(主夫)になる | (3.8) |
| 5 その他(回答:その時に決める等) | (1.0) |
| 無回答 | (0.8) |

問 20 で「2」と答えた人に聞きます。

問 20-4 親になりたくない理由は何ですか？(○はいくつでも)

N=303

- | | | | |
|-----------------|--------|-----------------------|--------|
| 1 面倒だから | (45.2) | 4 子どもが好きではないから | (34.3) |
| 2 金銭的に余裕がなくなるから | (39.6) | 5 自分や夫婦2人の時間がなくなるから | (23.1) |
| 3 仕事に打ち込みたいから | (24.4) | 6 その他(回答:育てられる自信がない等) | (18.8) |
| | | 無回答 | (3.0) |

問 21 あなたは今からどのくらい先の生活まで思い描くことができますか？(○はひとつ)

- | | | | |
|-----------|--------|------------|--------|
| 1 高校卒業後まで | (25.0) | 6 60歳まで | (2.9) |
| 2 20歳まで | (25.2) | 7 70歳まで | (1.8) |
| 3 30歳まで | (14.2) | 8 それ以上 | (3.1) |
| 4 40歳まで | (3.7) | 9 全く想像できない | (20.9) |
| 5 50歳まで | (2.4) | 無回答 | (0.7) |

問 22 将来の生活を考えた時、特に不安を感じることは何ですか？(○は3つまで)

- | | | | |
|--------------|--------|------------------------|--------|
| 1 高校卒業後の進路 | (50.8) | 10 交通事故 | (9.8) |
| 2 就職 | (50.9) | 11 健康保険などの国の保障 | (4.1) |
| 3 失業 | (9.0) | 12 地球温暖化等の環境問題 | (5.5) |
| 4 結婚 | (18.8) | 13 悪質商法や詐欺の被害 | (3.9) |
| 5 育児 | (5.3) | 14 経済的に困ること | (20.3) |
| 6 老後 | (7.2) | 15 景気や社会情勢(戦争・テロ・感染症等) | (9.6) |
| 7 自分や身近な人の病気 | (14.8) | 16 特にない | (4.1) |
| 8 自分や身近な人の死 | (28.9) | 17 その他(回答:人間関係等) | (0.5) |
| 9 地震などの自然災害 | (19.1) | 無回答 | (3.0) |

問 23 あなたは家族と、次のことについて話しますか？（○はひとつ）

	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない	無回答
（記入例）お小遣いの金額	1	2	3	4	
1 学校での出来事	(48.0)	(36.3)	(11.0)	(3.5)	(1.3)
2 高校卒業後の進路	(22.9)	(44.8)	(25.2)	(5.7)	(1.4)
3 将来の夢	(20.1)	(37.2)	(29.7)	(11.4)	(1.5)
4 悩みごと（進路以外）	(17.5)	(24.1)	(33.3)	(23.5)	(1.5)
5 お小遣いの使い方	(10.1)	(25.3)	(35.6)	(27.4)	(1.5)
6 今の家計状況	(8.8)	(20.0)	(36.5)	(33.2)	(1.6)
7 親の仕事内容	(19.2)	(33.7)	(28.9)	(16.6)	(1.6)
8 万が一のこと（病気・ケガ・事故等）に備えるための手段（注※）	(7.9)	(24.2)	(42.1)	(24.0)	(1.8)

※社会保険（健康保険などの国の保障）や民間保険（生命保険・損害保険）

6 これまでの学習状況について

問 24 あなたはこれまで、学校で「消費生活や生活設計（ライフプラン）」に関することを学んだことはありますか？（○はひとつ）

1 学んだことがある (64.5) 2 学んだことがない (34.4) 無回答 (1.1)

問 24 で「1」と答えた方に聞きます。

問 24-1 どのような内容を学びましたか？（○はいくつでも）

N=2,015

1 基本的な金融経済の仕組み	(45.5)	10 成年年齢引き下げについて	(35.3)
2 生活設計と必要なお金（ライフプラン）	(42.1)	11 クレジットカードの知識や利用上の注意点	(52.9)
3 職業選択と収入	(43.8)	12 消費者金融と多重債務問題	(16.6)
4 税金、社会保障の仕組みと役割	(46.1)	13 悪質商法の被害と対処法	(55.2)
5 民間保険（生命保険と損害保険）	(15.8)	14 消費の権利と責任	(41.6)
6 介護保険、年金などの老後の経済生活	(19.6)	15 消費者市民社会	(7.5)
7 金利の計算方法（単利、複利）	(12.8)	16 エシカル消費	(5.9)
8 契約の基礎知識	(57.5)	17 その他（回答：平均寿命 等）	(0.3)
9 消費の基礎知識	(51.7)	無回答	(0.9)

以上です。お疲れさまでした。

◆公益財団法人 消費者教育支援センター

消費者教育の総合的かつ効果的な推進を図ることを目的に、1990 年に経済企画庁(現消費者庁および内閣府)と文部省(現文部科学省)の共管法人として設立。平成 24 年 4 月 1 日より公益財団法人に移行。主な活動としては、消費者教育に関する調査や教材開発、シンポジウムやセミナーの開催、企業・行政を対象とする教材表彰、講座運営および講師派遣、機関誌『消費者教育研究』の発行等を行っている。

◆公益財団法人 生命保険文化センター

公正・中立な立場で生活設計や生命保険に関する情報提供等を行うことを目的に、1976 年(昭和 51 年)に設立。「消費者啓発・情報提供活動」「学術振興事業」「調査活動」の3つを柱に事業活動を行っている。主な活動としては、高校・大学等への講師派遣、消費者や消費生活相談員等対象の学習会の実施、学校教育用副教材や消費者向け小冊子の作成等。生活保障に関する意識や生命保険の加入実態等を探る調査活動も行っている。

「高校生の消費生活と生活設計に関する調査報告書」(2021 年度)

発行日 2022 年 3 月

発行 公益財団法人消費者教育支援センター
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷 1-17-14 全国婦人会館 3 階
TEL : 03-5466-7341 FAX : 03-5466-2051

公益財団法人生命保険文化センター
〒100-0005
東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 3 階
TEL : 03-5220-8510 (代表) FAX : 03-5220-9090

